

CHIBAちば

千葉県石油コンビナート等防災計画

(案)

付 属 資 料 編

平成 2 9 年度修正

千葉県石油コンビナート等防災本部

第 1 石油コンビナート等特別防災区域の現況

1	特別防災区域の地名・地番一覧表	1
2	地勢地質等	3
3	港湾の現況	1 5
4	石油精製等及び石油類屋外貯蔵タンク等の現況	3 4
5	防災関係機関等の消防力の現況	3 5
6	石油コンビナート等特定事業所異常現象	4 1
7	石油コンビナート等特別防災区域の特定事業所一覧	5 3

1 特別防災区域の地名・地番一覧表

平成26年10月1日現在

区域名	市名	指 定 区 域
京葉臨海北部地区	市川市	<p><u>二俣新町の区域</u></p> <p><u>高谷新町の区域、田尻1026番1、1026番3～1026番5、1027番1、1027番4、1027番5、1027番8～1027番11並びに</u></p> <p><u>上妙典1601番、1601番2、1602番1、1602番3、1602番4、1603番1、1603番3、1603番4、1606番1、1606番2及び</u></p> <p><u>1606番15の区域</u></p> <p><u>本行徳2554番1、2554番13、2554番16、2554番17、2554番40～2554番63、2554番68～2554番72及び</u></p> <p><u>2554番81～2554番88まで並びに当該区域に介在する道路の区域並びに高浜町1番、2番、3番1～3番3、4番1～4番3、4番5～4番9、5番、6番1、6番2、7番、12番及び13番の区域</u></p>

区域名	市名	指 定 区 域
京葉臨海中部地区	千葉市	<p>美浜区新港4番9、4番11、230番～234番、235番1及び235番2の区域並びに 当該区域に介在する道路の区域</p> <p>中央区川崎町1番18、1番28、2番1～2番5、2番10、3番1、4番1、4番9、5番1～5番3、6番1、6番3、6番4、7番1、7番2、7番22、7番23、8番7、8番14、8番17、8番20、10番1～10番8、10番12、11番、12番1、12番2、13番、14番1、14番2、15番～21番、<u>57番1～57番5、57番9</u>、58番1～58番3、59番1～59番4、61番1（市道川崎町4号線と市道川崎町南北線との交差点より南側の区域）、63番1～63番3、66番1及び71番の区域</p> <p>中央区新浜町及び村田町の区域のうち京葉臨海鉄道用地及びこれと海岸線との間の区域</p> <p>中央区蘇我町2丁目934番2、934番3、934番7、956番3、966番1、966番4、966番11、966番48、966番52、966番55、1364番～1368番2、1369番1、1369番6～1369番9、1370番、1371番1、1371番2、1372番1～1372番22、1376番1、1376番2、1377番、1378番1及び1378番2の区域</p>
	市原市	<p>一般国道16号線と海岸線との間の区域（一般国道16号線、村田川及び京葉臨海鉄道に囲まれた区域を除く。）</p> <p>五井南海岸19番、37番1～47番1及び47番3～47番5並びに 千種海岸7番1～7番11、8番1～8番6、8番9～8番11及び21番の区域並びに 当該区域に介在する道路の区域</p>
	袖ヶ浦市	<p>北袖の区域のうち一般国道16号線と海岸線との間の区域</p> <p>長浦字拓1号のうち一般国道16号線の北側の区域並びに 長浦字拓2号のうち一般国道16号線の西側の区域（580番153及び580番156並びに水路の部分を除く。）並びに 中袖の区域（水路の部分を除く。）</p>
京葉臨海南部地区	木更津市	<p>新港の区域</p> <p><u>築地1番1、1番2、1番16、1番17、1番21、2番1～2番6、3番3、6番1～6番3、7番1から7番11、8番、9番3及び10番の区域</u></p>
	君津市	<p><u>君津1番地及び11番地～21番地の区域</u></p>

2 地勢地質等

(1) 京葉臨海北部地区

京葉臨海北部地区は千葉県の西北部に位置しており、市川市の北は松戸市、東は船橋市、西は江戸川を隔てて東京都に接し、南は浦安市及び東京湾に面している。

土地はおおむね平坦であるが北部にかけて小丘起伏して台地となり関東ローム層と呼ばれる赤土で占められ臨海部は粘土質及び砂質でおおわれている。

気象は、東京湾に面しており海洋性の気象で関東平野中心部の気象区に属し、温暖な気候である。

この地区は京葉臨海中部地区と異なり、重化学工業の立地はなく、石油油槽所を主に形成している。

(2) 京葉臨海中部地区

京葉臨海中部地区は京葉臨海工業地帯の中央部に位置し東京湾沿岸に全長約 28km に及び带状に形成しており、発電所、製鉄所、石油精製工場及び石油化学工場等が集中し本県石油コンビナートの中心をなしている。また、これに沿って臨海鉄道及び一般国道 16 号線が並行している。

地質は低地が沖積層、洪積層、台地では洪積砂層、泥層で上を関東ローム層でおおわれ丘陵にあつては洪積層の一部である泥質砂又は砂礫層、山地は第三紀層等で占められている。

気象は年間を通じて温暖、湿潤でありこの地区は降雨量が多く、雨量の大部分は梅雨期と台風時期に占められる。

(3) 京葉臨海南部地区

京葉臨海南部地区は千葉県の西南部に位置し、北は袖ヶ浦市、南は富津市、西は東京湾に面し、東は夷隅郡に接している。

地質は洪積層に属し、東部に低い丘陵がありながらもおおむね平坦である。

海岸は一帯に遠浅で港内及び航路は浚渫によりおおよそ 3 ～ 19m の水深がある。

気象は年間を通じて温暖な気候に恵まれている。

この地区は新日鐵住金(株)君津製鐵所と関連発電所並びに関連工業等で形成されている。

(風配図は図－1、2、潮流図は図－3、4)

地震時の被害は、その地盤を構成している地質の形成された履歴と分布によって異なる。このような観点から地震の地盤特性に関する地質情報が非常に重要である。コンビナート地域の地盤地質についての詳細は、県環境研究センター水質地質部の調査によると次のとおりである。

コンビナート地域は、関東構造盆地の一部で、かつ東京湾東岸に立地しているので、主に東京湾東岸の地質層序について見ると、関東構造盆地を形成している基盤岩は船橋市の地下で 2,139m、鎌ヶ谷市地下で 1,500m の各深度に存在することが知られている。いずれの岩種も三波川系の結晶片岩である。さらに、基盤岩の岩種は不明であるが、千葉・市原にかけて深度を増す。しかし、その深度は不明である。(表－1)

船橋市の地下では、前述の基盤の上に中新統である三浦層群が不整合の層序関係で発達し、その層厚は 219m である。本層序は、南部の清澄山系付近で地表に露出し、最大層序を示す。一方、三浦層群とは黒滝不整合を挟んで上位に発達する上総層群は、船橋市の地下で 1,920m から 454m までの深度に達し、その層相は砂層とシルト層の互層からなる。本層群は南部の夷隅川・養老川・小櫃川・小糸川の中流から上流で地表に露出し、この地域で最大層厚を示す。

上総層群の上位には、不整合の層序関係で下総層群が発達する。そして、下総層群は下半部と上半部よりなる。下総層下半部は、船橋市の地下で 454m から 215m 付近の深度に達し、層厚は 239m である。層相は巨視的にみると、下位の船橋礫層と上位のシルト層からなる。下位の船橋礫層は南部で君津市長浜・浅間山付近に発達する長浜層に、船橋Dシルト層は佐貫町などに露出する佐貫層・周南層・そして長南町周辺に発達する笠森層にそれぞれ対比される。一方、船橋礫層は、北部では東京の山の手から地下にかけて発達する城北砂礫層に対比される。

下総層群の基底の構造は盆状構造を示し、最深部は東京湾東岸の市原市千種海岸付近(最深部：650m前後)である。最深部の北側ではNW－SE方向、南東側ではNE－SW方向、西側では

N-SからNNE-S SW方向の等深線で示される。また前述した最深部の北西方向の市川市付近から、埼玉県側に向ってE-WからNWW-S E Eの伸長方向をもつ盆状構造が認められ、市川市付近が二つの堆積盆の鞍部になっている。従って全体の形態は、N-SないしNW-S Eに伸びる盆状構造と、ほぼこれと直交するE-WないしNW-S Eに伸びる盆状構造とが組合わされた形態をもっている。この盆状構造の最深部が東京湾の中心部でなく、東岸付近にあることから、東京湾を横断する断面図を推定すると東京湾の西側部分に対して、東岸以東の部分の傾斜が相対的に大きくなっている。(図-5)

下総層群上半部の構造は、巨視的に下総層群基底の構造と非常によく類似した構造形態を示す。最深部は市原市千種海岸である。下総層下半部と上半部は、地質層序学的に整合であることが明らかになっている。

しかし、この両者の間には地層物性、電気抵抗、水質なども含めた層相的特徴には、明らかに差異が認められる。(図-6)

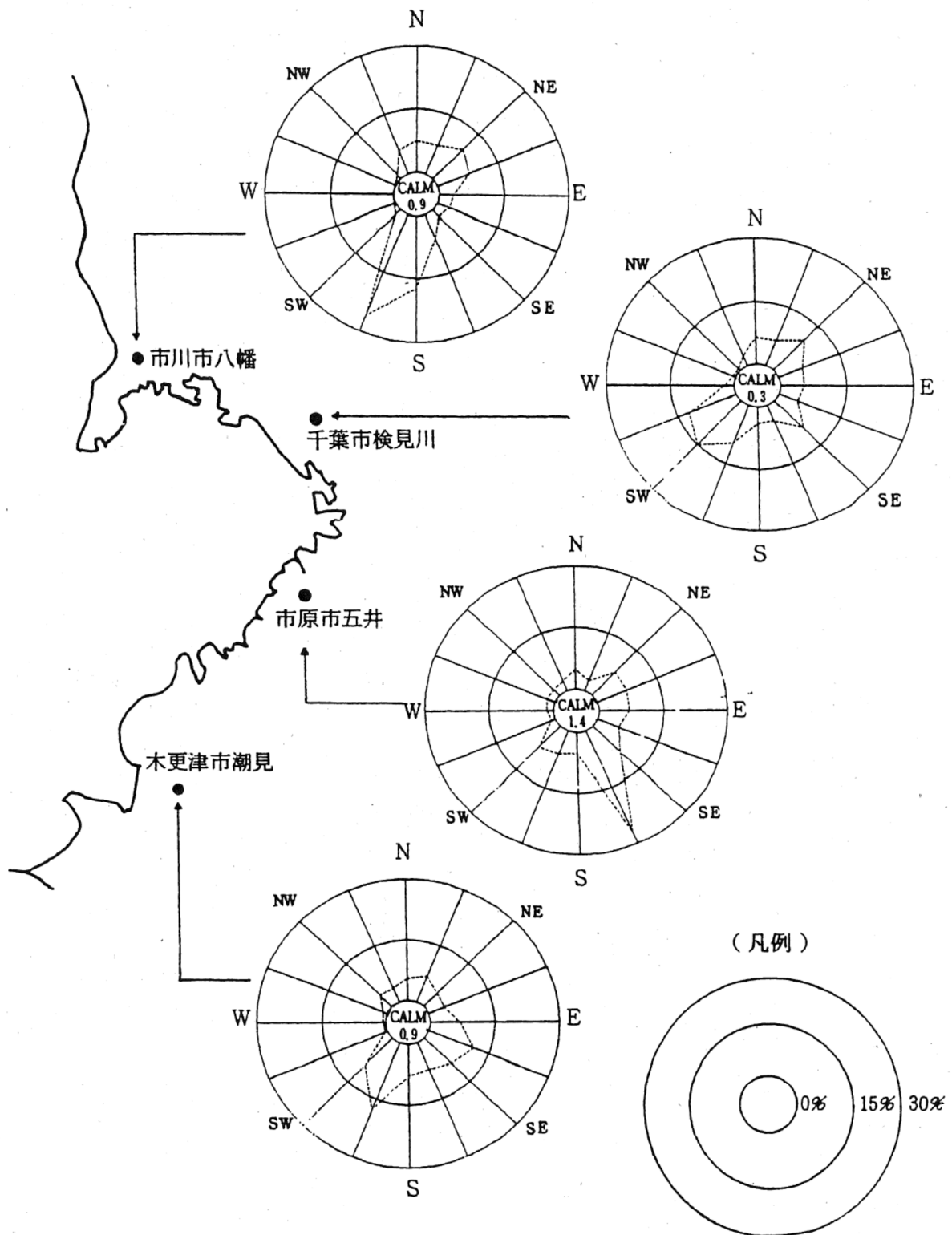
沖積層は東京湾を中心に発達する。特に大河川部に発達が著しい。下位の下総層群との層序関係は、不整合で接する付近の層相が海水準変動の影響によって一定しないことがある。

層序区分は、一般に上部と下部に区分され、各粘土層と砂層との組合せにより成っている。

千葉・市原の臨海地域には、次のような沖積層が発達している。それは、地形的には埋没谷に発達するものや一部埋没段丘上に発達するものがある。埋没谷中に発達する沖積層は、下半部がシルト質粘土と上半部が砂からなり、一般に海面下(A. P. 荒川工事基準面)25m~40mの付近に発達する。(図-7、8)

一方、京葉臨海コンビナート地域における常時微動を測定し、その卓越周期をみてみると、その周期の階層が沖積層の深度との間に大きな相関性が認められる。(図-9、10)

図-1 京葉臨海工業地帯 夏季風配置図 (平成6年7月～9月)



図一 2 京葉臨海工業地帯 冬季風配置図 (平成6年1月～3月)

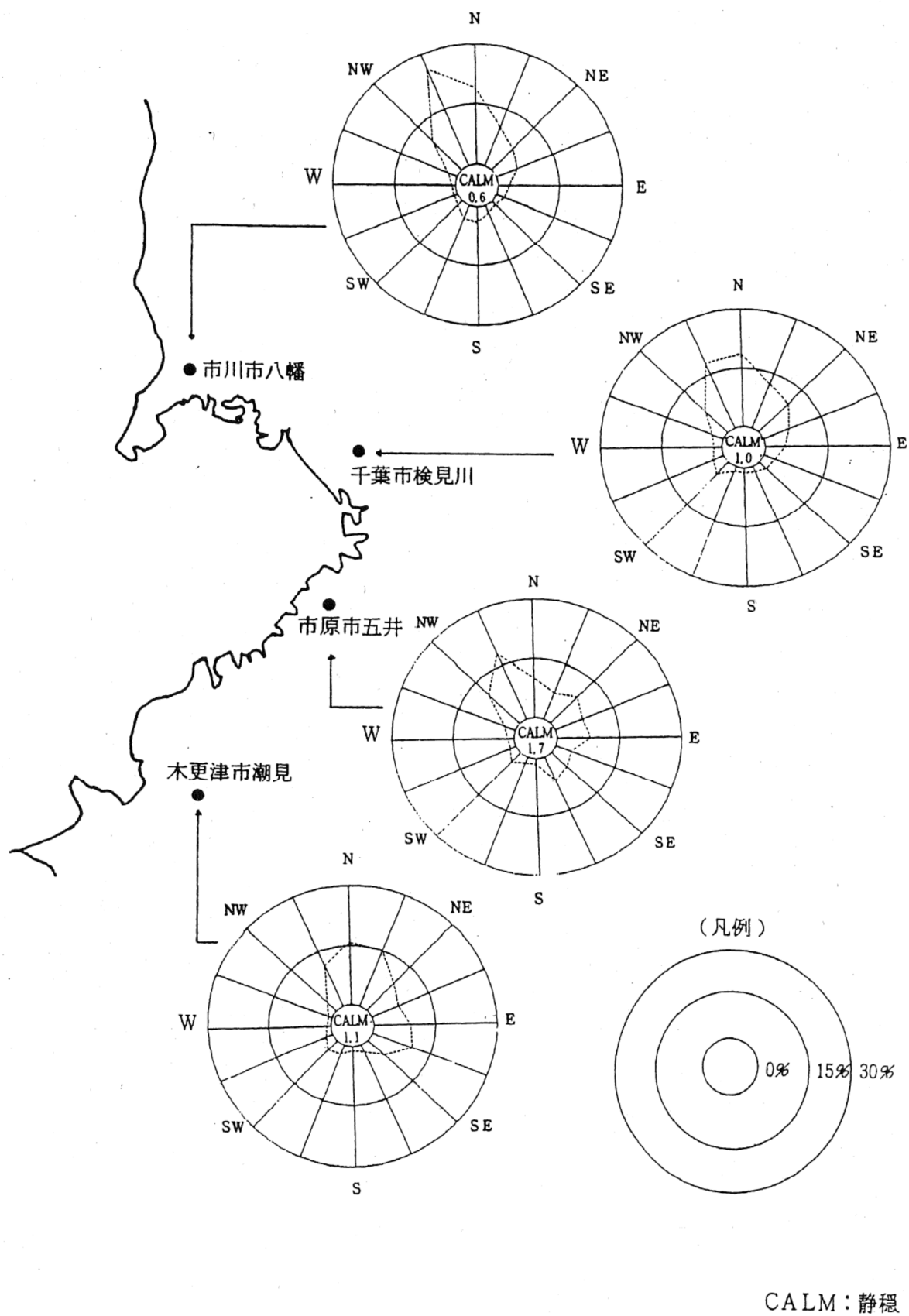


図-3 東京湾潮流図（南東流最強時）



資料：東京湾潮流図

1989. 2. 28 海上保安庁

図-4 東京湾潮流図

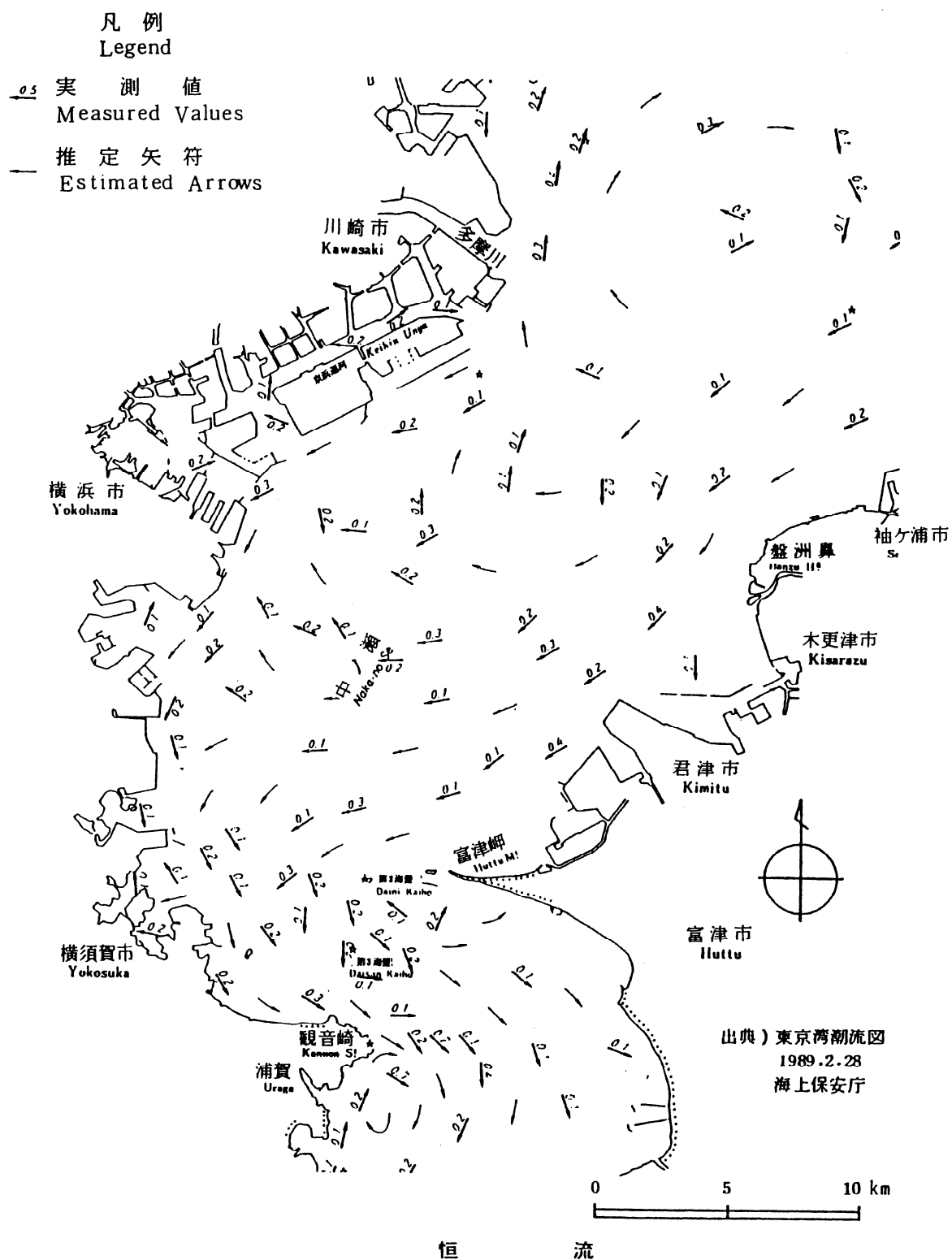


図-5 下総層群基底等深線

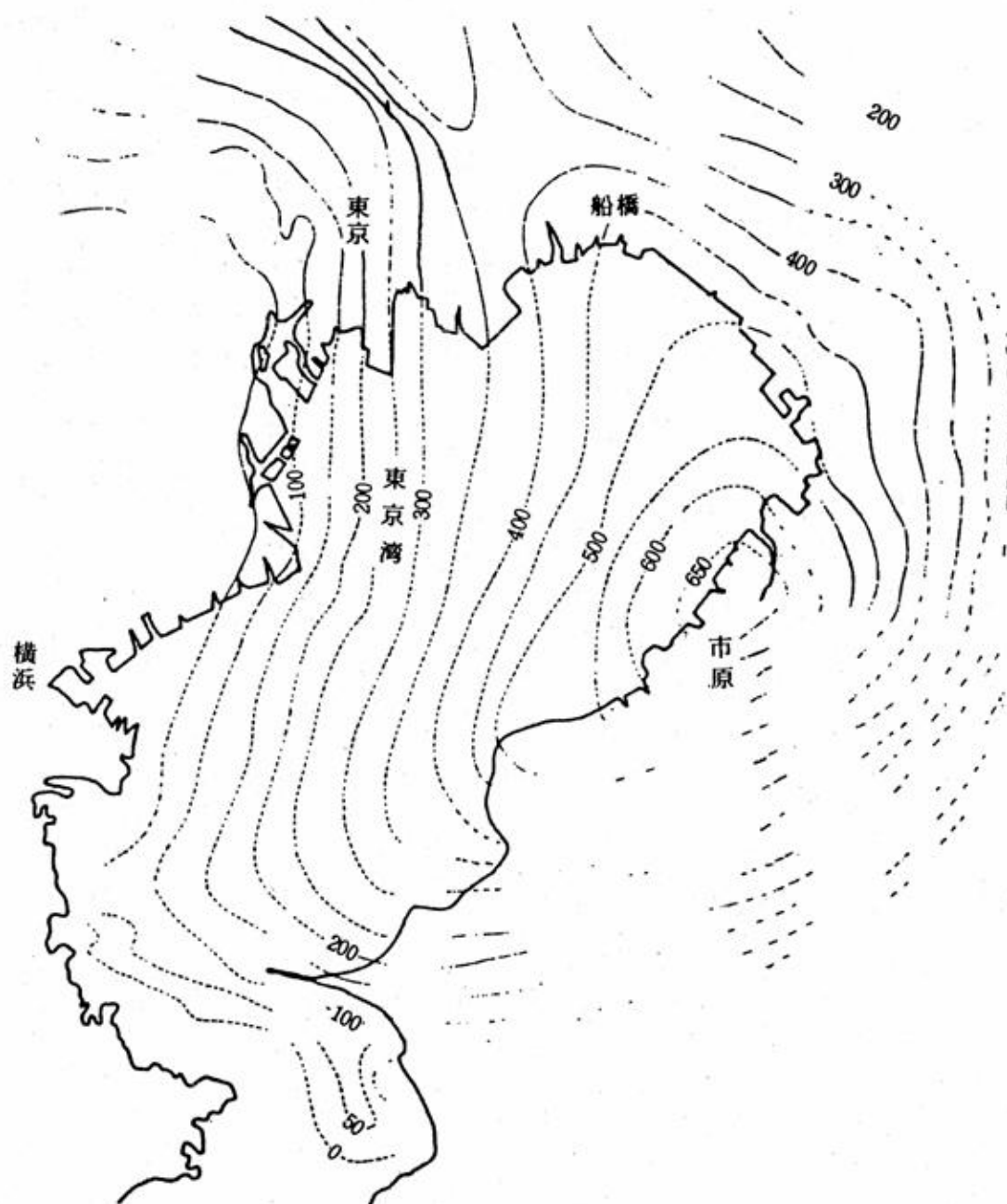


図-6 下総層群上半部の基底の等深線

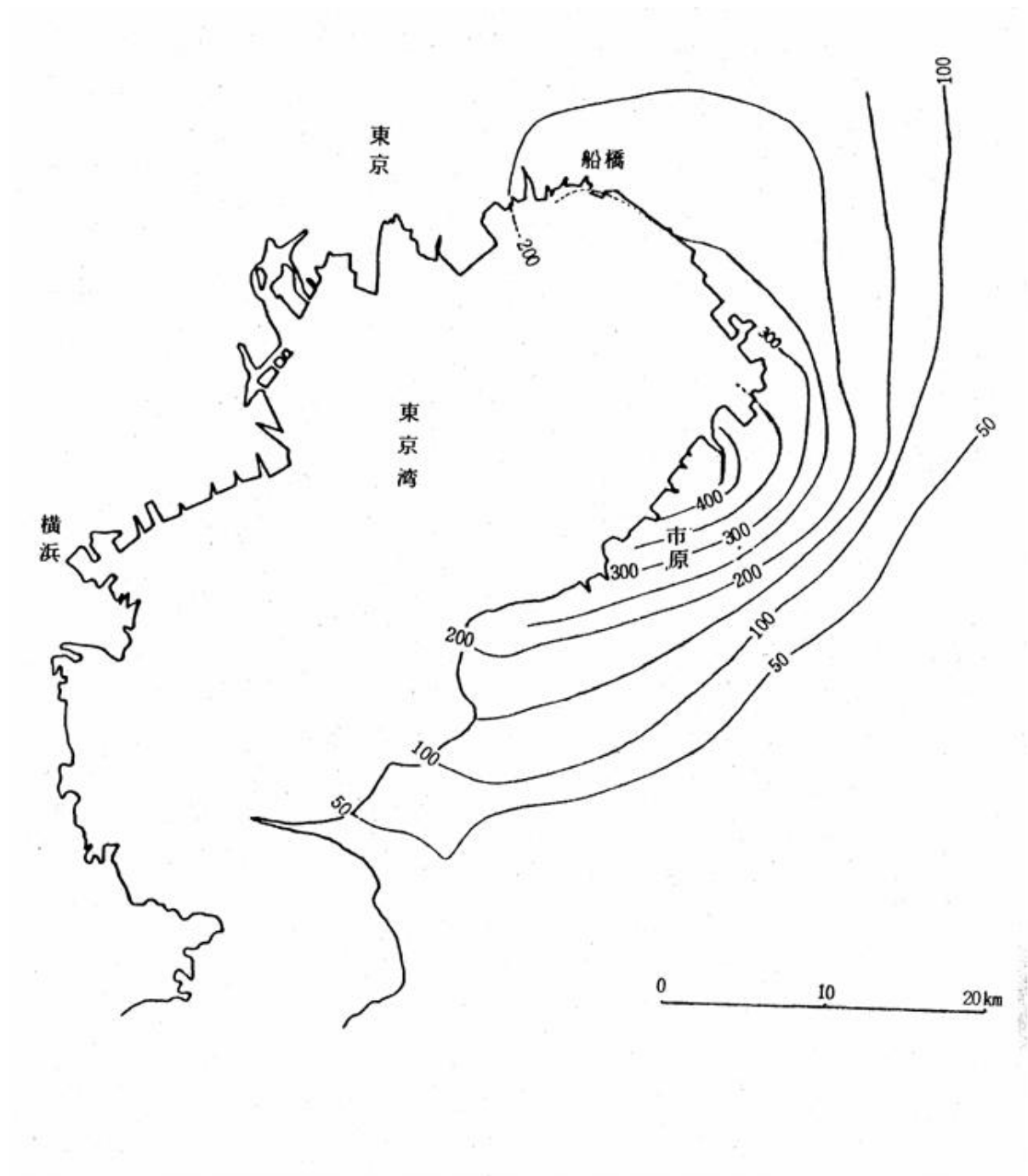


図-7 京葉臨海工業地帯沖積層の地質断面図

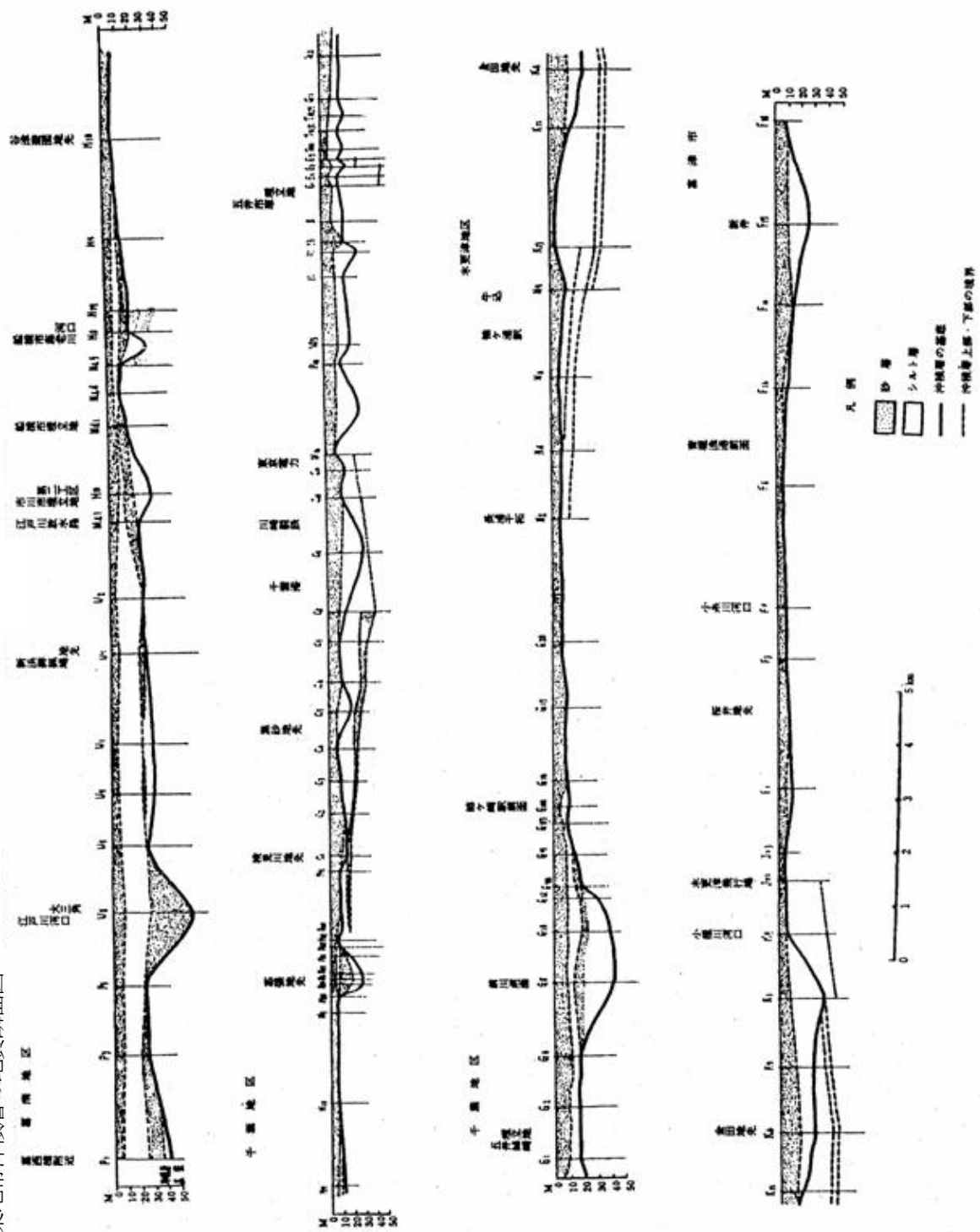


図-8 沖積層基底部の深度分布

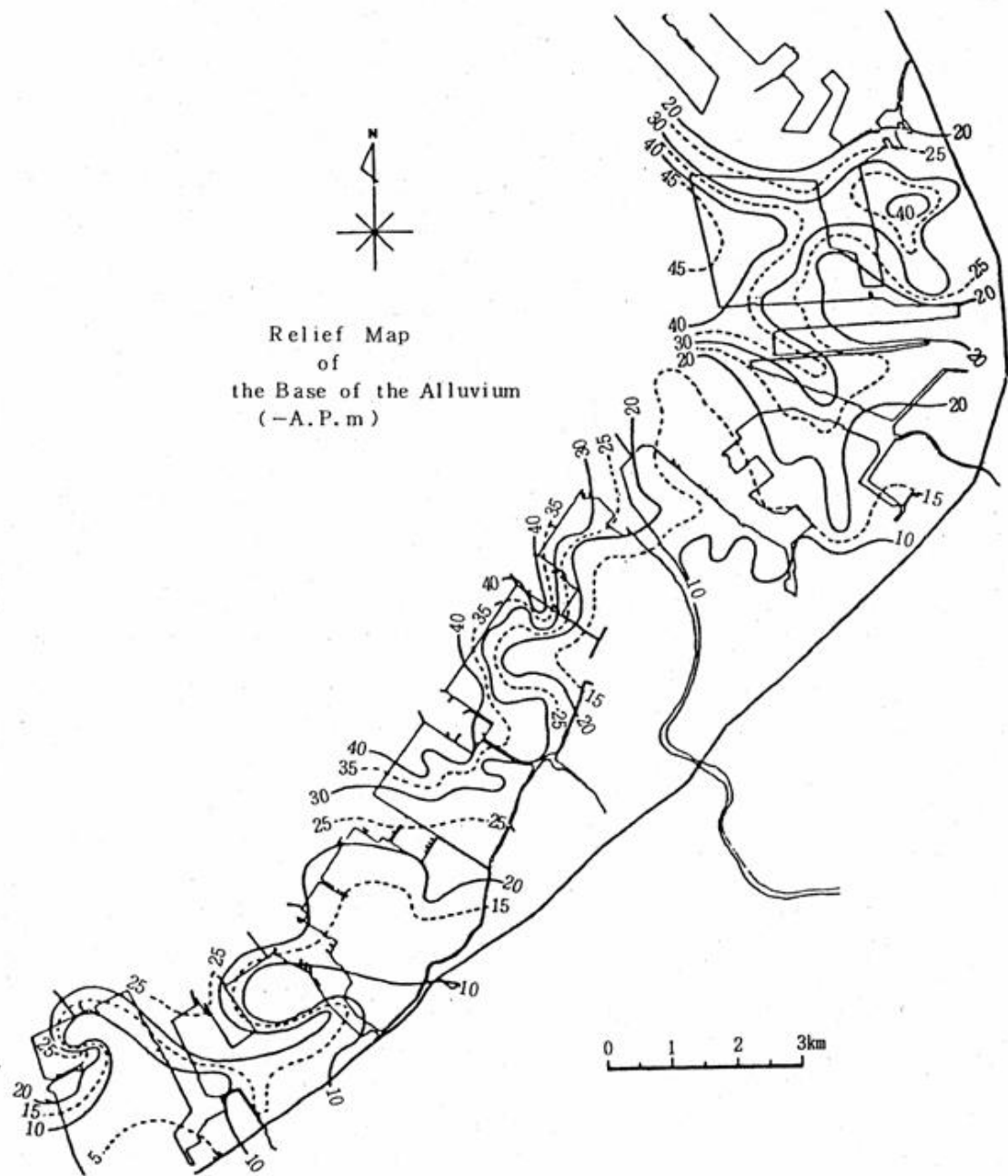


図-9 卓越周期の地域的分布

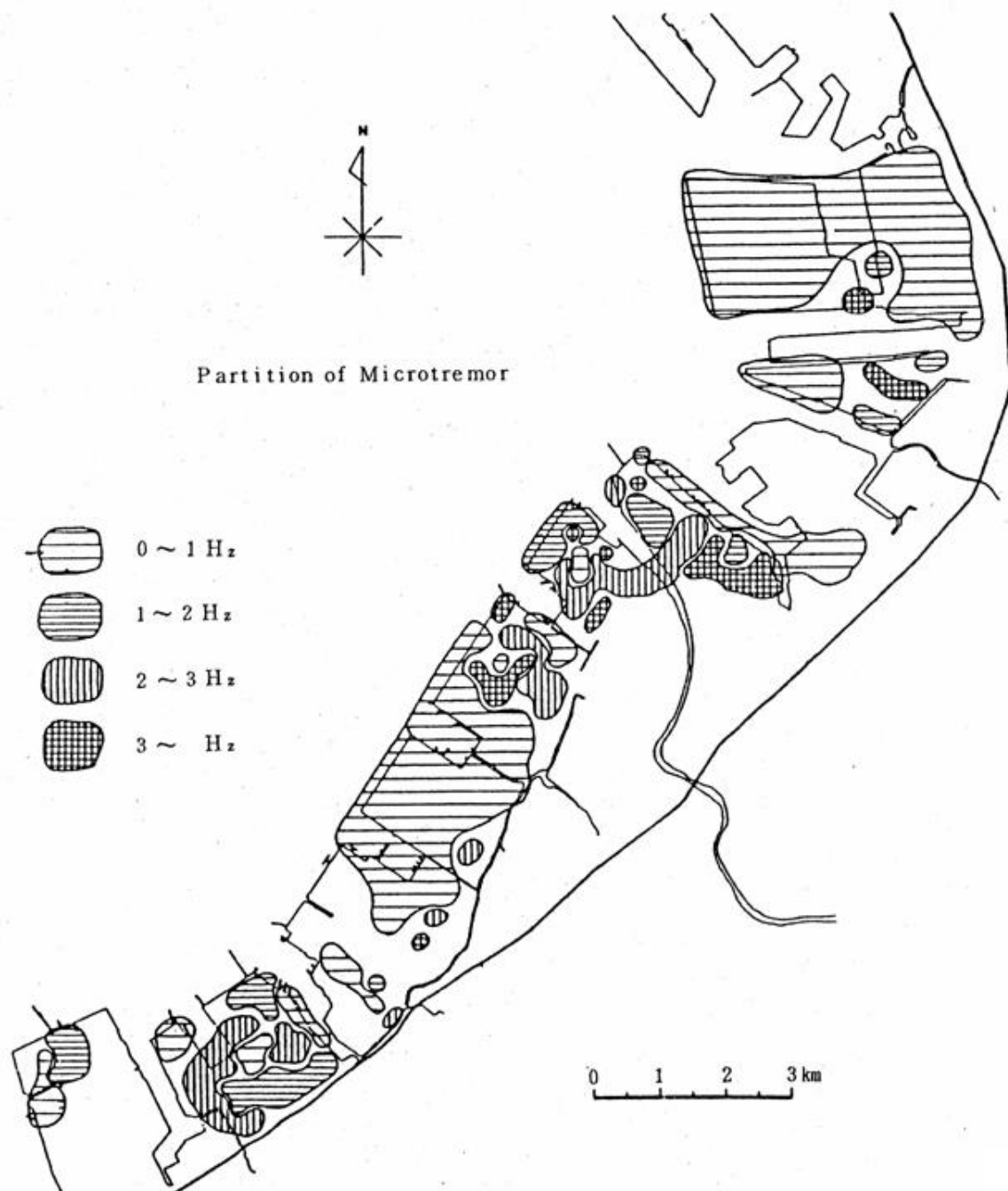


図-10 卓越周波数と沖積底面深度との関係

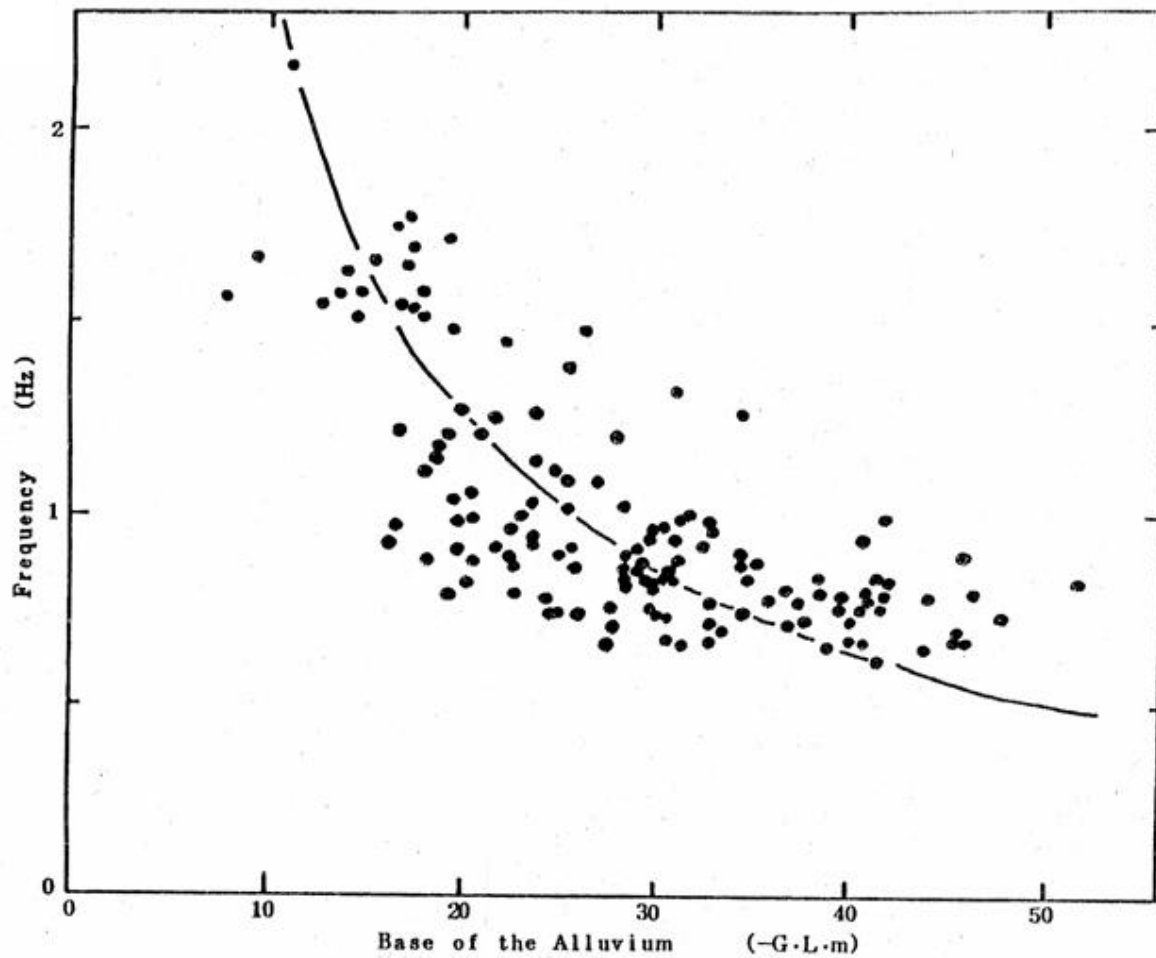


表1 南関東地方（船橋市周辺）の地下地質層序

沖 積 層			深度
下 総 層 群	上 半 部 (成 田 層 群)	礫層・砂層・シルト層粘土層の互層	
	下 半 部 (S A 層 群)	船橋Dシルト層	215 m
		船 橋 礫 層	403 m
上 総 層 群		船橋Cシルト層	454 m
		船橋上部砂礫層	840 m
		船橋Bシルト層	930 m
		船橋下部砂礫層	1,090 m
		船橋Aシルト層	1,260 m
		夏 見 砂 層	1,270 m
中 新 一 鮮 新 統		礫層・凝灰質砂層・シルト層	1,920 m
基 盤 岩		石英-白雲母-石墨片岩	2,139 m

3 港湾の現況

(1) 千葉港

港湾法による港湾区域は、袖ヶ浦市と木更津市との境界海岸（北緯35度26分20秒、東経139度57分7秒）から343度7,600メートルの地点まで引いた線、同地点から8度17,600メートルの地点まで引いた線、同地点から市川市塩浜1丁目15番地の2の護岸最先端の地点（北緯35度39分59秒、東経139度57分4秒）まで引いた線並びに陸岸及び市川市千鳥町1番地の地点（北緯35度40分20秒、東経139度55分45秒）から市川市加藤新田211の10番地の地点（北緯35度40分28秒、東経139度55分57秒）まで引いた線により囲まれた海面並びに市川市本行徳字東浜2,554番地の23の江戸川右岸の地点（北緯35度40分30秒、東経139度56分47秒）から市川市高谷新町19番地の2の江戸川左岸の地点（北緯35度40分40秒、東経139度57分）まで引いた線、海老川船橋橋、都川新大橋及び養老川最下流配管橋各下流の河川水面。ただし、漁港法（昭和25年法律第137号）により指定された奈良輪漁港の区域をのぞく。

なお、航路及びけい留施設の現況については図-11、13のとおりである。

(2) 木更津港

港湾法による港湾区域は富津市富津長浜2,035番地の64に設置された標柱（北緯35度18分49秒、東経139度49分28秒）から327度38分40秒8,840メートルの地点まで引いた線、同地点から21度2,500メートルの地点まで引いた線、同地点から52度4,500メートルの地点まで引いた線、同地点と木更津市吾妻1丁目地先の地点（北緯35度23分59秒、東経139度54分22秒）とを結んだ線及び陸岸により囲まれた海面。ただし、漁港法（昭和25年法律第137号）により指定された小糸川漁港の区域をのぞく。

なお、航路及びけい留施設の現況については図-12、14のとおりである。

(3) 参考

ア 東京湾の強風（20m/sec）と推定最大波高及び水域

（海上保安庁水路部計算資料による）

風向	風速	最大波高のあらわれる場所	推定波高
東	20m/sec	東京湾から横浜に至る西海岸一帯沖合	3～4m
西	〃	木更津港から千葉港に至る東海岸一帯沖合	
南	〃	川崎港沖合から東京港沖合	
北	〃	木更津港西方沖合	

イ 東京湾の潮汐

（潮汐表より）

場 所	大 潮 升	小 潮 升
千葉、東京、川崎	2.0m	1.5m
横浜、横須賀、海堡	1.7～1.8m	1.3～1.4m
金田湾	1.5m	1.2m

ウ 大型危険物バース（千葉港）図-15

エ 危険物専用バース（木更津港）図-16

図-11 航路の状況

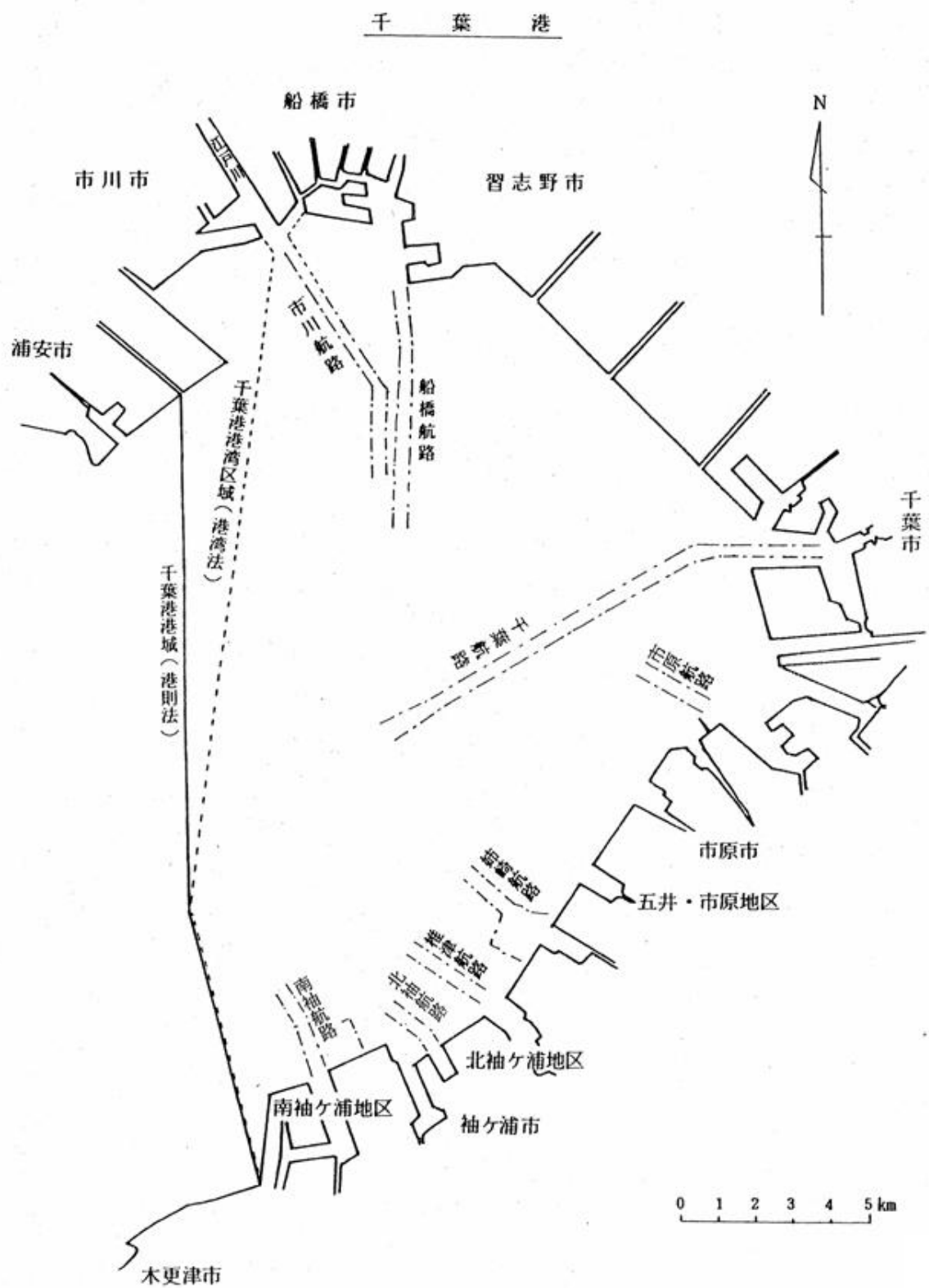


図-12 航路の状況

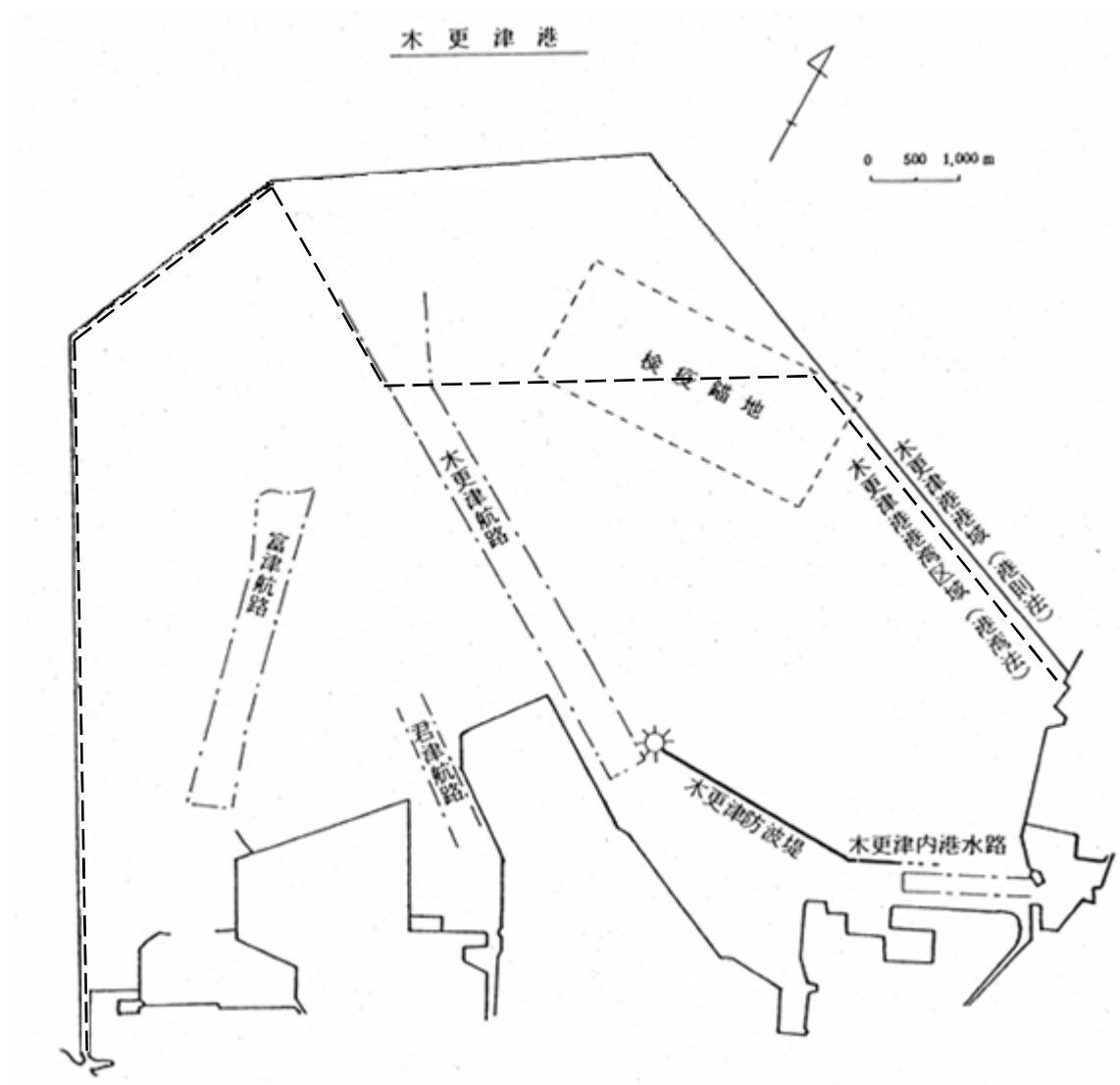


図-13-1-1



欄外の・印は危険物埠頭

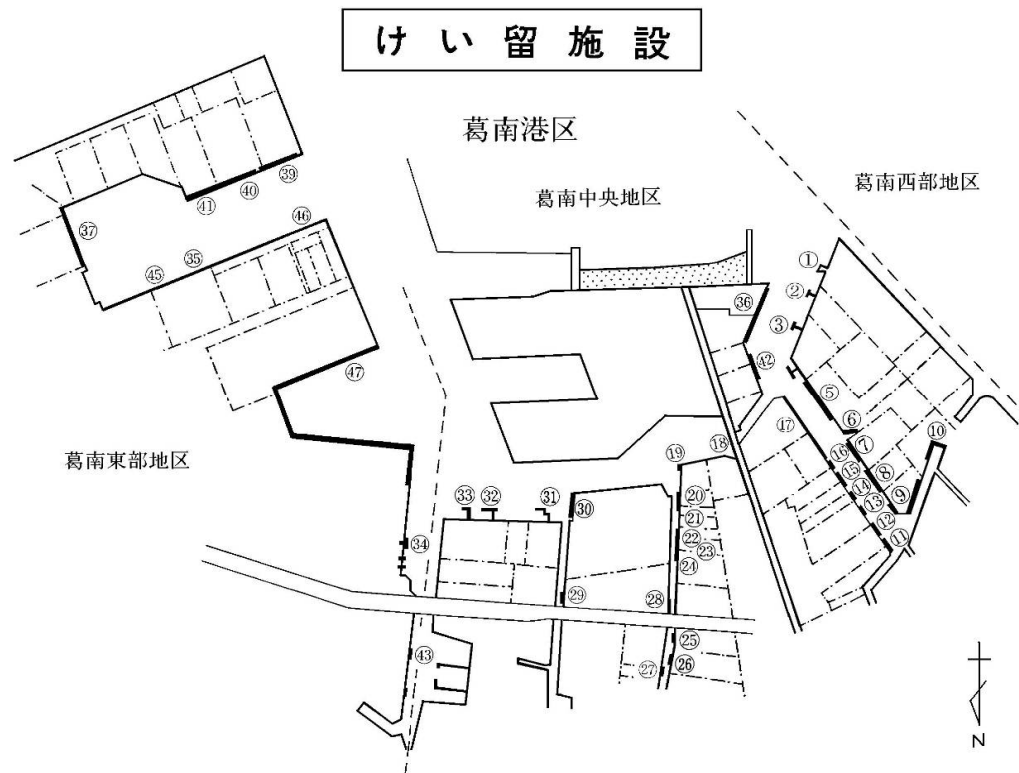
埠頭名称	管 理 者	水深 (m)	延長 (m)	係数	対象船舶	荷役機械			併用開始	備考
						機械名	能力	基数		
① 市川A岸壁(市川埠頭A岸壁)	千葉県	-5.5	125.0	1	2000				S52.12	
② 市川B岸壁(市川埠頭B岸壁)	千葉県	-5.5	125.0	1	2000				S52.12	
③ JXTGエネルギーC岸壁	JXTGエネルギー	-4.0	90.0	1	500	ローディングアーム		4	S49.7	石油製品
④ JXTGエネルギーB係船くい	JXTGエネルギー	-6.5	120.0	1	3000			4	S53.2	石油製品
⑤ JXTGエネルギーA係船くい	JXTGエネルギー	-6.5	125.0	1	3000			3	S47.4	石油製品
⑥ 竹石産業岸壁	竹石産業	-3.0	39.0	1	2700	ローディングアーム		3	S45.5	
⑦ 東洋合成工業A	東洋合成工業	-6.4	126.0	1	4500	ローディングアーム	150,200	1	S50.2	化学薬品
⑧ 東洋合成工業B	東洋合成工業	-5.5	101.0	1	2000			2		
⑨ 東洋合成工業C岸壁	東洋合成工業	-5.0	73.0	1	2500			2	S46	石油製品
⑩ サミットスチール岸壁	サミットスチール	-6.0	68.0	1						
⑪ 水揚げヤード	日本ガルパテックス	-3.0	16.0	1	300	水揚げクレーン	5t	1	S50.4	鉄鋼
⑫ (削除)										
⑬ 日産浮桟橋	日産ディーゼル	-2.2	259.0	15	75G/T				S50.1	
⑭ 八幡交通桟橋	八幡交通	-5.5	53.0	1	885				S53	
⑮ JFE鋼材東京第2揚場	JFE鋼材工業	-3.1	17.0		450					
⑯ 市川機材センター岸壁	五洋建設	-4.5	200.0	1	700				S42	
⑰ 専用岸壁	トビー海運	-5.0	148.0	2	1900	水平式引込クレーン、箱型水平クレーン	20t,12t		S46	鉄鋼
⑱ 市川塩浜特定目的会社岸壁	市川塩浜特定目的会社	-7.0	171.0	1						
⑲ (削除)										
⑳ 菱鋼運輸市川埠頭	菱鋼運輸	-6.0	178.0	2	499	RHクレーン、水平引込式クレーン	30t,15t		S49.12	鉄鋼
㉑ 丸一鋼管B岸壁	丸一鋼管	-6.0	102.0	1	3900	門型クレーン	10t		S51.3	鉄鋼
㉒ 丸一鋼管A岸壁	丸一鋼管	-6.0	162.0	1	2601	天井送付クレーン	30t		S48.2	機械
㉓ 月島機械入出岸壁	月島機械	-5.9	198.0	1	1000		36t		S46	鉄鋼
㉔ 東京流通センター岸壁	JFE物流	-6.0	339.0	1	1000	橋型クレーン				

図-13-1-2



	埠頭名称	管 理 者	水深 (m)	延長 (m)	バース数	対象船舶	荷役機械			併用開始	備考
							機械名	能力	基 数		
1	船橋東埠頭A, B岸壁	千葉県	-7.5	290.0	2	5000				S48.4	
2	船橋東埠頭C,D,E,F,G岸壁	千葉県	-6.0	526.0	5	3000				S51.4	
3	船橋東埠頭H, I岸壁	千葉県	-5.5	185.0	2	2000				S58	
4	船橋東埠頭物揚場	千葉県	-4.0	300.0		500				S59	
5	船橋湊町船揚場	千葉県	-2.0	207.0		5G／T				S35	
6	湊町1号物揚場	千葉県	-3.0	175.0		漁船等				S58	
7	湊町2号物揚場	千葉県	-3.0	127.0		漁船等				S58	
8	日の出物揚場	千葉県	-4.0	66.0		通船等				S56	
9	日の出1号物揚場	千葉県	-4.0	150.0		500					
10	日の出2号物揚場	千葉県	-4.0	103.0		500				S29	
11	日の出A, B, C岸壁	千葉県	-5.5	270.0	3	2000				S41.5	
12	船橋中央埠頭1号物揚場	千葉県	-2.0	258.0		官公庁船	ポスト型クレーン	2.8t	1	S48.4	廃棄物
13	船橋中央埠頭2号物揚場	千葉県	-4.0	120.0		500				S57	
14	船橋中央埠頭北A1～A6岸壁	千葉県	-5.5	571.0		2000				S53	
15	船橋中央埠頭北B,C,D岸壁	千葉県	-7.5	410.0	3	5000				S48.4	
16	船橋中央埠頭北E,F,G岸壁	千葉県	-7.5	401.0	3	5000				S54.10	
17	船橋中央埠頭北H,I岸壁	千葉県	-7.5	260.0	2	5000				S54.10	
18	船橋中央埠頭北K,L岸壁	千葉県	-7.5	260.0	2	5000					
19	船橋中央埠頭M1～M4岸壁	千葉県	-5.5	395.0	4	2000				S54	
20	船橋中央埠頭南A,B,C岸壁	千葉県	-10.0	555.0	3	15000					
21	船橋中央埠頭南D岸壁	千葉県	-10.0	170.0	2	15000					
22	日の出D, E岸壁	千葉県	-5.5	180.0	2	2000				H4	
23	船橋中央埠頭北J岸壁	千葉県	-7.5	143.0	1	5000				S63	
24	湊町3号物揚場	千葉県	-2.0	107.0		漁船等				S62	
25	船溜西物揚場	千葉県	-2.0	260.0		5G／T					
26	船溜東物揚場	千葉県	-2.5	240.0		5G／T				S29	
27	船溜南物揚場	千葉県	-1.5	263.0		5G／T				S26	
28	船橋浜町船揚場	千葉県	-1.5	41.0		5G／T				S39	
29	船橋浜町さん橋	千葉県	-3.0	16.0×2	2	100				S57	
30	係船浮桟橋	千葉県	-3.0	20.0	1	5				S46	
31	船橋日の出さん橋	千葉県	-4.0	24.0						H4	
32	船橋湊町さん橋	千葉県	-4.0	24.0	2					S63	
33	船橋中央埠頭南E岸壁	千葉県	-4.0	240.0	1	30000					

図-13-1-3



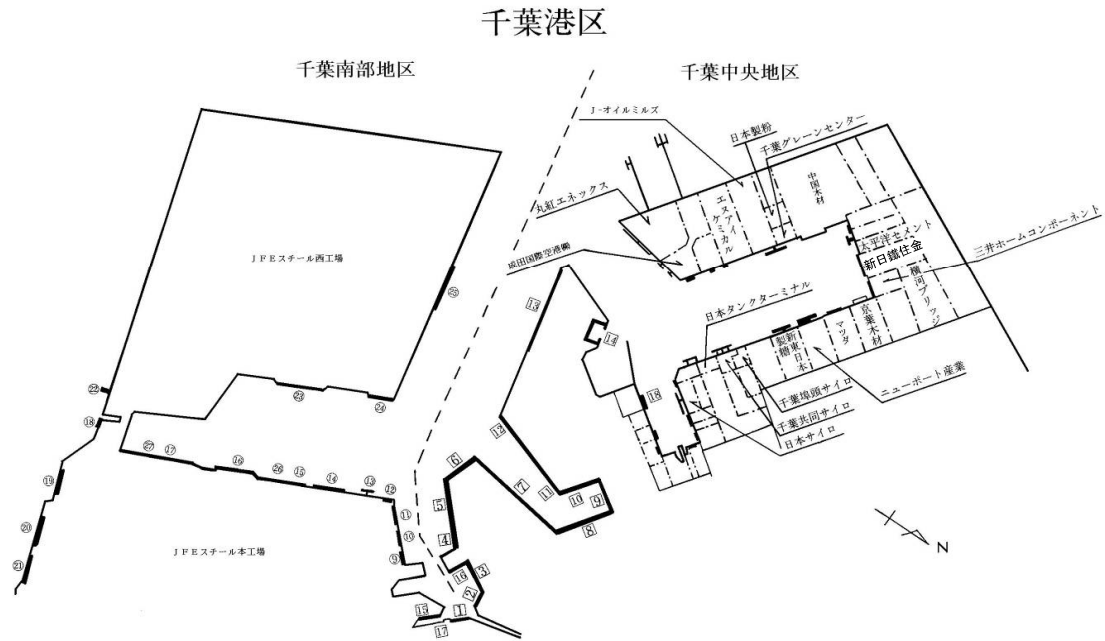
欄外の・印は危険物埠頭

埠頭名称	管 理 者	水深 (m)	延長 (m)	ハース数	対象船舶	荷役機械			併用開始	備考
						機械名	能力	基数		
① 日新製鋼出荷岸橋	日 新 製 鋼	-6.0	40.0	1	3000	ダブル引込式クレーン	17t	1	S36	鉄鋼
② 市川基地岸橋	アストモスエネルギー	-6.0	172.0	1	1832				S44.11	石油製品
③ 第2岸橋	月 島 機 械	-6.0	165.0	1	5000	ローディングアーム		2	S44	石油製品
⑤ 京葉鉄鋼埠頭	京 葉 鉄 鋼 埠 頭	-6.5	331.0	3	699G/T	水平引込、橋型クレーン	10t	3	S44	鉄鋼
⑥ 市川フェリー基地	製 鉄 運 輸	-4.0	100.0	1	1000				S46	鉄鋼
⑦ クボタ市川工場係船岸壁	ク ボ タ 市 川 工 場	-2.4	100.0	2	350				S48	
⑧ 入出荷岸場	ガ ル バ テ ッ ク ス	-2.8	148.0		400	天井走行クレーン	5t	6	S39	
⑨ 富士川埠頭A、B、C岸壁	富 士 港 運	-4.0-6.0	428.0	3	1596				S39	
⑩ JFE物流高谷岸壁	J F E 物 流	-4.5	82.0	1	2500				S50	
⑪ 住友大阪セメント岸壁	住 友 大 阪 セ メ ン ト	-6.0	80.0	1	2500				S42.8	セメント
⑫ 大阪運輸岸壁	大 阪 運 輸	-6.0	106.0	1	2000				S40	鉄鋼
⑬ 指定岸壁	ナ ベ カ イ	-4.5	90.0		500	天井走行クレーン	25t	1	S39	鉄鋼
⑭ 日本サン石油市川工場油岸壁	日 本 サ ン 石 油	-5.5	32.0	1	1500				S42	石油製品
⑮ (削除)										
⑯ 危険物専用岸壁	丸 善 京 葉 油 槽 所	-5.5	94.0	1	2000				S43	化学製品
⑰ 神鋼物流市川A、B、C、D、E岸壁	神 鋼 物 流	-5.0	519.0	3						
⑱ 日本メサライト工業船橋岸壁	日 本 メ サ ラ イ ト	-5.0	79.0	1	1200	クラムシェル	30t	2		砂利、砂
⑲ (削除)										
⑳ 兼松アグリテック物揚場	兼 松 ア グ リ テ ッ ク	-3.5	76.0	1	500	ローディングアーム	12t	1	S35	
㉑ (削除)										
㉒ 三菱UFJ信託H型鋼センター河岸	三 菱 U F J 信 託 銀 行	-2.0	117.0		500	天井走行クレーン	10,5,3t	3	S46	
㉓ 青柳船橋物揚場	青 柳 鋼 材 興 業	-2.5	57.0		500				S44	鉄鋼
㉔ 物揚場	日 本 機 電	-2.5	64.0		200				S42	
㉕ 芝浦倉庫船橋物揚場	芝 浦 倉 庫	-3.5	60.0		300	Cクレーン、Dクレーン	20,10t	2	S43.2	
㉖ 日鉄住金鋼板船橋物揚場	日 鉄 住 金 鋼 板	-3.5	65.0	3	500				S43.7	鉄鋼
㉗ 船橋倉庫物揚場	大 和 陸 運 倉 庫	-2.5	32.0	2	400				S39	
㉘ 船橋	山 元	-3.0	10.0		400				S43.12	
㉙ 船橋係船設備	清 水 港 飼 料	-2.5	40.0		385	アンローダー	60t	1	S40	
㉚ 船橋工業専用岸壁	ク ボ タ	-5.5	132.0	1	1500				S45	米、雑穀、豆
㉛ 富士興産1号、2号岸壁	富 士 興 産	-6.0	203.0	2	2500				S47	
㉜ ニチレイ船橋工場	ニ チ レ イ	-7.0	128.0	1	4000				S55	石油製品
㉝ 船橋	ニ チ レ イ	-4.0	88.0		500	トラッククレーン			S47	
㉞ (削除)										
㉟ 王子物流岸壁	王 子 物 流	-12.0	395.0	2	30000				S49.10	重油
㊱ A、B岸壁	栗本鉄工所・カモツイルバンク	-7.5	94.0	2	5000	セミローブトロリー式橋型クレーン	43t		S50.11	紙、パルプ
㊲ 本田日新埠頭岸壁	日 新	-12.0	386.0	1	42424				S50	鉄鋼
㊳ 習志野岸壁	日 本 通 運	-12.0	250.0	1	37391				S55.5	輸送機械
㊴ 阪和京葉岸壁	阪和流通センター・東洋海運	-12.0	290.0	1	32531				S56.7	鉄鋼
㊵ 千葉トヨペット習志野岸壁	千 葉 ト ヨ ペ ッ ト	-12.0	210.0	1	3515				S62	鉄鋼、セメント
㊶ 岸壁	神 鋼 物 流	-6.5	306.0	1	2100				H2	輸送機械
㊷ (削除)										
㊸ 京葉食品コンビナート南ハース	京 葉 食 品 コ ン ビ ナ ー ト 協 議 会	-11.5	775.0	2						
㊹ 京葉食品コンビナート北ハース	京 葉 食 品 コ ン ビ ナ ー ト 協 議 会	-6.4	679.0	2						

図-13-2-1

—

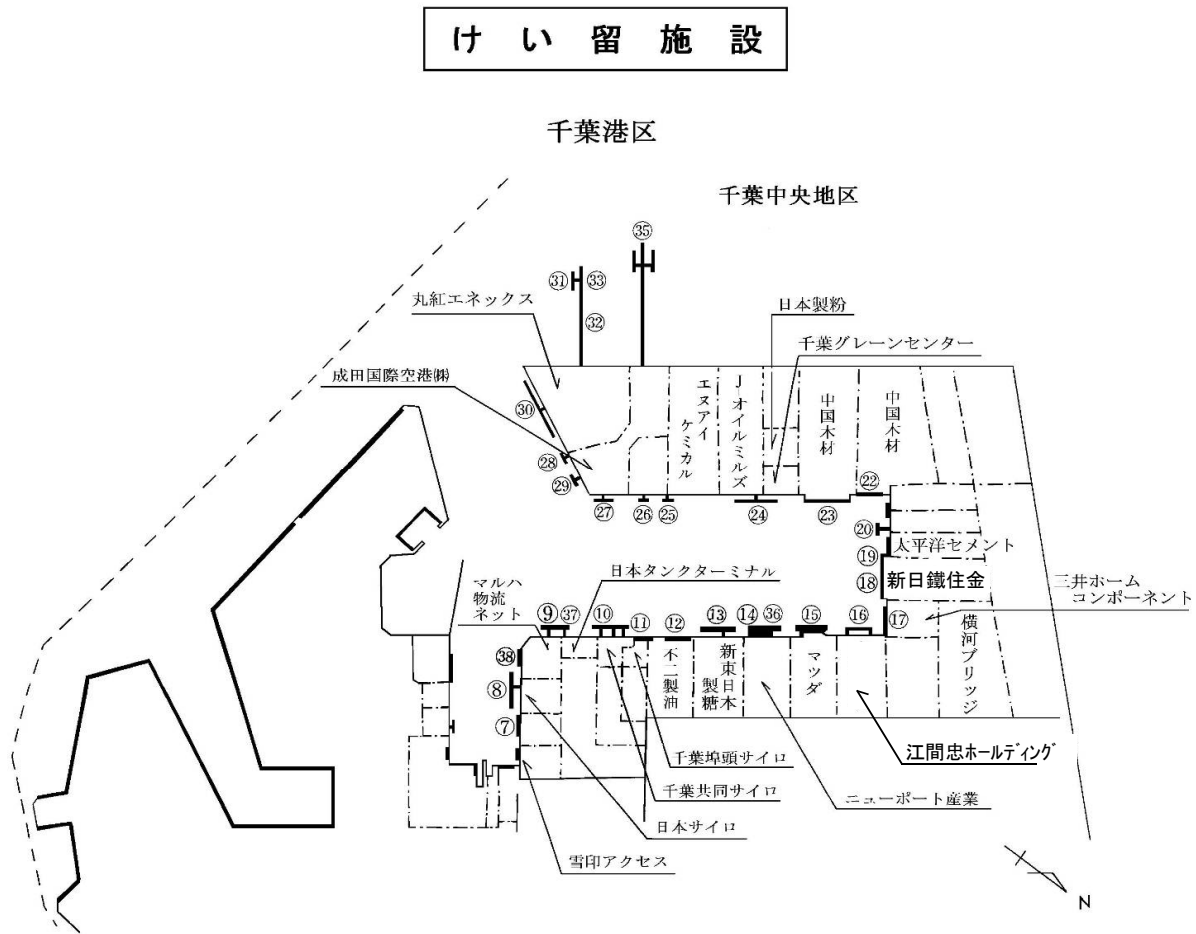
け い 留 施 設



欄外の・印は危険物埠頭

埠頭名称	管 理 者	水深 (m)	延長 (m)	バース数	対象船舶	荷役機械			併用開始	備考
						機械名	能力	基数		
① 千葉出洲埠頭4号物揚場	千 葉 県	-3.0	108.0		300				S42	
② 千葉出洲埠頭3号物揚場	千 葉 県	-3.0	121.0		300				S34	
③ 千葉出洲埠頭2号物揚場	千 葉 県	-4.0	237.0		500				S31	
④ 千葉出洲埠頭1号物揚場	千 葉 県	-4.0	172.0		500				S45.7	
⑤ 千葉出洲埠頭A, B, C岸壁	千 葉 県	-7.5	430.0	3	5000				S42	
⑥ 千葉出洲埠頭D1, D2岸壁	千 葉 県	-6.0	265.0	2	3000				S48.9	
⑦ 千葉出洲埠頭E, F1~F10岸壁	千 葉 県	-5.5	1045.0	11	2000				S44	
⑧ 千葉中央埠頭4号物揚場	千 葉 県	-4.0	130.0		500				S44	
⑨ 千葉中央埠頭3号物揚場	千 葉 県	-4.0	250.0		500				S44	
⑩ 千葉中央埠頭2号物揚場	千 葉 県	-4.0	281.0		500				S44	
⑪ 千葉中央埠頭-4.5m岸壁	千 葉 県	-4.5	90.0	1	700				S45	
⑫ 千葉中央埠頭A, B, C, D, E岸壁	千 葉 県	-10.0	1000.0	5	15000				S45~S49	
⑬ 千葉中央埠頭F, G, H岸壁	千 葉 県	-12.0	750.0	3	30000	多目的クレーン	49t	1	S56, S59	
⑭ 千葉中央埠頭内貨物揚場	千 葉 県	-4.0	400.0		500				S61.4	
⑮ 寒川船溜物揚場	千 葉 県	-3.0	215.0		300				S57	
⑯ 出洲定係場	千 葉 県	-4.0	149.0		500					
⑰ 寒川船揚場	千 葉 県	-1.0	15.0		3G/T				S57	
⑱ 千葉中央埠頭I岸壁	千 葉 県	-7.5	130.0	1	5000				H7	
⑲ JFE製品岸壁Aバース	JFEスチール(株)	-9.5	214.0	1	10000	ローブトローリ	20t	2	S38.10	鉄鉱石
⑳ JFE製品岸壁Bバース	JFEスチール(株)	-10.5	150.0	1	25000	ローブトローリ	20t	1	S40.9	鉄鋼
㉑ JFE製品岸壁Cバース	JFEスチール(株)	-11.0	139.0	1	25000	ローブトローリ	22t	1	S43.9	鉄鋼
㉒ JFE正面岸壁Dバース	JFEスチール(株)	-6.0	85.0	1	500				S43	鉄鋼
㉓ JFE正面岸壁Eバース	JFEスチール(株)	-10.0	140.0	1	2000				S59	鉄鋼
㉔ JFE正面岸壁Fバース	JFEスチール(株)	-12.0	270.0	1	52000				S37.3	鉄鋼
㉕ JFE正面岸壁Gバース	JFEスチール(株)	-9.5	167.0	1	11000				S28.11	鉄鋼
㉖ JFE正面岸壁Jバース	JFEスチール(株)	-18.0	406.0	1	154000	ローブトローリ	60t	2	S53.10	鉄鉱石
㉗ JFE正面岸壁Lバース	JFEスチール(株)	-12.0	280.0	1	52000	水平引込式クレーン、シップローダー	16t	2	S36.9	鉄鉱石
㉘ JFE南方岸壁N2バース	JFEスチール(株)	-6.0	143.0	1	2700				S45	原油
㉙ JFE南方岸壁Oバース	JFEスチール(株)	-6.0	291.0	1	6000				S36.7	
㉚ JFE南方岸壁Pバース	JFEスチール(株)	-5.0	385.0	1	1200	シャトル式天井クレーン	15t	1	S46	鉄鋼
㉛ JFE南方岸壁Qバース	JFEスチール(株)	-3.0	280.0	1	1500	シャトル式橋型クレーン		1	S31.2	鉄鋼
㉜ JFE西工場南岸壁SAバース	JFEスチール(株)	-6.0	147.0	1	2100				S48	
㉝ JFE西工場東岸壁EBバース	JFEスチール(株)	-18.0	505.0	1	158000	ローブトローリ	60t	1	S46.10	鉄鉱石
㉞ JFE西工場東岸壁EAバース	JFEスチール(株)	-11.5	277.0	1	50000	ローブトローリ	35t	1	S48	鉄鋼
㉟ JFE西工場北岸壁NAバース	JFEスチール(株)	-15.5	300.0	1	80000	ローブトローリ	50t	1	S61.1	鉄鋼
㊱ JFE正面岸壁Hバース	JFEスチール(株)	-9.5	151.0	1	2000				S28.11	
㊲ JFE正面岸壁Mバース	JFEスチール(株)	-12.0	261.0	1	25000	水平引込式クレーン	16t	1	S40	鉄鉱石

図-13-2-2

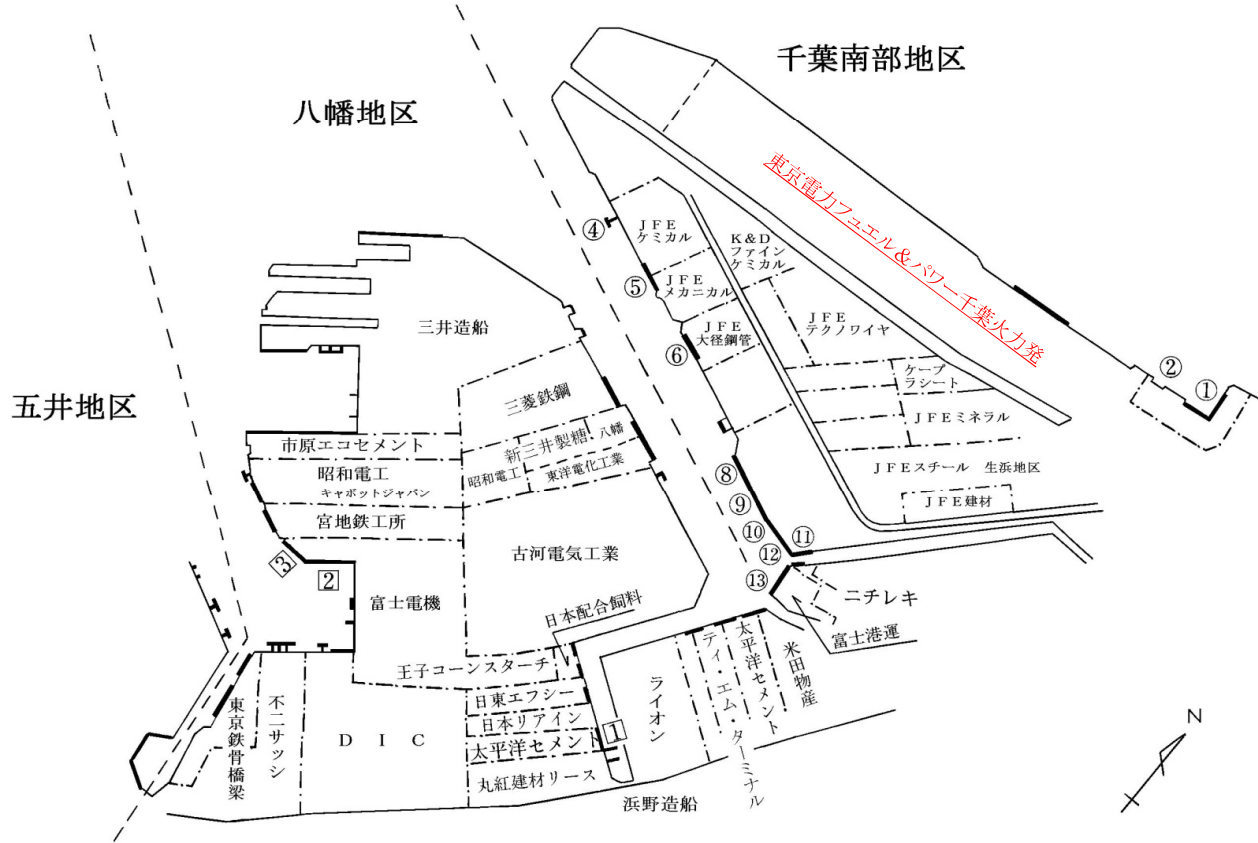


欄外の・印は危険物埠頭

埠頭名称	管 理 者	水深 (m)	延長 (m)	バース数	対象船舶	荷役機械			併用開始	備考
						機械名	能力	基数		
⑦ 日本サイロ新港物揚場	日 本 サ イ ロ	-4.0	270.0		1000					
⑧ 日本サイロ新港本船棧橋	日 本 サ イ ロ	-12.0	160.0	1	55000	ニューマチックアンローダー	400t/h	3	S43	米,雑穀,豆
⑨ SNC-JTT共同棧橋	マルハニチロ物流 日本タンクターミナル	-12.0	120.0	1	30000				S45.4	化学工業品
⑩ 千葉共同サイロ棧橋	千 葉 共 同 サ イ ロ	-12.0	150.0	1	73939	ニューマチックアンローダー	300t/h	3	S62	米,雑穀,豆
⑪ 千葉埠頭サイロ岸壁	千 葉 埠 頭 サ イ ロ	-4.5	50.0	1	600G/T	ニューマチックアンローダー	80t/h	1	S55	麦
⑫ 不二製油物揚場	不 二 製 油	-2.5	200.0		300				S55	
⑬ 新東日本製糖棧橋	新 東 日 本 製 糖	-12.0	260.0	1	30000	穀物荷役アンローダー	330t/h	2	S47.3	砂糖
⑭ ニューポート産業千葉埠頭	ニ ュ ー ポ ー ト 産 業	-12.0	150.0	1	40000				S49.9	鉄鋼
⑮ 千葉流通センター棧橋	マ ツ ダ	-12.0	140.0	1	4500G/T				S59	
⑯ 江間忠ホールディング埠頭棧橋	江 間 忠 ホ ー ル テ ィ ン グ	-12.0	120.0	1	20000				S43.5	セメント
⑰ 三井ホームコンポーネント(株)新港工場岸壁	三 井 ホ ー ム コ ン ポ ー ネ ン ト	-3.0	142.0							原木
⑱ 新日鐵住金鋼材ヤード新港岸壁	新 日 鐵 住 金	-7.5	239.0	2	2000	水平引込み橋型クレーン	300,600t/h	2	S44	鉄鋼
⑲ 太平洋セメントAB岸壁	太 平 洋 セ メ ン ト	-5.5	200.0	2	2000					石膏
⑳ 太平洋セメント新港ドルフィン	太 平 洋 セ メ ン ト	-3.0	164.1						S43.8	セメント, 砂
㉑ 中国木材棧橋	中 国 木 材	-3.5	70.0		500					
㉒ 中国木材埠頭	中 国 木 材	-12.0	250.0	1	45000				S44.5	
㉓ COパス	J オ イ ル ミ ル ズ	-12.0	350.0	1	50000	アンローダー	400t/h	2	S44.5	
㉔ エヌアイケミカル(株)危険物専用棧橋	エヌアイケミカル	-6.5	137.1	1	5345	デリック			S58	
㉕ 新日本石油5500DWT棧橋	新 日 本 石 油	-8.0	28.3	1	1000				S45.1	石油製品
㉖ NAA3000DWT棧橋	成 田 国 際 空 港 側	-6.0	150.0	1	3000	マリンローディングアーム	450,800kl/h	3	S47.6	石油製品, 重油
㉗ NAA2号棧橋	成 田 国 際 空 港 側	-6.0	99.0	1	2000	ローディングアーム	1,500kl/h	2	S57	石油製品
㉘ NAA3号棧橋	成 田 国 際 空 港 側	-6.8	127.0	1	4000	ローディングアーム	1,500kl/h	2	S60	石油製品
㉙ 丸紅内航棧橋	丸 紅 エ ネ ッ ク ス	-7.5	300.0	4	5980	ローディングアーム		2	S50	石油製品
㉚ 丸紅外航棧橋(1)	丸 紅 エ ネ ッ ク ス	-14.0	320.0	1	85000	ローディングアーム		1	S50	石油製品
㉛ 丸紅外航棧橋(2)	丸 紅 エ ネ ッ ク ス	-7.5	135.0	1	5980	ローディングアーム		1	S50	
㉜ 丸紅外航棧橋(3)	丸 紅 エ ネ ッ ク ス	-7.5	168.0	1	5980	ローディングアーム		1	S50	
㉝ NAA4, 5号棧橋	成 田 国 際 空 港 側	-9.0	340.0	2	8000	ローディングアーム	1,500kl/h	2	H3	
㉞ ニューポート産業新港物揚場	ニ ュ ー ポ ー ト 産 業	-2.5	60.0	2	200D/W				S49.9	
㉟ 日本サイロ新港内航船岸壁	日 本 サ イ ロ	-5.0	90.0	1	3000	内航船積りローダー	600t/h	1	S44	

けい留施設

千葉港区



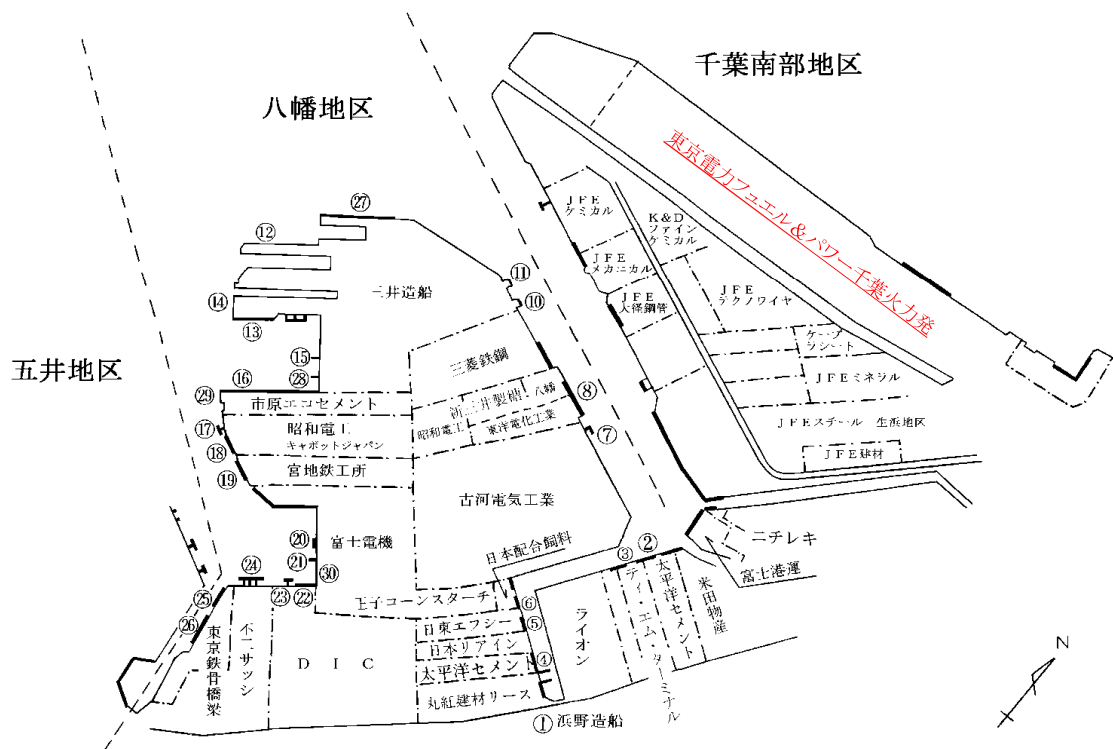
欄外の・印は危険物埠頭

埠頭名称	管 理 者	水深 (m)	延長 (m)	バース数	対象船舶	荷役機械			併用開始	備考
						機械名	能力	基数		
① (削除)										
② 市原A, B岸壁	千 葉 県	-7.5	254.0	2	5000	三脚デリック	20.5t	1	S40	
③ 市原物揚場	千 葉 県	-4.0	97.0		500				S40	
① JFE蘇我岸壁Rバース	JFEスチール(株)	-6.0	186.0	2	1100	天井クレーン	20t, 32t	2	S37	鉄鋼
② JFE蘇我岸壁S, Tバース	JFEスチール(株)	-6.0	248.0	1	6000		230~1200kg		S37.2	鉄鋼
④ JFE生浜岸壁OIバース	JFEスチール(株)	-5.5	107.0	1	2000				S59	
⑤ JFE生浜フェリー岸壁OHバース	JFEスチール(株)	-5.0	140.0	1	1400				S48	
⑥ JFE生浜フェリー岸壁OGバース	JFEスチール(株)	-3.5	77.0		1250G/T				S43.6	
⑧ JFE生浜岸壁ODバース	JFEスチール(株)	-11.0	105.0	1	2000	天井走行クレーン	40t	1	H3	鉄鋼
⑨ JFE生浜岸壁OCバース	JFEスチール(株)	-10.5	210.0	1	33000	水平引込式クレーン	20t	1	S41.8	鉄鋼
⑩ JFE生浜岸壁OBバース	JFEスチール(株)	-5.5	187.0	2	3000				S41.8	
⑪ JFE生浜岸壁OAバース	JFEスチール(株)	-5.0	50.0	1	500				S41	
⑫ 富士興産K-K岸壁	興 洋 海 運 (株)	-5.0	100.0	1	1500				S56	
⑬ 富士港運千葉A, B, C岸壁	富 士 港 運	-4.5~6	168.0	3	1500				S40.12	鉄鋼

图-13-2-4

設 施 留 い け

千葉港区

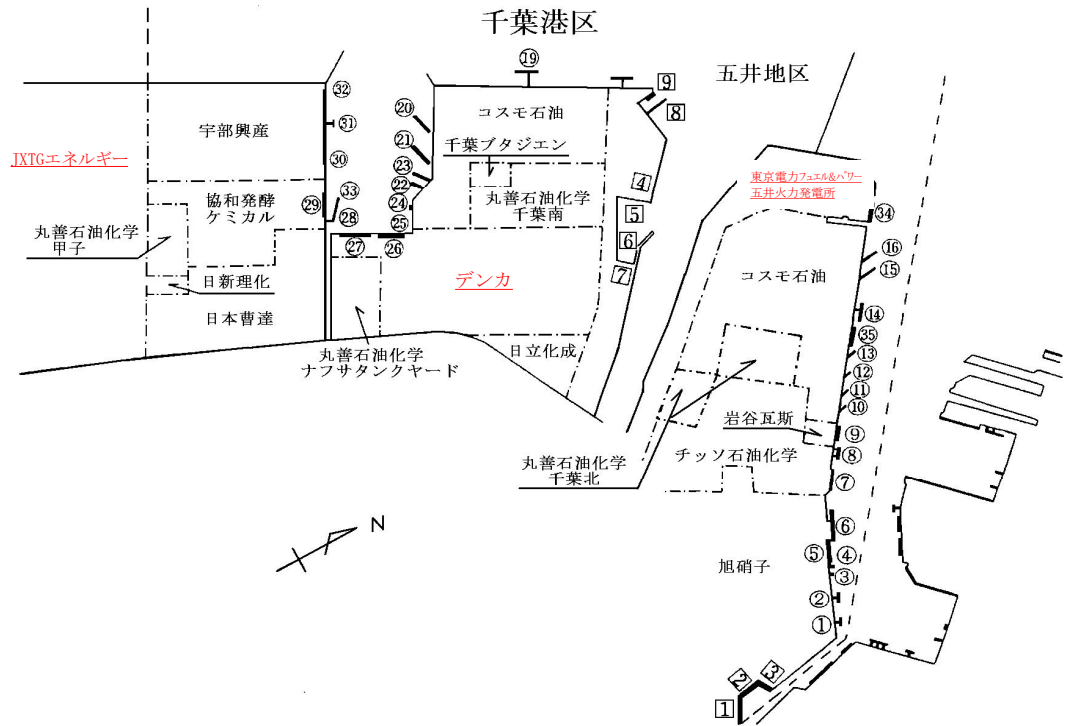


欄外の・印は危険物埠頭

埠頭名称	管 理 者	水深 (m)	延長 (m)	バース数	対象船舶	荷役機械			併用開始	備考
						機械名	能力	基数		
① 浜野造船桟橋	浜 野 造 船	-4.2	45.0						H12	
② 太平洋セメント市原岸壁	太 平 洋 セ メ ン ト	-5.0	129.0	1	1493				S39	
③ ティー・エム・ターミナル市原事業所岸壁	ティ ー ・ エ ム ・ タ ー ミ ナ ル	-5.5	202.0	1	2248	ボスト型、ダビット型デリック	2.9t、1t	2	S47	石油製品
④ オバタ総業浮桟橋	オ バ タ 総 業	-4.0	44.0	4	500G/T				S47	
⑤ 八幡運河岸壁	日 東 エ フ シ ー	-2.7	50.0		500				S58	
⑥ 王子コンスターチ・日東エシア岸壁	王子コンスターチ・日東エシア	-3.0	40.0	2	500	ニューマチックローラ	70t/h	1	S42.2	化学肥料
⑦ 古河電工ドフィン	古 河 電 気 工 業	-10.0	63.0	1	7000	キャタピラ	5t	1	S53	海底ケーブル船積
⑧ 八幡八幡埠頭岸壁	八 幡	-10.5	290.0	2	20000	ローディングアーム、アンローダ	300kl/h、8t	2	S45	石油製品
⑩ 鋼材水切り場(鉄鋼工場)	三 井 造 船	-5.5	80.0	1	500G/T	天井走行クレーン	20t	1	S37	
⑪ 鋼材水切り場(造船工場)	三 井 造 船	-5.0	68.0	1	500G/T	天井走行クレーン	20t	1	S37	
⑫ 第5艀装岸壁	三 井 造 船	-9.0	385.0	1	30000	塔型水平引込式クレーン	40t	1	S42	
⑬ 第1艀装岸壁	三 井 造 船	-9.5	202.0	1	41400	塔型水平引込式クレーン	20t	1	S36	鉄鋼、金属製品
⑬ 第2艀装岸壁	三 井 造 船	-8.0	181.0	1	41400	塔型クレーン	6t	1	S38	鉄鋼、金属製品
⑬ 第3係留岸壁	三 井 造 船	-9.0	35.0	1	90000G/T		10t	1	S38	鉄鋼、金属製品
⑬ 第4艀装岸壁	三 井 造 船	-9.0	480.0	1	41400	塔型水平引込式クレーン	500t/h	2	S38	鉄鋼、金属製品
⑬ 昭和3000DWT桟橋	キャボットジャパン	-9.5	84.0	1	3000	ローディングアーム	500t/h	1	S38	重油
⑬ 富地鉄工千葉岸壁	富 地 鉄 工 所	-4.5	165.0	1	3000				S37.8	
⑬ 富士電機出荷桟橋	富 士 電 機	-7.0	120.0	1	10000				S37.3	
⑬ ヤードクレーン桟橋	富 士 電 機	-3.0	16.0		300G/T				S37.3	
⑬ 480D/WDIC千葉岸壁	D I C	-2.9	75.0		480				S37	
⑬ 2000D/WDIC千葉桟橋	D I C	-5.4	138.0	1	2000				S43	化学薬品
⑬ 不二サッシ岸壁	不 二 サ ッ シ	-9.5	215.0	1	10000				S44	木製品
⑬ 東京鉄骨橋梁A岸壁	東 京 鉄 骨 橋 梁	-6.0	95.0	1	3000					
⑬ 東京鉄骨橋梁B岸壁	東 京 鉄 骨 橋 梁	-4.0	134.0	2	500					
⑬ 北西岸係船桟橋	三 井 造 船	-9.0	398.0	1	270000				S47	鉄鋼、金属製品
⑬ 第3係船桟橋	三 井 造 船	-9.0	34.6	1	90000G/T				S38	
⑬ プレジャーボード船揚場	三 井 造 船	-4.0	45.0							

図-13-2-5

けい留施設



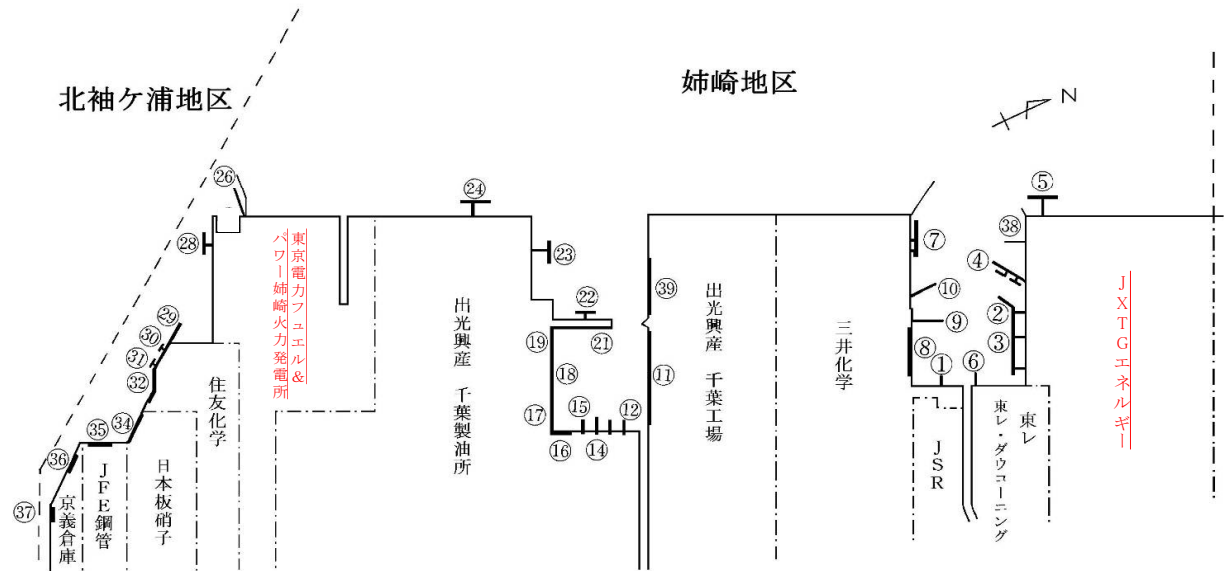
欄外の・印は危険物埠頭

埠頭名称	管 理 者	水深 (m)	延長 (m)	バース数	対象船舶	荷役機械			併用開始	備考
						機械名	能力	基数		
① 五井2号物揚場	千葉県	-3.0	130.0		300				S43.9	
② 五井1号物揚場	千葉県	-3.0	120.0		300				S43.9	
③ 五井3号物揚場	千葉県	-3.0	112.0		300				S59.12	
④ 養老川1号物揚場	千葉県	-4.0	200.0		500				S42	
⑤ 養老川2号物揚場	千葉県	-4.0	120.0		500				S42	
⑥ 養老川3号物揚場	千葉県	-3.0	250.0		300				S42	
⑦ 養老川4号物揚場	千葉県	-3.0	50.0		190				S42	
⑧ 千葉港廃油処理場2号棧橋	千葉県	-5.5	72.0		2000	ローディングアーム	800m ³ /h	1	S45.9	
⑨ 千葉港廃油処理場1号棧橋	千葉県	-4.0	38.0		500	ローディングアーム	500m ³ /h	1	S45.9	
① 旭硝子4号棧橋	旭硝子	-8.0	121.0	1	2000					化学薬品
② 旭硝子3号棧橋	旭硝子	-8.0	176.0	1	5000				S42	
③ 旭硝子2号棧橋	旭硝子	-3.0	65.0	2	300				S34	化学薬品
④ 旭硝子1号棧橋	旭硝子	-4.5	60.0	1	500				S39	
⑤ 旭硝子製品岸壁	旭硝子	-4.5	117.0	1	3000				S34	化学薬品
⑥ 旭硝子ドルフィン棧橋	旭硝子	-12.5	245.0	1	50000	アンローダー	13.5t	2	S47	原塩
⑦ JNC石油化学Aバース JNC石油化学Bバース	JNC石油化学	-5.5 -5.0	32.0 65.0	1 1	2000 999				H19 S37	化学薬品 化学薬品
⑧ 岩谷瓦斯ドルフィン	岩谷瓦斯	-5.0	99.6	1	1200G/T				S48.4	LPGタンカー
⑨ (削除)										
⑩ コスモPR7棧橋	コスモ石油	-7.0	87.0	1	1500	ホースデリック,ローディングアーム,ゴム耐圧ホース	100~300t/h/500kl/h	9	S36.12	石油製品
⑪ コスモPR6棧橋	コスモ石油	-4~-5	87.0	2	500					
⑫ コスモPR5棧橋	コスモ石油	-7.0	106.0	2	1000	ゴム耐圧ホース,ローディングアーム,ホースデリック	70~150t/h/10.8t	4	S37	石油製品
⑬ コスモPR4棧橋	コスモ石油	-7.0	110.0	2	2000	ローディングアーム	120~160t/h/500kl/h	11	S37	石油製品
⑭ コスモPR2棧橋	コスモ石油	-12.0	105.0	1	50000	ホースデリック	6t	4	S36.12	石油製品
⑮ コスモPR1棧橋	コスモ石油	-7.0	103.0	2	2000	ローディングアーム	700kl/h	8	S43	石油製品
⑯ コスモPRO棧橋	コスモ石油	-7.0	153.0	2	5000	ローディングアーム	700kl/h	10	S43	石油製品
⑰ (削除)										
⑱ コスモPR10棧橋	コスモ石油	-13.0	395.0	1	100000	ローディングアーム	300t/h/3000kl/h	5	S46.12	石油製品
⑲ コスモPR15棧橋	コスモ石油	-8.5	146.0	2	8000	ローディングアーム	1200kl/h	9	S49.11	石油製品
⑲ コスモPR14棧橋	コスモ石油	-8.5	146.0	2	13500	ローディングアーム	1200kl/h	8	S45	石油製品
⑲ コスモPR13棧橋(A)	丸善石油化学	-6.0	113.0	1	500	ローディングアーム	200kl/h	2	S44.4	石油製品
⑲ コスモPR13棧橋(B)	丸善石油化学	-7.0	117.0	1	3300	ローディングアーム	200~364kl/180t/h	10	S44.4	石油製品
⑲ コスモPR12棧橋	丸善石油化学	-6.0	93.0	1	1000	ローディングアーム	200~300kl	6	S44.4	石油製品
⑲ コスモPR11棧橋	コスモ石油	-5.3	125.0	2	1000				S44	石油製品
⑲ デンカ第1岸壁	デンカ	-5.5	116.0	1	2000	ローディングアーム	120t/h	1	S39	化学薬品
⑲ デンカ第2岸壁	デンカ	-6.0	165.0	1	3000	ローディングアーム	100~200t/h	3	S56	化学薬品
⑲ KHNCデンカ丸善共同棧橋北側	KHネオケム	-12.0	170.0	2	20000	ローディングアーム	500kl/h 150T/h	4	S44	石油製品
⑲ KHNCデンカ丸善共同棧橋(北側を除く)	KHネオケム	-6.5	180.0	1	3000				S40.11	
⑲ 宇部矢板岸壁(1)	宇部興産	-17.7	120.0	1	3000				S38	
⑲ 宇部係船ドルフィン	宇部興産	-12.0	149.0	1	36790				H4	
⑲ 宇部矢板岸壁(2)	宇部興産	-6.0	135.0	1	499	パイプライン	370t/h	6	S38	セメント
⑲ KHNC日槽共同岸壁	KHネオケム	-6.5	180.0	2	3000				S44	
⑲ 東電五井物揚場	東京電力五井火力	-5.0	64.0		5000				S38	
⑲ コスモPR3棧橋	コスモ石油	-5.0	60.0	1	5000				S36	

図-13-2-6

けい留施設

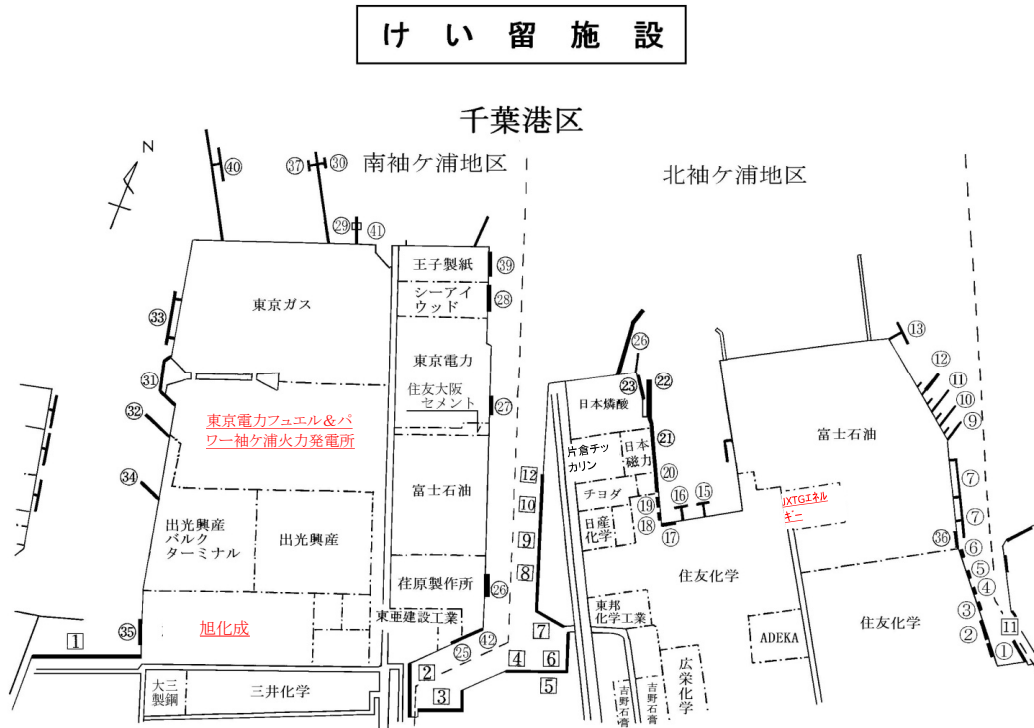
千葉港区



欄外の・印は危険物埠頭

埠頭名称	管 理 者	水深 (m)	延長 (m)	バース数	対象船舶	荷役機械			併用開始	備考
						機械名	能力	基数		
① JSR棧橋	J S R	-7.0	250.0	1	5000	ローディングアーム	2600t/h	2	S42	石油製品
② 東燃製品出荷棧橋1号～2号	JXTG 五 奈 比 主 二	-8.0	148.0	2	5900	ローディングアーム	800kl/h	2	S42.3	原油
③ 東燃製品出荷棧橋3号～9号	JXTG 五 奈 比 主 二	-7.0	401.5	7	4000	ローディングアーム	400～500kl	7	S47	石油製品, 重油, 原油
④ 東燃製品出荷棧橋12号～15号	JXTG 五 奈 比 主 二	-16.0	381.0	4	2000	ローディングアーム	600～1000	4	S56	石油製品
⑤ 東燃製品受入棧橋	JXTG 五 奈 比 主 二	-15.0	375.0	1	85000	ローディングアーム	4000～6000	3	S55	原油
⑥ 東レ10号, 11号バース	東 レ	-5.0	206.0	2	1300	ローディングアーム	800～1580t	3	S47	重油
⑦ 三井7号棧橋	三 井 化 学	-9.0	175.0	1	10000	ローディングアーム	400kl/h	2	S57	
⑧ 三井1, 2, 3号岸壁	三 井 化 学	-4.5～-5.5	355.0	3	2000	ローディングアーム, フレキシブルホース	100～1000t	7	S42.3	石油製品
⑨ 三井4号棧橋	三 井 化 学	-5.5	85.0	1	1450	ローディングアーム	100～700t/h	19	S44.10	化学製品, 石油製品
⑩ 三井5, 6号棧橋	三 井 化 学	-6.0	100.0	2	2600	ローディングアーム, フレキシブルホース	150t/h	2	S44.8	化学製品, 石油製品
⑪ 出光G岸壁	出 光 興 産	-5.0	475.9	5	1600		70～700t/h	18	S52	石油製品
⑫ 出光22, 23バース	出 光 興 産	-5.0	170.0	2	1650				S46	石油製品, 重油
⑬ 出光18, 19バース	出 光 興 産	-5.0	190.0	2	2000				S42	石油製品, 重油
⑭ 出光14, 15バース	出 光 興 産	-5.0	184.0	2	1500	走行式高脚ジブクレーン	5t	1	S42	石油製品, 重油
⑮ 出光13バース	出 光 興 産	-5.0	89.0	1	1900				S38	石油製品, 重油
⑯ 出光6, 7, 8, 9, 10, 11, 12バース	出 光 興 産	-5.0	406.6	6	2600				S38	石油製品, 重油
⑰ 出光5バース	出 光 興 産	-5.0	67.0	1	1000				S38	石油製品, 重油
⑱ 出光1, 2, 3バース	出 光 興 産	-6.6	260.0	3	4400				S38	石油製品, 重油
⑲ 出光第3原油棧橋	出 光 興 産	-11.0	96.0	1	20000				S38	石油製品, 重油
⑳ 出光第2原油棧橋	出 光 興 産	-16.0	352.0	1	80000				S37	石油製品, 重油
㉑ 出光第1原油棧橋	出 光 興 産	-16.0	410.0	1	101600				S37	石油製品, 重油
㉒ 5800DWT棧橋	東京電力 姉崎火力	-8.0	145.0	1	5000					原油
㉓ 50000DWT級LPG棧橋	東京電力 姉崎火力	-14.0	360.0	1	50000					
㉔ 住友Eバース	住 友 化 学	-7.5	115.0	1	2000	ローディングアーム	350t/h	6	S41	化学製品
㉕ 住友Dバース	住 友 化 学	-7.5	115.5	1	3000	ローディングアーム	120～300t/h	6	S41	化学製品
㉖ 住友Cバース	住 友 化 学	-7.5	105.0	1	2000	ローディングアーム	300～450t/h	6	S41	化学製品
㉗ 住友A, Bバース	住 友 化 学	-6.0	170.0	2	1000	移動式クレーン	60t/h	2	S45	合成樹脂
㉘ 日本板硝子側千葉事業所岸壁	日 本 板 硝 子	-7.5	250.0	1	5000G/T	門型水平引込みクレーン			S46	珪砂
㉙ JFE姉崎A・B岸壁	J F E 鋼 管 (株)	-6.0	178.0	1	3500				S45	鉄鋼
㉚ 京義姉崎A岸壁	京 義 倉 庫	-6.0	108.0	1	2000					
㉛ 京義姉崎B岸壁	京 義 倉 庫	-10.0	100.0	1						
㉜ 姉崎6号バース	出 光 興 産	-10.0	181.0	1	14000				H7	石油製品

図-13-2-7



欄外の・印は危険物埠頭

埠頭名称	管 理 者	水深 (m)	延長 (m)	バース数	対象船舶	荷役機械			併用開始 基	備考
						機械名	能力	基		
① 袖ヶ浦埠頭今井A～E岸壁	千葉 県	-5.5	600.0	5	2000				S48.11	
② 袖ヶ浦埠頭1号物揚場	千葉 県	-3.0	270.0		300				S49	
③ 袖ヶ浦埠頭2, 3号物揚場	千葉 県	-4.0	340.0		500				S49.11	
④ 袖ヶ浦埠頭A1～A3岸壁	千葉 県	-5.5	270.0	3	2000				S49.11	
⑤ 袖ヶ浦埠頭B岸壁	千葉 県	-4.5	91.0	1	700				S49.1	
⑥ 袖ヶ浦埠頭C1～C3岸壁	千葉 県	-4.5	210.0	3	700				S49.1	
⑦ 袖ヶ浦埠頭D1～D3岸壁	千葉 県	-4.5	180.0	3	700				S50	
⑧ 袖ヶ浦埠頭E1～E4岸壁	千葉 県	-5.5	320.0	4	2000				S50	
⑨ 袖ヶ浦埠頭F1岸壁	千葉 県	-7.5	149.0	1	5000				S60	
⑩ 袖ヶ浦埠頭F2岸壁	千葉 県	-7.5	130.0	1	5000				H1	
⑪ 袖ヶ浦船溜物揚場	千葉 県	-4.0	143.0		防災船500				S55	
⑫ 袖ヶ浦埠頭F3岸壁	千葉 県	-7.5	140.0	1	5000D/W				H7	
⑬ 住友F, Gバース	住友化学	-4.5/-6.0	71.0/68.0	2	500/1000				S46	合成樹脂
⑭ 住友Iバース	住友化学	-6.0	92.0	1	1200	ローディングアーム	200t/h	2	S51	化学製品
⑮ 住友Jバース	住友化学	-6.0	110.4	1	2500	ローディングアーム	200～300t/h	5	S45	化学製品
⑯ 住友Kバース	住友化学	-6.0	99.0	1	3000	ローディングアーム	50～400t/h	6	S43	化学製品
⑰ 住友Lバース	住友化学	-6.0	98.0	1	3000	ローディングアーム	300～400t/h	5	S44	化学製品
⑱ 住友Mバース	住友化学	-6.0	101.0	1	3000	ローディングアーム	300～600t/h	2	S44	化学製品・化学原料
⑲ 富士石油5号桟橋A	富士石油	-6.5	478.0	3	3000	ローディングアーム	100～1000t/h	15	S47	重油
⑳ 富士石油5号桟橋B	富士石油	-7.5	125.0	1	6000				S51	石油製品
㉑ (削除)										
㉒ 富士石油3号桟橋	富士石油	-7.5	234.0	2	5000	ローディングアーム	250～600t/h	6	S43.10	石油製品
㉓ 富士石油2号桟橋	富士石油	-7.5	234.0	2	5000	ローディングアーム	600～1000t/h	6	S43.10	原油
㉔ 富士石油1号桟橋	富士石油	-7.8	241.0	2	6000	ローディングアーム	800～1200t/h	4	S54	石油製品
㉕ 富士石油12万t桟橋	富士石油	-16.0	420.0	1	120000	ローディングアーム	1000～2200t/h	6	S45	原油
㉖ 住友Tバース	住友化学	-6.0	223.0	2	1000/4000	ローディングアーム	50～400t/h	4	S45	化学製品
㉗ 住友Sバース	住友化学	-6.0	223.0	2	1000/3000	ローディングアーム	120～500t/h	10	S45	化学製品
㉘ 住友Rバース	住友化学	-6.0	70.0	1	300				S45	岸壁
㉙ 住友Qバース	住友化学	-6.0	80.0	1	1000				S45	岸壁
㉚ 住友Pバース	住友化学	-6.0	90.0	1	2000	ローディングアーム	400t/h	1	S45	化学製品
㉛ 住友Oバース	住友化学	-10.5	251.0	1	33500	ローディングアーム	200～1000t/h	4	S45	化学製品・化学原料
㉜ 北袖CNDバース	大東・チヨダ・日本磁力	-9.0	168.0	1	22200				S62	その他金属
㉝ 日本燐酸A岸壁	日本燐酸	-10.5	260.0	1	30000	アンローダー	375t/h	1	S44.3	化学製品
㉞ 日本燐酸C岸壁	日本燐酸	-5.5	320.0	2	2000				S44.3	化学肥料
㉟ 日本燐酸B岸壁	日本燐酸	-6.5	115.0	1	2400				S44.3	化学製品
㊱ 長浦積出ヤード	東亜建設工業	-4.5	170.0		199G/T				S48	砂利、砂
㊲ 荏原製作所No.1岸壁	荏原製作所	-6.0	126.0	1	3000				S48	その他機械
㊳ 住友大阪セメント岸壁	住友大阪セメント	-7.5	214.0	3	7061G/T				S52	セメント
㊴ 伊藤忠袖ヶ浦木材埠頭	シーアイウッド	-12.0	221.0	1	45000				S49	原木
㊵ 東京ガス袖ヶ浦LNG基地LNG出荷バース	東京ガス	-6.5	35.0	1	2000DWT級	ローディングアーム			H17	
㊶ 東京ガス袖ヶ浦LNG基地1号LNGバース	東京ガス	-14.0	85.0	1	42000DWT級	アンローディングアーム	500kl/h	1	S48	石油製品
㊷ 物揚場護岸	東京電力袖ヶ浦	-10.0	96.0	1	1000				S48	鉄鉱石
㊸ 出光興産袖ヶ浦桟橋	東京電力袖ヶ浦	-8.0	160.0	1	5000				S49	
㊹ 出光No.1バース	出光ハルクターミナル	-14.0	361.0	1	87000	連続式アンローダー	1200t/h	1	S61	
㊺ 出光No.3バース	出光ハルクターミナル	-7.5	212.0	1	7200	シップローダー	2400t/h	1	S61	石炭
㊻ 旭化成袖ヶ浦岸壁	旭化成	-6.0	243.0	1	1500				S49	化学製品
㊼ 富士石油6号岸壁	富士石油	-4.5	100.0	1	500				S42	石油製品
㊽ 東京ガス袖ヶ浦LNG基地2号LNGバース	東京ガス	-14.0	111.0	1	74000DWT級	アンローディングアーム			S52	
㊾ 京葉シーバース(東・西バース)	京葉シーバース	-20.5	470.0	2	300000DWT級	ローディングアーム	12000	6	S43.8	原油
㊿ 王子製紙袖ヶ浦岸壁	王子製紙	-12.0	180.0	1	30000				S50	原木
㊱ 東京ガス袖ヶ浦LNG基地3号LNGバース	東京ガス	-14.0	124.0	1	85000DWT級	アンローディングアーム	500kl/h	1	S58	石油製品
㊲ 東京ガス袖ヶ浦LNG基地バース	東京ガス	-6.5	35.0	1	3000DWT級	アンローディングアーム	500kl/h	1	S48	石油製品
㊳ 荏原製作所No.2岸壁	荏原製作所	-4.5	100.0							

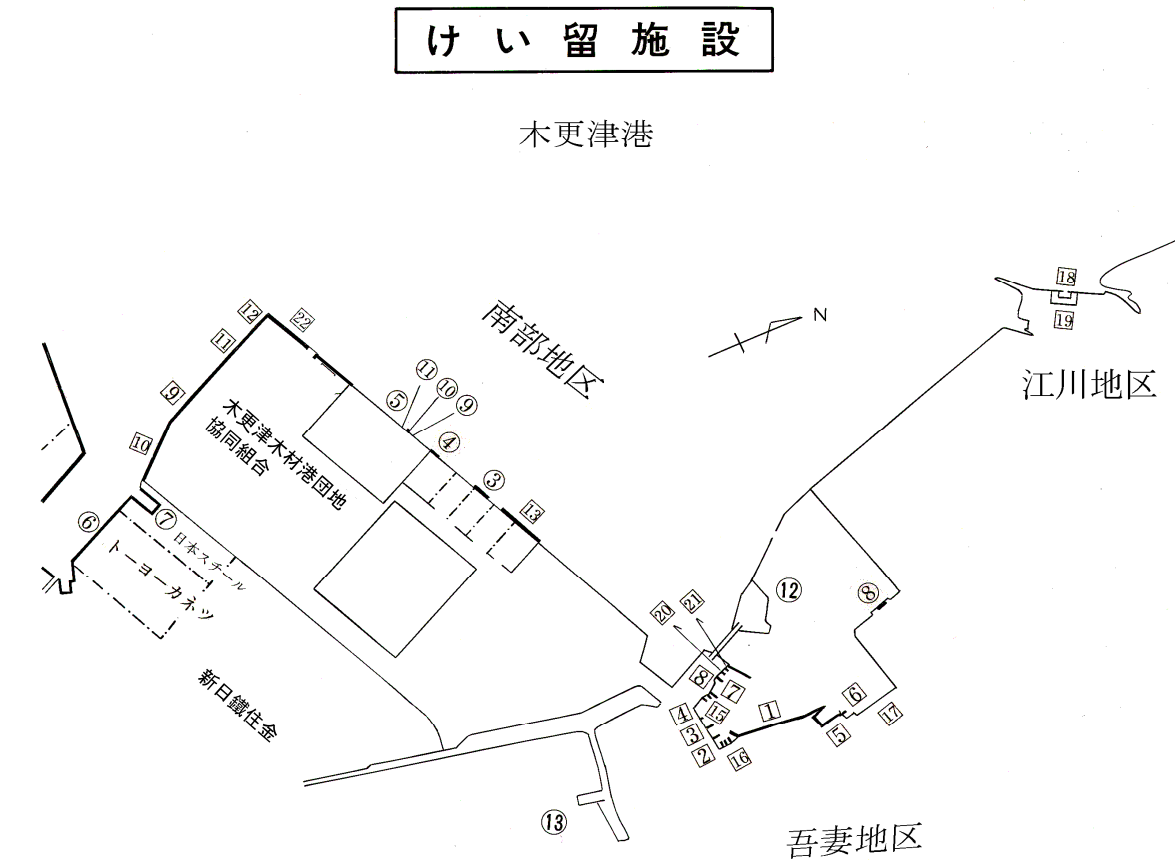
図-13-2-8



欄外の・印は危険物埠頭

埠頭名称	管 理 者	水深 (m)	延長 (m)	バース数	対象船舶	荷役機械			併用開始	備考
						機械名	能力	基数		
① 吉野石膏南袖バース	吉 野 石 膏	-12.0	246.0	1	42900				H1	石膏
② バコーポレーション岸壁	バ コ ー ポ レ ー シ ョ ン	-5.5	152.0	1	2000				H3	金属製品
③ 横河ブリッジ岸壁	横 河 ブ リ ッ ジ	-5.5	172.0	1	10000				S58	
⑤ 小湊造船機装岸壁	小 湊 造 船	-4.5	80.0	2	700G/T				S55	
⑥ 吉田組南袖岸壁	吉 田 組	-6.5	190.0	2	3726G/T				S54	
⑦ 国土総合建設奈良輪岸壁	国 土 総 合 建 設	-6.0	75.0	1	10000				S53	石膏
⑧ 五洋奈良輪作業船基地	五 洋 建 設	-5.5	150.0	1	5000				S50	
⑨ 若築奈良輪岸壁	若 築 建 設	-6.0	150.0	1	8200				S52	
⑩ 東洋奈良輪岸壁	東 洋 建 設	-6.0	150.0	1	2300				S55	
⑪ りんかい日産建設岸壁	り ん か い 日 産 建 設	-6.0	85.0	1	2313G/T				S53	
⑫ 東亜袖ヶ浦機材センター	東 亜 建 設 工 業	-6.0	330.0	1	7000				S53	
⑭ みらい建設工業係船岸壁	み ら い 建 設	-6.0	150.0	4	2000				S52	
⑮ 佐伯建設奈良輪岸壁	佐 伯 建 設 工 業	-5.5	150.0	1	3200				S52	
⑯ 鈴木安太郎商店棧橋	鈴 木 安 太 郎 商 店	-7.5	70.0		5177				S63	
⑰ 太平洋セメント奈良輪岸壁	太 平 洋 セ メ ン ト	-5.5	90.0	1	2095				S63	
⑱ 太平洋セメント南袖岸壁	太 平 洋 セ メ ン ト	-12.0	108.0	1	10000				S62	
⑳ 双日南袖棧橋	双 日	-12.0	229.0	1	33026					石膏
㉒ 小湊造船第1, 2, 3船揚場	小 湊 造 船	-4.5~-5.5	305.0		499~999G/T				S55	
㉓ 東物揚場	小 湊 造 船	-3.0	60.0		300~500				S55	船舶解撤
㉔ 三幸係留施設	(有) 三 幸	-7.5	40.0						H13	

図-14-1



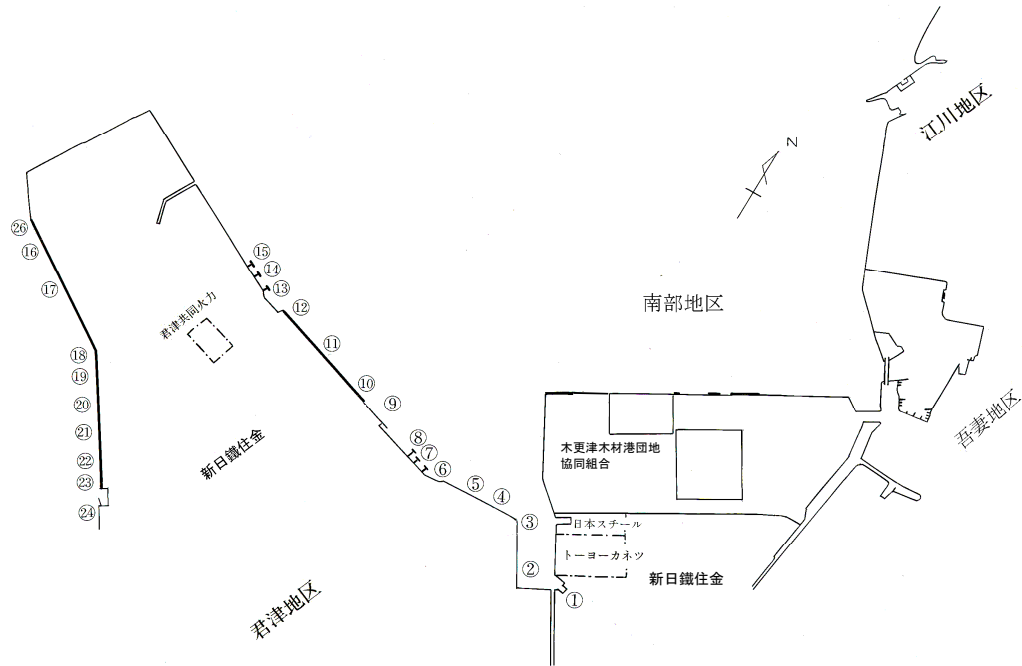
欄外の・印は危険物埠頭

埠頭名称	管 理 者	水深 (m)	延長 (m)	バース数	対象船舶	荷役機械			併用開始 基数	備考
						機械名	能力	基数		
① 内港物揚場	千葉県	-3.0	415.0		300					
② 東棧橋	千葉県	-3.0	38.0		300				S12	
③ 中央棧橋	千葉県	-3.0	100.0		300				S27	
④ 西棧橋	千葉県	-3.0	36.0		300				S12	
⑤ 新宿船揚場(1)	千葉県	-1.3	168.0		5G/T				S49	
⑥ 新宿船揚場(2)	千葉県	-1.0	12.0		10G/T				S52	
⑦ 定係場	千葉県	-3.0	54.0		50G/T					
⑧ 定係場棧橋	千葉県	-2.0	72.0		50G/T				S63	
⑨ 木更津埠頭A, B, C, D岸壁	千葉県	-5.5	360.0	4	2000				S52	
⑩ 木更津埠頭物揚場	千葉県	-4.0	362.0		500				S47	
⑪ 木更津埠頭E岸壁	千葉県	-7.5	130.0	1	5000				S55	
⑫ 木更津埠頭F岸壁	千葉県	-7.5	130.0	1	5000				S55	
⑬ 潮浜A, B, C, D岸壁	千葉県	-4.5	288.0	4	700				S61	
⑮ 第2定係場棧橋	千葉県	-2.0	42.0		20G/T				S54	
⑯ 小型船棧橋(1)(2)(3)	千葉県	-1.5	90.0	6	10G/T				S59	
⑰ 吾妻物揚場	千葉県	-2.0	239.0						H3	
⑱ 江川物揚場	千葉県	-2.0	40.0		5G/T				S63	
⑲ 江川船揚場	千葉県	-2.0	40.0		5G/T				S62	
⑳ 通船浮棧橋	千葉県	-2.0	30.0	2	30G/T				S62	
㉑ 木更津港官公庁船用浮棧橋	千葉県	-3.0	80.0	2	200G/T				H4	
㉒ 木更津埠頭G,H岸壁	千葉県	-12.0	500.0	2	30000					
③ 丸和A及びBバース	丸和建材社	-4.5	92.0	2	700	ミキシング&ローダー	100t/h	1	H1	
④ 堀江岸壁	堀江商店	-4.5	85.0	1	450					
⑤ 木材港ドルフィン	木更津木材港団地協同組合	-10.0	500.0	2	15000					
⑥ トヨーカネツ岸壁	トヨーカネツ	-4.5	350.0	3	490	橋型クレーン	30t	3	S49	重油
⑧ 木更津飛行場棧橋	在日米国海軍	-2.0	100.0	2		起重機(米軍専用)	20t	1	S49	原木
⑨ 岸壁	共栄海運・共栄運輸	-4.5	52.7	1	550				S48	鉄鉱石、石炭
⑩ 岸壁	ジャパンクリンテック・大川海運	-4.5	70.0	1	700				S48	
⑪ 岸壁	三栄港運・中央航運	-4.5	70.0	1	700				S48	
⑫ 中の島ヨット係船敷	木更津市ヨット協会	-1.8		68	20G/T					
⑬ 貝渚船溜船揚場	木更津市	-1.0	341.0		1G/T					

図-14-2

けい留施設

木更津港

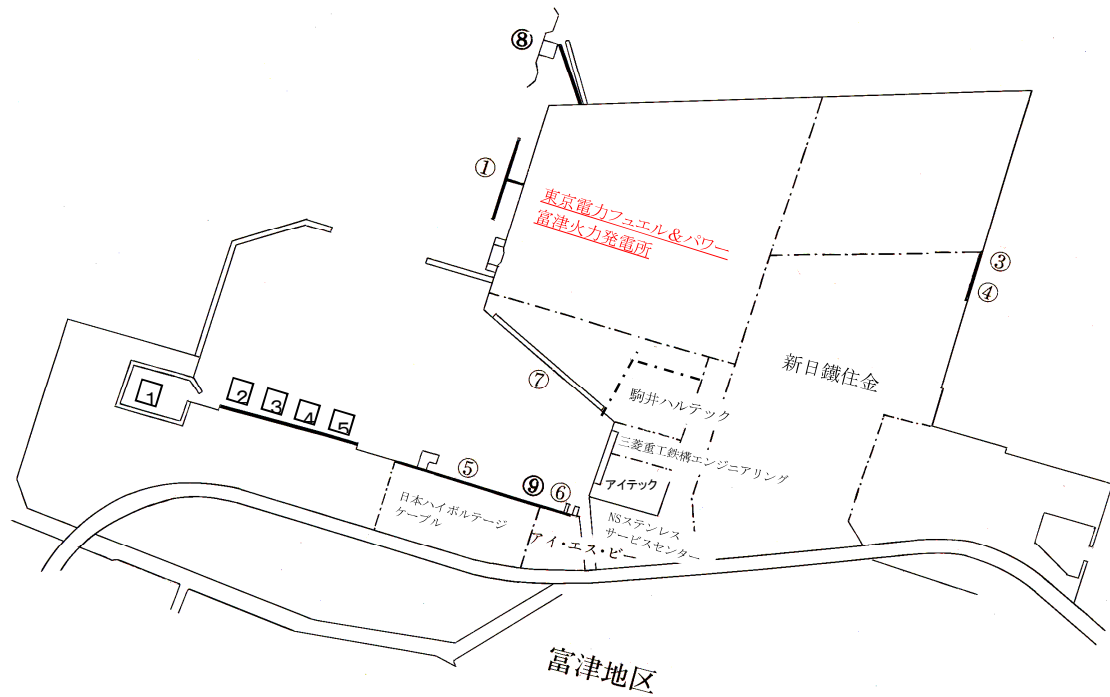


欄外の・印は危険物埠頭

埠頭名称	管 理 者	水深 (m)	延長 (m)	ハース数	対象船舶	荷役機械			併用開始	備 考
						機械名	能力	基 数		
① 東岸壁12,13号ハース	新 日 鐵 住 金	-4.5	373.0	3	1120/2000					鉄鋼
② 東岸壁8,9,10,11号ハース	新 日 鐵 住 金	-5.5	569.0	4	3000	橋型ロープトローリークレーン	12t,18t	2	S46	鉄鋼
③ 東岸壁7号ハース	新 日 鐵 住 金	-5.5	130.0	1	3000	水平引込式クレーン,橋型ロープトローリークレーン	15t	2	S46	鉄鋼
④ 東岸壁4,5,6号ハース	新 日 鐵 住 金	-5.5	315.0	3	3000	橋型セミロープトローリークレーン	30t	1	S46	鉄鋼
⑤ 東岸壁2,3号ハース	新 日 鐵 住 金	-11.0	480.0	2	40000・70000	橋型セミロープトローリークレーン	30t	3	S46	鉄鋼
⑥ 中央岸壁2号ドルフィン	新 日 鐵 住 金	-5.5	128.0	1	2000				S52	化学薬品
⑦ 中央岸壁1号ドルフィン	新 日 鐵 住 金	-6.0	127.0	1	3000				S52	化学薬品
⑧ 中央岸壁3号ドルフィン	新 日 鐵 住 金	-5.5	110.0	1	1495	ローディングアーム			S52	化学薬品
⑨ タグボート桟橋	新 日 鐵 住 金	-4.5	80.0	4	タグボート				S49	
⑩ 中央岸壁5号ドルフィン	新 日 鐵 住 金	-8.5	135.0	1	9000	水平引込式アンローダー	600t/h・500t/h	2	S43	鉄鋼副原料
⑪ 中央岸壁6,7号ドルフィン	新 日 鐵 住 金	-17.0/-19.0	654.0	2	150000・200000	橋型セミロープトローリークレーン,橋型タグボートアンローダー	1500t/h・2500t/h	4	S43,S45	鉄鉱石・石炭
⑫ 中央岸壁8号ドルフィン	新 日 鐵 住 金	-19.0	422.0	1	310698	橋型タグボートアンローダー,連続式アンローダー	1500t/h・3500t/h	2	S50	鉄鉱石
⑬ 中央岸壁10号ドルフィン	新 日 鐵 住 金	-9.0	208.0	1	17250				S46	石灰石
⑭ 中央岸壁11号ドルフィン	君 津 共 同 火 力	-8.0	120.0	1	5000				S45	化学薬品
⑮ 中央岸壁12号ドルフィン	新 日 鐵 住 金	-8.0	120.0	1	5000				S49	重油
⑯ 西岸壁11号ハース	新 日 鐵 住 金	-11.0	439.0	3	7067	橋型クレーン	30t	1	H1	鉄鋼
⑰ 西岸壁10号ハース	新 日 鐵 住 金	-11.0	280.0	1	40000	橋型セミロープトローリークレーン	30t	2	S49	鉄鋼
⑱ 西岸壁9号ハース	新 日 鐵 住 金	-11.0	235.0	1	30000	橋型ロープトローリークレーン	30t・35t	2	S45	鉄鋼
⑲ 西岸壁7,8号ハース	新 日 鐵 住 金	-11.0	500.0	2	30000	橋型セミロープトローリークレーン	20t・30t	3	S43	鉄鋼
⑳ 西岸壁6号ハース	新 日 鐵 住 金	-6.5	103.0	1	3000	天井クレーン	40t	1	S42,S43	鉄鋼
㉑ 西岸壁4,5号ハース	新 日 鐵 住 金	-6.5	200.0	2	3000	橋型ロープトローリークレーン	25t	1	S42	鉄鋼
㉒ 西岸壁3号ハース	新 日 鐵 住 金	-5.5	130.0	1	ハース 700	天井クレーン	26.5t・28t	2	S40,39	鉄鋼
㉓ 西岸壁1,2号ハース	新 日 鐵 住 金	-5.5	215.0	2	2000				S43	鉄鋼
㉔ フェリー桟橋	新 日 鐵 住 金	-3.0	66.0	1	1800				S55	
㉕ 西岸壁12号ハース	新 日 鐵 住 金	-11.0	187.0	1	10000					

けい留施設

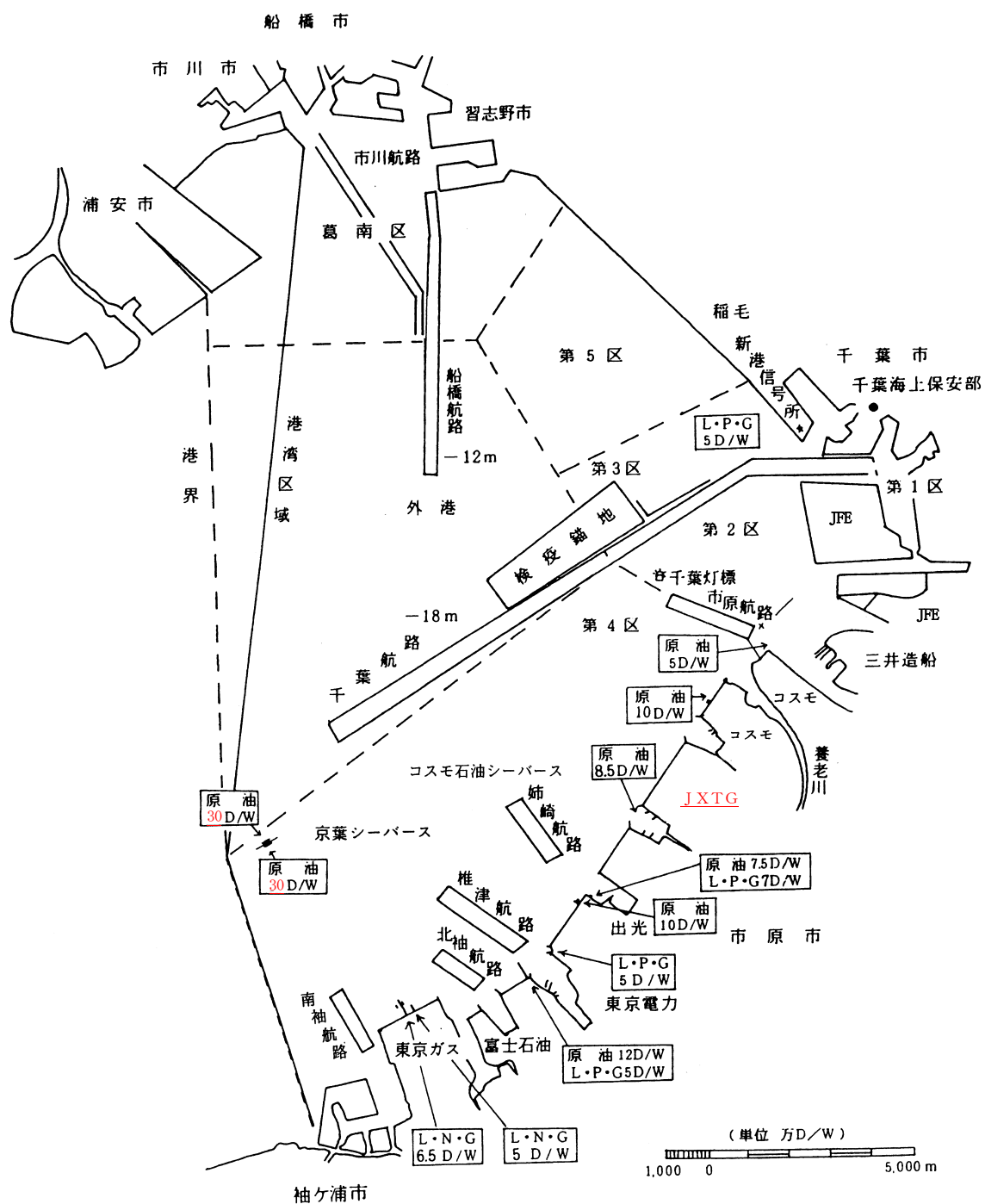
木更津港



欄外の・印は危険物埠頭

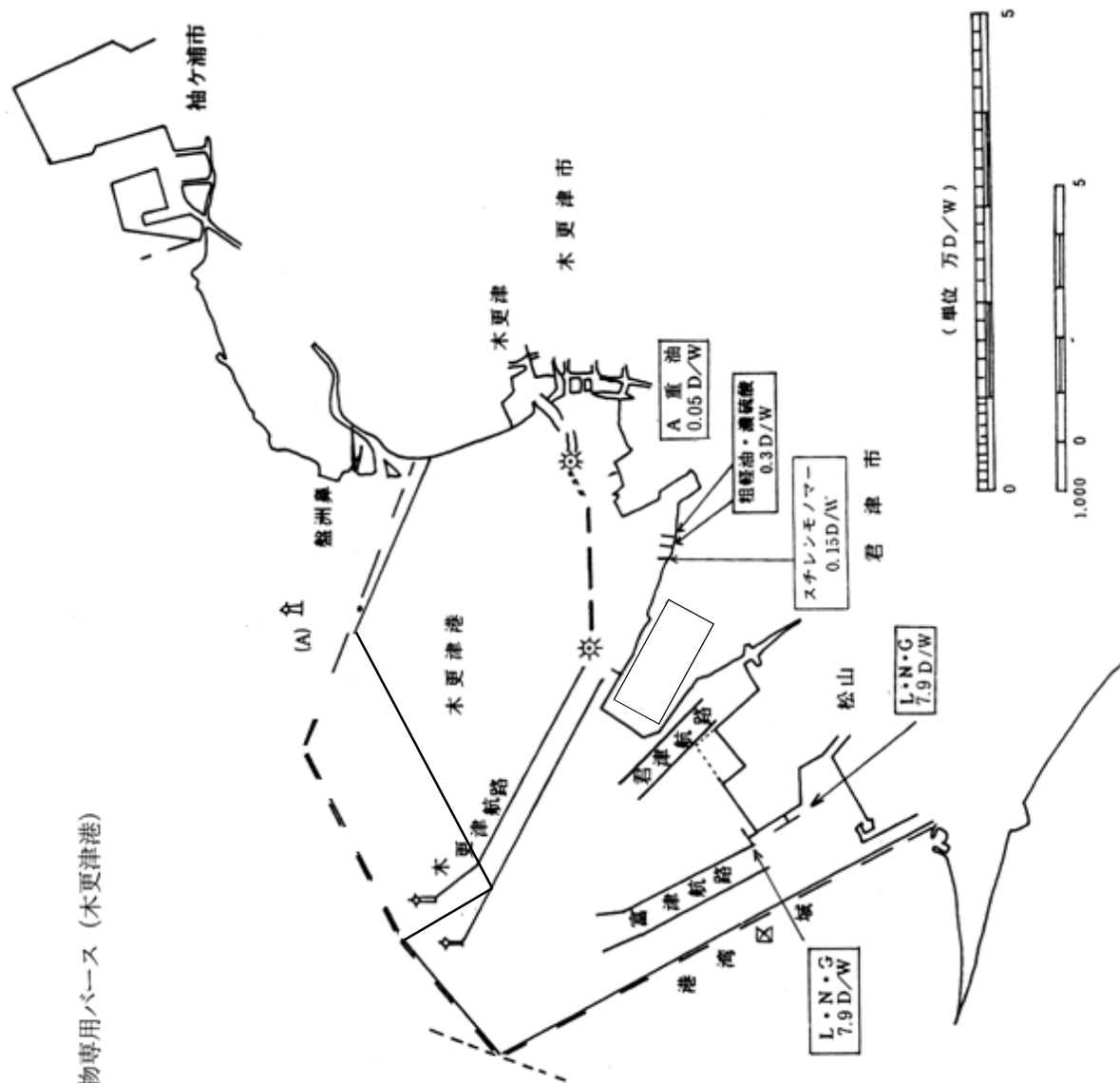
埠頭名称	管 理 者	水深 (m)	延長 (m)	ハース数	対象船舶	荷役機械			併用開始	備考
						機械名	能力	基数		
① 富津物揚場	千葉県	-4.0	857.0		500				S60	
② 富津埠頭A, B, C岸壁	千葉県	-5.5	270.0	3	2000				S59	
③ 富津埠頭D岸壁	千葉県	-5.5	90.0	1	2000				H1	
④ 富津埠頭E岸壁	千葉県	-7.5	130.0	1	5000D/W				H7	
⑤ 富津埠頭F岸壁	千葉県	-7.5	130.0	1	5000D/W				H7	
① 東電LNGタンカーバース	東京電力富津	-14.0	420.0	1	79000				S60	
③ 新日鐵住金産業廃棄物物揚場	新日鐵住金	-2.5	101.0	2	500				S58	
④ 新富岸壁物揚場	新日鐵住金	-2.5	199.0	1	台船6000D/W				S60	
⑤ ケーブル搬出用ドルフィン	日本ハイボルテージケーブル	-7.5	210.0	1	5000				H4	
⑥ さん橋	アイ・エス・ビー	-4.5	40.0	3	499G/T				H4	
⑦ 東電岸壁	東京電力富津	-2.6	163.0		499型内船舶					
⑧ 東電第2LNGタンカーバース	東京電力富津	-14.0	420.0	1	79000				H13	
⑨ 物揚場	アイ・エス・ビー	-3.5	51.0	1	400					

図-15 大型危険物専用バース（千葉港）



京葉シーバース 北緯 35°30'30" 東経 139°56'25"
 コスモ石油シーバース 北緯 35°31'51" 東経 140°00'23"

図-16 危険物専用パース (木更津港)



4 石油精製等及び石油類屋外貯蔵タンク等の現況

(平成28年4月1日現在)

3 特別防災区域内には大量の危険物を貯蔵し取り扱い及び高圧ガスを処理する事業所が多数操業しており、特定事業所における石油の貯蔵・取扱量は20,220千klでこの98%が京葉臨海中部地区に集中し、高圧ガスの処理量は2,278百万Nm³/日で、この99%が京葉臨海中部地区に集中している(貯蔵・取扱量は本編 第1編 第1章 表-1 参照)。

また、その他の物質を見ると、石油以外の第4類危険物が298千kl、第4類以外の危険物が175千t、可燃性固体類207千t、可燃性液体類303千m³、高圧ガス以外の可燃性ガスが178百万Nm³/日であり、その他毒物769t、劇物54,324tを取り扱い貯蔵し又は処理している。

(1) 石油精製等の現況

本県の特別防災区域のうち京葉臨海中部地区には、コスモ石油、JXTGエネルギー、出光興産(以上市原市)、富士石油(袖ヶ浦市)の4石油精製事業所が立地し、その石油精製能力は下表のとおり 日産75.8万バーレルに達し、各関連石油化学事業所等へ原料供給を行っている。

事業所名	石油精製能力 kl/日 (バーレル/日)
コスモ石油(株)千葉製油所	<u>38,160</u> (<u>220,000</u>)
<u>JXTGエネルギー(株)千葉製油所</u>	<u>24,168</u> (<u>152,000</u>)
出光興産(株)千葉製油所	34,980 (<u>200,000</u>)
富士石油(株)袖ヶ浦製油所	22,737 (143,000)

また、エチレン製造事業所は丸善石油化学、三井化学、出光興産及び京葉エチレンの4社で、この製造能力は下表のとおりである。

事業所名	製造能力 (t/年)
丸善石油化学(株)千葉工場	117.00 万
三井化学(株)市原工場	55.30 万
出光興産(株)千葉工場	37.40 万

※丸善石油化学(株)千葉工場の製造能力には、京葉エチレン(株)の製造能力を含む。

(2) 石油類屋外貯蔵タンク等の現況 (表-6 参照)

特別防災区域内における石油類屋外貯蔵タンク数は、3,017基である。

また、高圧ガス等貯槽は特別防災区域内では334基である。

特別防災区域内の容量別石油類屋外貯蔵タンクを見ると、10万kl以上のタンクは原油タンク11万4,200kl(直径90.1m、高さ20.07m)を筆頭に4基が京葉臨海中部地区に存在している。

さらに、5万kl以上10万kl未満のタンクも京葉臨海中部地区にのみ所在し、4製油所を中心に特別防災区域全体で98基存在している。それ以下は1万kl以上5万kl未満が166基、千kl以上1万kl未満が561基であり、特別防災区域内での千kl未満屋外貯蔵タンクは2,188基が設置されている。

平成28年4月1日現在の石油高压ガス等貯蔵タンクの現況は表－6のとおりである。

また、危険物施設等の耐震性については、消防法をはじめ高压ガス保安法、建築基準法などの耐震設計によっているが、事業所自体の上のせを含め、具体的にどのような耐震設計によっているかの実態調査を行った結果、設計水平震度は0.2から0.5までの数値が採用されており、個々には関係法令によるもののほか、一部上のせがみられる。

5 防災関係機関等の消防力の現況

本県では特別防災区域を6消防本部（局）が所管し、これらに隣接した沿岸部は4消防本部の管轄となっている。

一方特別防災区域内の特定事業所において、石災法に基づき設置している自衛防災組織は71組織、共同防災組織は陸上、海上合わせて11組織あり、共同防災組織のうち1組織は、大容量泡放射システムに係るものである。

なお、平成28年4月1日現在の防災関係機関等の防災資機材等消防力の現況は表－7のとおりであり、タンク火災等に備え、県、関係市及び石油コンビナート等特別防災区域協議会が共同で備蓄している泡消火薬剤の量は表－8のとおりである。

また、石油連盟では、大規模石油災害時に「石油連盟油濁防除資機材貸出約款」の手続きに基づき、災害関係者の要請により無償で貸し出せる油濁防除資機材を国内6ヶ所、海外5ヶ所に配備している。千葉県市原市に配備している資機材の一覧は表－9のとおりである。

表-6 石油高圧ガス等貯蔵タンクの現況

平成28年4月1日現在

区分 地区	屋外貯蔵タンクの容量別基数(石油)					屋外貯蔵タンクの直径別基数(石油)					高圧ガス等貯槽容量別基数							
	区分 容量	内部 浮き 蓋	外部 浮き 蓋	そ の 他	計	区分 直径	内部 浮き 蓋	外部 浮き 蓋	その他	計	ガス種別 容量	液化 アンモニア	液化 塩素	LPG	LNG	そ の 他 毒性 ガス	そ の 他 可燃 性 ガス	計
京葉臨海北部地区	1,000KL未満	4		<u>194</u>	<u>198</u>	24m未満	7		<u>205</u>	<u>212</u>	100t未満							
	1,000KL以上 1万kl未満	4		11	15	24m以上 34m未満	1			1	100t以上 500t未満							
	1万KL以上 5万KL未満	4			4	34m以上 50m未満	4			4	500t以上 1,000t未満			<u>2</u>				<u>2</u>
	5万KL以上 10万KL未満					50m以上 60m未満					1,000t以上 5,000t未満			1				1
	10万KL以上					60m以上					5,000t以上							
	計	12		<u>205</u>	<u>217</u>	計	12		<u>205</u>	<u>217</u>	計			<u>3</u>				<u>3</u>
京葉臨海中部地区	1,000KL未満	<u>35</u>	5	<u>1,907</u>	<u>1,947</u>	24m未満	<u>119</u>	<u>73</u>	<u>2,135</u>	<u>2,327</u>	100t未満	<u>24</u>	<u>5</u>	<u>29</u>	1	<u>19</u>	<u>13</u>	<u>91</u>
	1,000KL以上 1万kl未満	<u>94</u>	<u>120</u>	<u>324</u>	<u>538</u>	24m以上 34m未満	<u>10</u>	<u>57</u>	<u>98</u>	<u>165</u>	100t以上 500t未満	2	5	<u>40</u>	1	<u>2</u>	<u>4</u>	<u>54</u>
	1万KL以上 5万KL未満	<u>12</u>	53	<u>97</u>	<u>162</u>	34m以上 50m未満	<u>11</u>	45	<u>73</u>	<u>129</u>	500t以上 1,000t未満			<u>63</u>		<u>2</u>	<u>6</u>	<u>71</u>
	5万KL以上 10万KL未満	1	93	4	98	50m以上 60m未満	1		22	23	1,000t以上 5,000t未満	2		<u>62</u>		<u>3</u>	<u>13</u>	<u>80</u>
	10万KL以上		4		4	60m以上	1	100	4	105	5,000t以上	2		19		<u>1</u>		<u>22</u>
	計	<u>142</u>	<u>275</u>	<u>2,332</u>	<u>2,749</u>	計	<u>142</u>	<u>275</u>	<u>2,332</u>	<u>2,749</u>	計	<u>30</u>	<u>10</u>	<u>213</u>	2	<u>27</u>	<u>36</u>	<u>318</u>

区分 地区	屋外貯蔵タンクの容量別基数(石油)					屋外貯蔵タンクの直径別基数(石油)					高 圧 ガ ス 等 貯 槽 容 量 別 基 数									
	区分 容量	内部 浮き 蓋	外部 浮き 蓋	そ の 他	計	区分 直径	内部 浮き 蓋	外部 浮き 蓋	そ の 他	計	ガス種別 容量	液化 アンモニア	液化 塩素	LPG	LNG	そ の 他	毒 性 ガス	そ の 他	可 燃 性 ガス	計
京葉臨海南部地区	1,000KL 未 満			43	43	24 m 未 満	2		47	49	100 t 未 満	6		6						12
	1,000KL 以上1 万 k l 未 満	2		6	8	24 m 以上 34 m 未 満			2	2	100 t 以上 500 t 未 満									
	1 万 KL 以上 5 万 KL 未 満					34 m 以上 50m 未 満					500 t 以上 1,000t 未 満									
	5 万 KL 以上 10 万 KL 未 満					50 m 以上 60m 未 満					1,000t 以上 5,000t 未 満									
	10 万 KL 以上					60m 以上					5,000t 以上									
	計	2		49	51	計	2		49	51	計	6		6						
合 計	1,000KL 未 満	39	5	2,144	2,188	24 m 未 満	128	73	2,387	2,588	100 t 未 満	30	5	35	1	19	13		103	
	1,000KL 以上1 万 k l 未 満	100	120	341	561	24 m 以上 34 m 未 満	11	57	100	168	100 t 以上 500 t 未 満	2	5	40	1	2	4		54	
	1 万 KL 以上 5 万 KL 未 満	16	53	97	166	34 m 以上 50m 未 満	15	45	73	133	500 t 以上 1,000t 未 満			65		2	6		73	
	5 万 KL 以上 10 万 KL 未 満	1	93	4	98	50 m 以上 60m 未 満	1		22	23	1,000t 以上 5,000t 未 満	2		64		3	13		82	
	10 万 KL 以上		4		4	60m 以上	1	100	4	105	5,000t 以上	2		19		1			22	
	計	156	275	2,586	3,017	計	156	275	2,586	3,017	計	36	10	223	2	27	36		334	

表ー7 防災関係機関・特定事業所等の消防力の現況

(平成28年5月1日現在)

防災資機材等 機 関 等 別		防 災 要 員 ・ 吏 員	大 型 化 学 消 防 車	大 型 高 所 放 水 車	泡 原 液 搬 送 車	大 型 化 学 高 所 放 水 車	甲 種 普 通 化 学 消 防 車	普 通 消 防 車	小 型 消 防 車	普 通 高 所 放 水 車	乙 種 普 通 化 学 消 防 車	可 搬 式 放 水 銃 基	泡 放 水 砲 基	耐 熱 服 着	空 気 又 は 酸 素 呼 吸 器 個	オ イ ル フ エ ン ス m	オ イ ル フ エ ン ス 展 張 船	油 回 収 船	消 防 艇	流 出 油 等 防 止 堤	消 火 用 屋 外 給 水 施 設 社	非 常 通 報 設 備	大 容 量 泡 放 水 砲 基	合 計	泡消火薬剤(3%換算)						水 溶 性 液 体 用
																									非 水 溶 性 液 体 用		水 成 膜 水	水 溶 性 液 体 用			
																									非 た ん 白	水 成 膜 水			界 面 活 性 剤	成 膜	
		人	台										基	基	個	m	隻					社	基	kl							
防 災 関 係 公 共 機 関	国	千葉海上保安部															260								13.4	13.4					
		木更津海上保安署																								0.2	0.2				
		小 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	260	0	0	0	0	0	0	0	13.6	13.6	0.0	0.0	0.0	0.0	
	県	防災危機管理部															1,320								102.2				20.0	82.2	
		県土整備部															5,266								0.0						
		農林水産部															4,960								0.0						
		水道局															330								0.0						
		小 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11876	0	0	0	0	0	0	0	102.2	0.0	0.0	0.0	20.0	82.2	
	市	市 川 市	512			1	1		14	1		3	1		10	99	40				1					8.4			4.0		4.4
		千 葉 市	959	1	1	1			50			5	30	41	30	264	400				1					58.6			2.1	51.9	4.6
		市 原 市	374	2	2	2		1	16	3			20		11	213									66.0			34.9		31.1	
		袖ヶ浦市	123	1	1	1		1	5				7	1	10	46									16.3					16.3	
		木更津市	180						8	1		1	3	2	3	53									1.0				0.5	0.5	
君 津 市		161			1	1		8	2			2	1	3	53									8.6				8.6			
小 計		2,309	4	4	6	2	2	101	7	0	9	63	45	67	728	440	0	0	2	0	0	0	0	158.8	0.0	0.0	41.0	61.0	56.8		
特 定 事 業 所 等	北 自 衛 防 災	132										14		3	6	2,580					1	6	6		40.0	28.5	9.0		2.5		
	部 共 同 防 災	55			1	1						1		1	2	810	1								55.4		11.2	44.2			
	中 自 衛 防 災	1,971	9	2	3	2	22	3	2			311	11	142	821	30,916	2				9	45	62		642.8	246.6	124.3	90.0	34.0	147.9	
	部 共 同 防 災	711	5	4	8	4						13	9	23	36	2,970	3	1					2	117.9	41.0	45.7	29.2	2.0			
	南 自 衛 防 災	28					1				1	8	1	5	33	1,440						3	3		20.7	10.0		4.9	5.8		
	部 共 同 防 災	22			1	1							1	1	1	540	1								11.2			11.2			
	小 計	2,131	9	2	3	2	23	3	2	0	1	333	12	150	860	34,936	2	0	0	10	54	71		703.5	285.1	133.3	94.9	39.8	150.4		
計	共 同 防 災	788	5	4	10	6	0	0	0	0	0	14	10	25	39	4,320	5	1	0	0	0	0	2	184.5	41.0	56.9	73.4	13.2	0.0		
特別防災区域協議会																								182.2	76.6		80.3	25.3			
総	計	5,228	18	10	19	10	25	104	9	0	10	410	67	242	1627	51,832	7	1	2	10	54	71	2	1344.7	416.3	190.2	289.6	159.3	289.4		

(備考)

県防災危機管理部所有分については、次のとおり各市に管理を委託している。

- 市川市に備蓄用泡消火薬剤タンク 1 基(40kl)と消火薬剤 (水溶性液体用6%) 43.9kl、オイルフェンス300m
- 船橋市に消火薬剤 (水溶性液体用6%) 7.7kl、オイルフェンス180m
- 千葉市に消火薬剤 (水溶性液体用6%) 4.0kl、オイルフェンス200m
- 市原市に備蓄用泡消火薬剤タンク 3 基(40kl)と消火薬剤 (うち20k l は水成膜3%、残りは水溶性液体用6%) 97.7kl
- 袖ヶ浦市に備蓄用泡消火薬剤タンク 1 基(40kl)と消火薬剤 (水溶性液体用6%) 27kl
- 木更津市に消火薬剤 (水溶性液体用6%) 1.0kl
- 君津市に消火薬剤 (水溶性液体用6%) 3.0kl、オイルフェンス300m
- 浦安市に消火薬剤 (水溶性液体用6%) 1.0kl、
- 習志野市に消火薬剤 (水溶性液体用6%) 1.0kl、オイルフェンス340m
- 富津市に消火薬剤 (水溶性液体用6%) 0.8kl、オイルフェンス300m

※ 防災要員 総員 法定 現有
(1直) (1直)
自衛防災 2131人 250人 350人
共同防災 788人 101人 102人

表－８ 泡消火薬剤共同備蓄（３者協定分）

(平成28年4月1日現在)

	市 (負担割合)	区分	協定備蓄量 (Kℓ)	現保有量 (Kℓ)	内訳（備蓄場所）	備蓄量 (Kℓ)	泡消火薬剤（３％）（kℓ）					泡消火薬剤（６％）（kℓ）				
							たん白	ふっ化 たん白	合成界 面活性 剤	水成膜	水溶性 液体用	たん白	ふっ化 たん白	合成界 面活性 剤	水成膜	水溶性 液体用
北部地区	市川	県	43.94	43.94	高谷出張所地下タンク	40.00										40.00
					高谷出張所庁舎	3.00										3.00
					相之川防災倉庫	0.94										0.94
		市	43.94	59.40	南消防署地下タンク	19.40			19.40							
					高谷新町タンク	40.00			40.00							
	協議会	43.94	55.54		高谷新町タンク	55.54			43.94				5.80			5.80
	(85%)	(小計)	131.82	158.88												
	船橋	県	7.70	7.70	南本町水防倉庫	7.70										7.70
		市	7.50	7.50	南本町水防倉庫	7.50										7.50
		協議会	7.50	7.50	JXTGエネルギー㈱市川油槽所	7.50			7.50							
	(15%)	(小計)	22.70	22.70												
中部地区	千葉	県	3.86	4.00	千葉市消防局美浜消防署車両積載	4.00										4.00
		市	3.85	3.85	千葉市消防局臨港出張所	3.85				3.85						
		協議会	3.85	3.85	千葉市消防局臨港出張所	3.85				3.85						
	(3%)	(小計)	11.56	11.70												
	市原	県	97.67	97.70	市原市養老川臨海備蓄センター	62.60				20.00						42.60
					姉崎消防署	35.10										35.10
		市	97.65	97.05	市原市養老川臨海備蓄センター	44.95			27.03							17.92
					姉崎消防署	16.70										16.70
					八幡消防署	34.50			7.90							26.60
					五井消防署	0.90										0.90
		協議会	97.65	97.80	コスモ石油㈱千葉製油所	2.00			2.00							
					D I C㈱千葉工場	0.81			0.81							
					JXTGエネルギー㈱千葉製油所	26.06			26.06							
					住友化学㈱千葉工場（姉崎地区）	4.32	4.32									
	袖ヶ浦	県	26.99	27.00	丸善石油化学㈱千葉工場	25.50	25.50									
					出光興産㈱千葉製油所	39.11	39.11									
		市	26.98	32.50	長浦消防署	27.00										27.00
					長浦消防署	32.50										32.50
		協議会	26.98	27.00	富士石油㈱	25.00	5.00			20.00						
					住友化学㈱千葉工場（袖ヶ浦地区）	2.00	2.00									
	(21%)	(小計)	80.95	86.50												
	計	県	128.52	128.70		128.70				20.00						108.70
		市	128.48	133.40		133.40			34.93	3.85						94.62
		協議会	128.48	128.65		128.65	75.93		28.87	23.85						
	(100%)	(小計)	385.48	390.75												
南部地区	君津	県	1.44	3.00	君津市消防本部	3.00										3.00
		市	1.42	1.60	君津市消防本部	1.60				1.60						
		協議会	1.42	1.42	君津市消防本部	1.42				1.42						
	(100%)	(小計)	4.28	6.02												
合計		県	181.60	183.34		183.34				20.00						163.34
		市	181.34	201.90		201.90			94.33	5.45						102.12
		協議会	181.34	193.11		181.51	75.93		80.31	25.27						
		(小計)	544.28	578.35												

3者協定以外の県保有量 3.8kℓ（水溶性液体用6％）

木更津市消防本部保管 1.00kℓ
 浦安市消防本部保管 1.00kℓ
 習志野市消防本部保管 1.00kℓ
 富津市消防本部保管 0.80kℓ

※ 泡消火薬剤水溶性液体用（６％）を非水溶性液体に対して使用する場合は、３％希釈にて使用する。

表－9 石油連盟の国内油濁防除資機材基地（第1号東京湾基地分）

基 地 名			第1号 東京湾基地
所 在 地			千葉県市原市
開 設 時 期			平成3年11月
配 備 資 機 材	固形式オイルフェンス	Solid 1150 Boom Bag	7, 040m 200m
	充気式オイルフェンス	Ro-Boom 1800	500m
		Deep Sea Boom	500m
		Uni Boom 800R	250m
		Vee Sweep	60m
		Beach Boom	320m
		Current Buster	70m
	油回収機	Transrec 125	1
		Desmi Combination Skimmer	3
		Komara 12K	4
		LAMOR LWS 50	2
	移送ポンプシステム		1
	ビーチクリーナー	Mini Vac System	6
	回収油バージ	25t	1
	オイルバッグ	50t	1
		200t	2
	ロータンク	25t	1
	油水分離機		2
	仮設タンク	1.5t	6
		5t	6
		9t	24
	トレルテント		1
	可搬式照明器具		2
	油捕獲材		60袋

(平成23年12月現在)

6 石油コンビナート等特定事業所異常現象

(1)過去の発生状況

(S51年からH27年)

種別 年	異常現象発生件数					死傷者数	
	爆 発	火 災	漏 洩	その他	計	負傷者	死者
51	1	2	4	3	10	3	
52	1	5	4	3	13	1	2
53		9	2	2	13	3	
54	2	1	5	2	10		
55	1	4	2		7		
56	1	7	6	4	18	1	
57		4	3	3	10	9	
58		5	2	1	8		
59		9	5		14	4	1
60		10	4	1	15	2	
61	1	3	1		5	2	
62	1	6	3	1	11	4	
63		5	3	4	12	1	
元	2	1	3		6	5	1
2	1	2	2	1	6	4	2
3	3	4	1		8	16	2
4	1	3	2		6	7	10
5	1	2			3		
6	2	3	1		6	2	1
7		5	1	2	8		
8	2	5		5	12	1	2
9		9	1		10	8	1
10		5	3	3	11	2	1
11	1	8	9		18	4	
12		7	6	3	16	2	
13		4	3		7	1	
14		6	4	1	11	9	2
15		5	4		9		
16		19	7	2	28	2	
17	1	11	5		17	3	
18	2	15	18	1	36	2	
19		10	10		20	1	
20		9	11	3	23	22	1
21	1	8	12	1	22	3	
22	1	18	11	1	31	10	3
23	1	9	24	8	42	11	
24	1	11	12	2	26	1	
25	1	10	20	1	32		
26	1	12	29	2	44	8	
27	2	17	16	1	36	3	
計	32	288	259	61	640	157	29
平均	0.84	7.20	6.48	1.61	16.00	3.93	0.76

(2) 異常現象例（平成24年1月から平成28年12月まで）

番号	種別	発生日時			発生場所	概 要	死者	負傷者
503	火災	平成24年1月6日	金	10時08分	千葉市	東発電所中部変電室にて地落（漏電）が発生し、変圧器2次の遮断機が地落検出により自動遮断したため、東工場内で停電が発生した。この際、特別高圧盤内の貫通絶縁碍子が火災により黒変した。	0	0
504	火災	平成24年1月6日	金	10時08分	千葉市	停電の影響で、第5コークス炉で移動機、集塵機などが停止したため、燃焼用空気取り入れ口で火災が発生して炉低の配線が焼損した。	0	0
505	火災	平成24年1月6日	金	10時08分	千葉市	停電の影響で、第7コークス炉で移動機、集塵機などが停止したため、燃焼用空気取り入れ口で火災が発生して炉低の配線が焼損した。	0	0
506	爆発	平成24年1月6日	金	10時08分	千葉市	停電の影響で、複数のコークス炉でコークスガスが制御困難となった。このため可燃性ガスが第7コークス炉煙道内に流入して煙道集塵機出口側で爆発が発生。集塵ダクト、集塵機、排風機、煙突下部が損傷を受けた。	0	0
507	漏洩	平成24年2月9日	木	11時04分	市原市	屋外タンク貯槽所（ナフサ）の付属配管（ルーフドレン）からナフサが漏洩した。漏洩量：約35,7kl。原因調査中。	0	0
508	漏洩	平成24年3月12日	月	8時23分	市原市	屋外タンク貯槽所の付属配管ベントタンク排気弁より原油がオーバースローし、防油堤に約4,8kl漏洩した。	0	0
509	漏洩	平成24年3月14日	水	16時00分	袖ヶ浦市	西地区のM-BOG圧縮機室1階コンプレッサー吐出ラインからメタンガスが漏洩。ラインをブロックして漏洩停止した。	0	0
510	火災	平成24年3月22日	木	8時20分	袖ヶ浦市	合成ゴムプラントの熱交換機からヘキサン（第一石油類）が漏えいし着火したもの。8時58分に鎮火及び漏洩停止を確認した。（発災機器は第一種圧力容器に該当）	0	0
511	漏洩	平成24年4月27日	金	13時45分	市原市	純水装置のイオン交換廃液を洗浄する35%塩酸をローリーからFRP製タンクに受入作業中にタンク底部と側面に割れが発生し、塩酸約4,6立方メートルが漏えいした。敷地外への流出なし。	0	0
512	火災	平成24年5月7日	月	21時00分	市原市	製造装置定修後のスタートアップ時に、フレアノックアウトドラム配管フランジ部の仕切り板抜き作業中、バタフライ弁と仕切り板の間にスケール（硫化鉄）が溜まっていて、開放時に酸化熱により自然発火した。	0	0
513	漏洩	平成24年5月11日	金	10時40分	市原市	合成塩酸施設で塩素を置換作業中に異臭を感じたため、漏洩箇所の確認を行った作業員が塩素ガスを吸い込み病院に搬送された。バルブシート漏れと判明したため交換して漏洩は停止した。	0	1
514	火災	平成24年6月26日	火	9時15分	市原市	メルトーチ製造設備（アスファルトコンパウンド、ポリエチレンを混合して防水シートを作る）の排気ダクトの付着物（アスファルトコンパウンド）に溶接の火が引火してダクトに延焼したもの。	0	0
515	漏洩	平成24年6月28日	木	7時18分	市原市	アスファルトタンクからアスファルトが約437kl漏洩して、約72klが海上に流出した。土のう構築及び別タンクへのシフトにより漏洩は停止した。オイルフェンスを展開したがそれを越えて東京湾に拡散。横浜、横須賀の岸壁で油塊を確認したほか東京湾の広範囲に油膜が拡散した。7月10日に事故調査委員会を設置。	0	0
516	火災	平成24年7月3日	火	8時40分	君津市	第2高炉の16番羽口付近が破孔したため、高炉内のコークスが流出して火災が発生した。流出量：約3トン。焼失面積：約528平方メートル。	0	0
517	漏洩	平成24年7月13日	金	11時10分	市原市	屋外タンク貯蔵所付属配管（口径8インチ）の伸縮部からA重油が漏洩した。漏洩量：約500L。	0	0
518	火災	平成24年7月19日	木	19時37分	市原市	常圧蒸留装置で常圧蒸留塔リフラックス戻り配管の保温板金隙間の外面腐食が進展してナフサが漏えいして火災となった。	0	0
519	漏洩	平成24年7月24日	火	10時45分	市原市	エチレン製造装置の脱プロパン塔還流配管から可燃性ガス（主成分：プロピレン、ブタン）が漏洩した。	0	0
520	火災	平成24年8月3日	金	18時48分	君津市	冷延工場北棟建屋内から出火。ホフマンフィルター室（圧延油をろ過する装置）内の蒸気配管に付着したスカム（鉄粉と油脂の混合物）が加熱されて発火し、周辺の可燃物を焼損した。	0	0
521	破損	平成24年8月28日	火	16時58分	袖ヶ浦市	動力用役施設のボイラーの煙突（高さ140m）の中間部が破損して落下。ボイラー排ガスが破損した煙道から流出した。応急措置として予備の煙突に切り替えた。	0	0
522	火災	平成24年10月17日	水	9時09分	袖ヶ浦市	合成ゴムプラントにおいてEPゴムフィニッシング（乾燥）を行う設備の排気ダクト内で火災が発生した。排気ダクト10mを焼損。	0	0

番号	種別	発生日時			発生場所	概 要	死者	負傷者
523	破損	平成24年10月26日	金	8時40分	市原市	クレーンで吊り上げた資材が隣接の屋外貯蔵タンク（A重油、貯蔵量 30kl）の屋根に落下して、屋根の一部及び受入配管が変形し、防油堤の一部が破損した。危険物の漏洩はなかった。	0	0
524	火災	平成24年11月21日	水	17時30分	市原市	合成ゴム加工研究棟1階で実験中に使用していたブタジエンガスとシクロヘキサン混合物の廃棄作業中に火災、延焼した。静電気原因と推定。18時11分鎮火。	0	0
525	漏洩	平成24年11月23日	金	10時00分	市原市	水素ガス貯蔵施設の水素ローダーから水素ガスが漏洩した。ローダーのバルブを閉めて漏洩は停止した。	0	0
526	漏洩	平成24年11月25日	日	10時00分	市原市	屋外タンク貯蔵所付属配管の腐食によりピンホールからライトガソリン（FOG）が漏洩した。開口箇所バンド巻きにより漏洩は停止。配管内の滯油を回収。海上への流出なし。	0	0
527	漏洩	平成24年11月29日	木	9時10分	市原市	タンクの付属配管伸縮部からジェット燃料が漏洩した（漏洩量：約20L）。配管ブロック後に配管内残油42キロリットルを移送し処置した。	0	0
528	漏洩	平成24年12月27日	木	23時10分	市原市	高圧法 [※] リサイクル施設の定期パトロール中にエチレン臭を認め、ガス検知により圧縮機出口安全弁付近からの微小漏洩を確認。物質名：エチレン。酢酸ビニル	0	0
529	漏洩	平成25年1月22日	火	1時50分	市原市	屋外タンク（VE707）の自動弁タンク側フランジからコールタール約8000Lが漏洩して防油堤内に滞留した。	0	0
530	火災	平成25年1月26日	土	21時45分	市原市	一般取扱所のリアクター付属配管からクレオソート油約100Lが漏洩し、ホットエアダクトに滴下して引火した。同日22時17分鎮火。	0	0
531	爆発	平成25年2月1日	金	9時45分	市原市	排水排ガス焼却施設内の排水燃焼炉空気ブロアで窒素と塩化ビニルモノマーを圧縮中に2段コンプレッサーの吸入配管が破裂した。インターロックにより停止し火災なし。	0	0
532	火災	平成25年2月12日	火	9時50分	市原市	回収蛍石乾燥設備の入った倉庫のベルトコンベアのゴム部が燃えて火災となった。協力会社社員の初期消火で鎮火した。通報遅れあり。	0	0
533	火災	平成25年3月11日	月	15時35分	市原市	製造所C現場にて配管洗浄後のトルエン抜き取り作業中に火災して、容器を焼損した。消火器による初期消火により鎮火した。	0	0
534	漏洩	平成25年3月13日	水	2時42分	市原市	A Fプラント（フッ化 [※] 12, 22, 142b製造施設）TW431のボトムドレン弁閉め忘れによりフロン（R22）及び塩化水素が流入してホースが破断、漏洩した。フロンは大気拡散、塩酸は水洗浄により回収。	0	0
535	火災	平成25年3月15日	金	10時03分	市原市	3号タービン主油タンク3階建屋の1階にある非常用発電機の負荷試験中、排気管の温度が上昇し焼損した。通報時には従業員が消火器により消火し鎮圧状態であり、公設消防により鎮火確認。	0	0
536	漏洩	平成25年4月2日	火	13時40分	市原市	回収鉛改鑄炉作業場にて燃料タンク撤去作業中に、残存していた灯油約20Lが漏洩した。	0	0
537	漏洩	平成25年5月8日	水	8時30分	袖ヶ浦市	Pバース苛性ソーダ配管から少量の苛性ソーダが漏えいした。漏えい量1L未満、海上流出なし。	0	0
538	漏洩	平成25年5月24日	金	9時10分	市原市	工事業者が誤って屋外貯蔵タンクの付属配管に約8mmの穴を開けたことから原油が防油堤内に漏洩した。漏洩量約7L。バンド巻きにて応急措置後に配管内滯油を別タンクに移送。	0	0
539	漏洩	平成25年5月31日	金	18時00分	市原市	共通配管ラック上のスチレンモノマー配管（保冷板金施工）の外表面腐食により、スチレンモノマーが少量漏洩した。保温下の外表面腐食による直径1mm以下の開口2カ所確認。	0	0
540	火災	平成25年6月13日	木	23時03分	袖ヶ浦市	2号タービン建屋内でダクト内ケーブル火災により白煙が発生した。自衛消防の消火器及び窒素封入により翌日4時10分に鎮火。消防法の一般取扱所	0	0
541	火災	平成25年6月28日	金	0時48分	市原市	R2現場の蒸留塔でフェノール蒸気が漏えいしたところに漏電により着火して火災発生。自衛消防の初期消火により鎮圧したが漏洩は継続。12時20分フェノール抜き取り完了し終息。	0	0

番号	種別	発生日時			発生場所	概 要	死者	負傷者
542	漏洩	平成25年7月8日	月	7時14分	市原市	常圧蒸留装置ナフサ分解塔（C-V107）付属配管のベントキャップからナフサが漏洩した。漏洩量は18リットル程度。装置をシャットダウンし13時01分終息。	0	0
543	火災	平成25年7月20日	土	9時35分	市原市	廃止済みのスチレンモノマー製造設備（CM-3）の分留塔（AF-202）の溶断作業中、塔内の残留物（ポリスチレン樹脂）に着火燃焼した。塔内部で上部まで引火し、小爆発も発生。赤熱により塔の上部1/3の位置で約20度座屈し倒壊の危険発生。放水冷却により翌朝鎮火。	0	0
544	漏洩	平成25年7月20日	土	18時48分	市原市	スチレンモノマー製造設備（CM-4）の緊急停止作業中、熱交換器（EX-407）出口配管フランジ部からエチルベンゼン・スチレンモノマー混合液が約2KL漏洩した。事後調査により、緊急停止の影響ではなくガスケットの不良によるものと判明した。	0	0
545	漏洩	平成25年7月27日	土	14時57分	市原市	3PPプラントの定期修理中、ドラム（No.3202）に潤滑油を通したところ、フランジボルトの緩みにより150リットルほど漏洩した。	0	0
546	火災	平成25年7月29日	木	17時03分	市原市	第3変電室から煙発生し停電。配電盤内のケーブルが熔融したもの。変電所内の排煙活動実施。各プラントを緊急停止した。22時20分鎮火確認。	0	0
547	漏洩	平成25年8月2日	金	6時35分	市原市	原油タンク（No.12）から第一常圧蒸留装置に原油を移送する配管から漏洩した。上下流バルブ閉止、バンド巻きにより漏洩停止。漏洩量約300リットル。	0	0
548	漏洩	平成25年9月4日	水	10時10分	市原市	10DDS施設北側付近のラック上配管で燃料ガス（C1、C2、水素等の可燃性混合ガス）が漏洩した。バルブ閉止及び漏洩個所のバンド巻きにより漏洩を停止した。	0	0
549	漏洩	平成25年9月8日	日	20時13分	市原市	1TFプラント20号タンクの触媒残渣取り出しのため水抜き作業中、バルブ誤操作によりヘキサン約500Lが排水溝及び分離槽に流出した。敷地外への流出なし。	0	0
550	漏洩	平成25年9月12日	木	8時05分	市原市	3PHプラント内でアセトンが漏洩した。半地下タンクの上部バルブからの漏洩を確認。漏洩停止作業中、回収先タンクのベント配管からアセトンがオーバーフローしたため、消防隊及び従業員が一時退避措置を取った。	0	0
551	漏洩	平成25年9月16日	月	8時35分	市原市	強風により足場パイプが転倒してトランスが破損。内部の絶縁油（PCB 7%含有）が漏洩した。漏洩量19.7リットル。	0	0
552	破損	平成25年9月18日	水	8時10分	市原市	台風通過後の点検により、特定屋外タンク貯蔵所（ドームルーフ、重油）の上部側板3か所が破損し開口しているのを確認した。漏洩なし。タンク気相部の内部腐食進展によるものと推定。	0	0
553	漏洩	平成25年10月13日	日	11時30分	市原市	屋外貯蔵タンク（No.824）付属配管の伸縮継手部分からジェット燃料が滴下しているのを点検中の作業員が発見した。（昨年11月の漏洩と同一箇所）	0	0
554	火災	平成25年10月16日	水	7時30分	市原市	第2常圧蒸留装置の蒸留塔原油入口ノズル部から原油が漏えいして火災となった。8時22分に鎮火。塔及び配管の温度を下げるため軽油置換して温度低下後に系内の残油を抜き取り、15時30分に終息。ライニングプラグ溶接部の欠陥による割れが原因と判明。	0	0
555	漏洩	平成25年10月18日	金	4時00分	市原市	台風の影響により、事業所の排水設備の油分離装置周りが冠水して、油混じりの雨水が敷地内に流出し、その一部が海上に流出した。海上への流出は少量であったが、敷地内の油回収に約一週間を要した。	0	0
556	漏洩	平成25年11月11日	月	9時35分	市原市	3EPTプラントのドラム（D-820）上部のウエスト配管フランジ部からENBとイソヘキサン混合液が約1L漏洩した。建設時のガスケット取付ミスが原因。	0	0
557	火災	平成25年11月21日	木	4時15分	市川市	化成品1系建屋にて危険物施設配管枝管のキャップが外れてジブチルエーテルが漏洩して火災となった。漏洩量約300リットル	0	0

番号	種別	発生日時			発生場所	概 要	死者	負傷者
558	漏洩	平成25年11月25日	月	12時15分	市原市	フェノールローリー充填所にて充填作業中にフェノールが約33リットル漏洩した。海上への流出はなし。	0	0
559	漏洩	平成25年12月26日	木	11時00分	市原市	重油タンク（横置き円筒形 37kl）の脚接続部からA重油が滲んでいるのを発見した。ドラム缶に移送して処置した。	0	0
560	漏洩	平成25年12月31日	火	9時25分	市原市	第一常圧蒸留装置の原油チャージポンプドレン弁エルボー溶接部から少量の原油が漏洩した。	0	0
561	漏洩	平成26年1月4日	土	11時58分頃	市原市	製造施設のドラムノズル部からジエン・イソヘキサン混合液が漏洩した。弁を閉止しポンプ停止後バンド巻きにより漏洩は停止。変更工事に伴う腐食環境の変化により内部腐食が進展しピンポールの開口に至った。漏洩量約40リットル。	0	0
562	漏洩	平成26年1月5日	日	9時06分	市原市	製造施設のスタビライザーリボイラーポンプケーシングドレンからナフサが少量漏洩した。ポンプを切り替え脱圧により漏洩停止。バンド巻き措置し処理完了した。	0	0
563	漏洩	平成26年1月9日	木	14時00分	市原市	製造施設の熱交換器下部配管フランジを開放したところ、三酸化硫黄が噴出し、空気中の水分との反応により硫酸ミストが発生。漏洩量：約300リットル	0	3
564	漏洩	平成26年1月17日	金	9時10分	市原市	製造施設のドラムの液面計溶接部からLPガスが漏洩した。	0	0
565	火災	平成26年1月20日	月	14時32分（発見）	市原市	減圧蒸留装置の蒸留塔のスロップワックス液面計付近からC1、C2留分が漏洩して火災となった。	0	0
566	漏洩	平成26年1月27日	月	10時44分	市原市	アンモニア冷凍機から冷媒ガスのアンモニアが漏洩し除外設備が作動した。自動弁の上・下流の弁を閉止にて漏洩は停止した。	0	0
567	火災	平成26年2月11日	火	11時10分頃	千葉市	危険物施設の変換工事中、配管内に残っていた少量のノルマルヘキサンが漏洩し、グラインダーの火花により着火し、初期消火により鎮火。事故発生時に通報がなく、後日、電話により通報されたため、火災の痕跡がなく火災の判定が困難であった。	0	0
568	漏洩	平成26年2月16日	日	11時00分頃	市川市	特定屋外タンク（内部浮き蓋式）の出荷用ポンプ吐出側配管の圧力計が脱落して、ガソリン約800リットルが防油堤内で漏洩した。	0	0
569	漏洩	平成26年3月3日	月	6時20分	市原市	製造施設のリアクタープロダクトセパレータの液面計連通管から灯油が漏洩した。脱圧後バンド巻きにて応急措置した。内面腐食による約2mmの開口を確認。	0	0
570	火災	平成26年3月5日	水	10時50分	君津市	廃止済みの特定屋外タンク（重油 18000kl）を解体中、側板溶断の熱により周辺に付着していた重油に着火して火災が発生。自衛消防隊の消火活動により11時25分に鎮火した。	0	0
571	漏洩	平成26年3月20日	木	21時13分	市原市	製造施設のポンプメカニカルシールよりシールオイル（高流動パラフィン）約500リットルがプラント内に漏洩したものの。ポンプを停止し予備機に切り替えて漏洩は停止した。	0	0
572	漏洩	平成26年3月24日	月	11時16分	市原市	製造施設の第一重合器の流量計接続配管からプロピレンガスが漏洩した。初期対応による縁切り・脱圧により漏洩停止。漏洩量約4.5kg。	0	0
573	漏洩	平成26年3月28日	金	0時37分	市原市	発電機の付属設備を修理するため、停止作業を実施中、弁操作を誤って開けてはいけない弁を開けたために発電機内のガスが軸受潤滑油系統に逆流し、ガスと油が漏洩した。	0	0
574	漏洩	平成26年4月11日	金	10時30分	市原市	製造施設の反応炉行き配管のドレン配管からガス（硫化水素＋アンモニア）が漏洩した。装置を緊急停止して漏洩停止。	0	0

番号	種別	発生日時			発生場所	概 要	死者	負傷者
575	漏洩	平成26年4月14日	月	23時37分頃	市原市	ポンプのストレーナーで差圧が発生したので、B号機に切り替えたところ、ポンプのメカニカルシール部分からオイルが漏洩した。漏洩したオイルは防油堤防に留った。漏洩量は約560リットル。	0	0
576	火災	平成26年5月14日	水	21時30分	市原市	反応槽の洗浄作業完了後、洗浄液の移送完了を確認するためノズルを開放したところガスが噴出して着火し、作業員が火傷した。	0	1
577	漏洩	平成26年5月15日	木	19時45分(発見)	市原市	従業員が現場をパトロール中、燃料ガスノックアウト槽付近でガス臭を感じたためガス検知器によりガスの漏洩を発見した。付近の弁を閉めるとともに、窒素ガス置換を実施してガスの漏洩を停止した。	0	0
578	火災	平成26年5月18日	日	17時00分(発見)	市原市	従業員が現場をパトロール中、ポンプで火災を発見し、装置の緊急停止及び初期消火活動により鎮火した。	0	0
579	漏洩	平成26年5月27日	水	18時43分	市原市	圧縮機のシールオイルドラムのレベル低下アラームにより現場を確認したところ、メカニカルシール部からシールオイルの漏洩を発見したので、直ちに装置を緊急停止させて漏洩を止めた。漏洩したオイルは防油堤防に留まり、漏洩量は約240リットル。	0	0
580	火災	平成26年6月2日	月	14時32分	市原市	プレス機の金型から製品を取り除く作業を実施した際に使用したバーナーの火で、製品又は周辺の樹脂くずに着火し、その後、作業員は燃えカスを除去するためにエアガンを使用して掃除したが完全に消火していない燃えカスがピット隙間からピット内に落下し、ピット底面に堆積していた樹脂くずに着火して火災に至った。	0	0
581	漏洩	平成26年6月7日	土	7時40分頃	市原市	従業員がパトロール中、タンク浮き屋根上に油が漏洩しているのを発見した。漏洩した油はルーフトレインラインを経由して、タンクヤード内に流れ出した。海上への流出はなし。	0	0
582	漏洩	平成26年6月14日	土	11時50分	市原市	メインユニットフィルター付近の定期補修のため、オフガス配管（内容物：二酸化炭素、一酸化炭素、硫化水素等）の一部をブロックし、水封防止の閉止板を挿入するためフランジのボルトをゆるめる作業を実施中、作業員1名が気分の悪さを訴えた。	0	1
583	火災	平成26年6月24日	火	14時15分	市原市	焼却炉固形ピット内で産業廃棄物を混合処理している際に火災が発生した。	0	0
584	漏洩	平成26年6月29日	日	14時30分(発見)	袖ヶ浦市	運転員がパトロール中に、屋外タンク貯蔵所の付帯配管から腐食により内容物のメタノールが漏洩していることを発見し、バンド巻きにより補修して漏洩を止めた。漏洩量は約10リットル。	0	0
585	漏洩	平成26年6月30日	月	15時15分	市原市	ガス検知器が発報したため、同社社員が現場を確認したところ、反応器バイパス配管よりイソノニアルデヒド、イソノニアルアルコール及び水素が漏洩しているのを発見した。漏洩量は約250リットル。	0	0
586	火災	平成26年7月2日	水	21時21分	市原市	設備停止作業中に誘導加熱装置の電源を切り忘れ、誘導加熱装置内部にあったケーブルの導体部分が過加熱により発熱し、発火、焼損した。	0	0
587	漏洩	平成26年7月5日	土	20時30分頃	市原市	従業員が現場を巡視中、製造設備建屋4階の換気口から白煙を発見し、現場を確認したところ、蒸留器の出口配管のエルボ部分にピンホールを発見した。漏洩量は約100リットル。	0	0
588	漏洩	平成26年8月11日	月	15時10分	市原市	協力会社社員が附属配管の伸縮継手から漏洩を発見し、漏洩箇所を含む配管系をブロックするとともに、ポンプにより残留しているナフサの抜き出し作業を実施した。	0	0
589	爆発	平成26年8月12日	火	23時50分	市原市	設備のスタート準備作業中、ポンプの不具合により溶剤、可燃性ガスが逆流してタンクから漏洩し、室内に充満して何らかの着火源により爆発したと推定。	0	0
590	漏洩	平成26年8月15日	金	4時30分	袖ヶ浦市	点検パトロール中にタンクの払い出し配管から苛性ソーダの漏洩を発見したので、弁を閉止して漏洩を停止させた。漏洩した苛性ソーダは土嚢構築により拡散を防止するとともに、中和作業を実施した。	0	0

番号	種別	発生日時			発生場所	概 要	死者	負傷者
591	火災	平成26年8月21日	木	18時45分	袖ヶ浦市	固形供給コンベア入口側で火災が発生、その後出口側にかけても火の手を確認した。	0	0
592	火災	平成26年8月28日	木	0時30分	市原市	工場内で異音がしたので、現場を確認したところ、モーターから火が出ているのを確認した。従業員が工場内の消火器で消火するとともに、消防機関に通報した。	0	0
593	漏洩	平成26年8月29日	金	10時20分 (発見)	市原市	消防機関の立入検査時に配管からの漏洩が発見された。	0	0
594	漏洩	平成26年9月1日	月	13時40分	袖ヶ浦市	潤滑油をタンクローリに積み込み中にポンプの圧力調整弁の導圧管取り付け部が破損し潤滑油約60リットルが漏洩した。	0	0
595	漏洩	平成26年9月3日	水	11時04分	市原市	製造装置の機器が不調のため、緊急停止を実施し、原料の供給を受けているプラントも緊急停止をした。緊急停止後、圧縮機付近のガス検知器が作動したため、現場を確認したところ、プロピレンを含んだ冷凍機の油の漏洩を発見した。	0	0
596	漏洩	平成26年10月10日	金	19時45分	袖ヶ浦市	計器室で可燃性ガス検知器の警報が発生したため、運転員が現場でガス検知器及び石鹼水を使用して、流量計フランジ部分からの漏洩を発見した。漏洩箇所は保温材を解体して、定期点検を実施中であった。	0	0
597	破損	平成26年10月16日	木	9時17分頃	千葉市	石材を積載した大型車両が荷降ろしをした後、荷台を完全に元に戻す前に走行して高さ制限バー及びその上に配置していた圧空配管、酸素配管、コークスガス配管を破損した。	0	0
598	漏洩	平成26年10月29日	水	8時10分	市原市	点検のため精留塔の運転を停止して閉止板を挿入しようとしたところ、間違えて運転中の精留塔のフランジを解体して閉止板の挿入作業をしてしまい、漏洩したクロロホルムガスを吸引した作業員3名が負傷した。	0	3
599	漏洩	平成26年11月6日	木	9時20分	袖ヶ浦市	ガス減圧弁室で点検作業中の作業員からガス漏洩の連絡があり、現場を確認したところ、配管からの漏洩を発見した。	0	0
600	破損	平成26年11月8日	土	12時30分 (発見)	市原市	危険物タンクから反応釜へ原料を仕込んだところタンク内への窒素供給が不十分であったためタンクが変形した。	0	0
601	その他	平成26年11月22日	土	12時18分	市原市	プラントの暴走反応によりインターロックが作動して、内容物であるポリエチレンが安全弁から外部に放出された。	0	0
602	その他	平成26年11月25日	火	13時50分	市原市	ボイラーの定期補修工事を終えて、スタートアップ運転を開始したところ、エアー導入部のケーシング部分が赤熱しているのを製造課員が発見して通報した。	0	0
603	火災	平成26年11月30日	日	8時00分	千葉市	事業所内変電所において、特高盤内での地絡により火災が発生し、特高盤、トランス、機器室及びケーブルが焼損し、危険物倉庫、資材倉庫の外壁が焼損した。	0	0
604	漏洩	平成26年12月9日	火	7時35分	市原市	運転員がパトロール中に危険物屋外タンク貯蔵所付属配管の伸縮継手から灯油が漏洩しているのを発見した。	0	0
605	火災	平成27年1月7日	水	19時20分	袖ヶ浦市	製造する製品を切り替えるため、設備のメタノール洗浄作業中に、抜き出し配管からメタノールを抜き出そうとしたところ、製品が固着して閉塞していた。この閉塞を解消しようとヒートガンで加熱したところ、製品が溶けてメタノールが吹き出し、引火して作業員1名が負傷した。	0	1
606	火災	平成27年1月10日	土	1時30分頃	袖ヶ浦市	関連会社社員が構内駐車場にて、車両のエンジン付近より燻っているのを発見して警備部に通報した。	0	0
607	漏洩	平成27年2月10日	火	14時30分 (発見)	市原市	消防局が実施した消防法に基づく立入検査時に海上出荷用のポンプの附属弁から軽油が漏洩しているのが発見された。	0	0
608	漏洩	平成27年3月2日	月	16時00分 頃	袖ヶ浦市	試作品の製造が終了したので、配管を窒素で置換した後、溶液で洗浄を行ったが、窒素置換の際に開放した弁を閉止していなかったため、洗浄溶液が弁から流出した。	0	0
609	漏洩	平成27年3月5日	木	11時25分 (発見)	市原市	油送液配管元弁のフランジガasketの経年劣化（硬化）により、フランジ部のシール性が低下し油が漏洩した。	0	0

番号	種別	発生日時			発生場所	概 要	死者	負傷者
610	火災	平成27年3月17日	火	10時45分頃	千葉市	油圧ユニット周辺及びその屋根に油を含んだ粉じんが堆積しており、この粉じんが油圧ポンプ周辺に落下、粉じんとポンプ回転軸との接触により、摩擦熱で過熱状態となり、油分が発煙・発火した。	0	0
611	漏洩	平成27年3月22日	且	18時30分	市原市	液面計のドレン抜き弁に係るシート面のシール性が経年劣化により低下し、内容物の指定可燃物が漏洩した。また、当該ドレン配管にキャップをしていなかった。	0	0
612	漏洩	平成27年3月31日	火	20時16分	袖ヶ浦市	原料をタンクから装置へ送液中に、ポンプに係るストレーナーの目詰まりを確認したため、ストレーナーを開放したところ、配管内に残留していた約80度の原料が逆流して漏洩し、作業にあたっていた1名が火傷を負った。	0	1
613	爆発	平成27年5月19日	火	1時55分頃	千葉市	排ガス回収設備の吸い込み側ダクトが腐食により破断し、吸い込まれた空気と排ガス中の可燃性ガスとが混合してファン後部のダクト内に滞留し、ファンと破断した金属片との接触火花（推定）によって爆発した。	0	0
614	火災	平成27年6月7日	且	0時40分頃	千葉市	スクラップを投入するクレーンの釣り上げワイヤーに塗布していたグリス（潤滑油）に、スクラップ装入の際に溶銲が飛び散り、このグリスに着火したが作業員が消火した。	0	0
615	火災	平成27年6月17日	水	11時50分頃	市原市	加熱炉内の製造装置の原料油が流れる配管の清掃口のプラグ近傍から火炎が発生していることを協会の従業員の発見し、連絡を受けた運転員が同装置の緊急停止を行い、自衛消防隊が消火活動を実施した。	0	0
616	破損	平成27年6月18日	木	2時35分	市原市	反応炉内の反応缶を被覆している煉瓦が脱落し、燃焼熱が反応缶に直接あたり、赤熱して缶の一部が開いた。内部の圧力が低下したため、装置を緊急停止した。	0	0
617	火災	平成27年6月22日	月	17時03分頃	市原市	異なる装置間の水素ガスを多く含む可燃性ガスの連絡配管において、相互の装置を分離するため、弁と仕切り板でガスを遮断していた。この仕切り板の取り外し作業を行ったところ、弁での遮断が不十分であったためにガスが漏れ、火災に至った。	0	0
618	火災	平成27年7月6日	月	1時20分頃	千葉市	夜間工事で出勤していた協会の監督が、事業所内の仮設事務所に帰ったところ、同事務所全体に煙が広がっていることを発見し、所内セキュリティに連絡、自衛消防隊及び公設消防により消火した。（同事務所内約6㎡を焼損）	0	0
619	火災	平成27年7月14日	火	13時40分頃	袖ヶ浦市	溶接線の品質を確認するため、非破壊検査（液体浸透探傷試験）工程での有機溶剤による洗浄作業を実施していたところ、作業員の足元付近のコンセントから出火し、燃え広がったため、作業員が直ちに消火器で消火した。	0	0
620	火災	平成27年8月3日	月	21時10分	市原市	反応釜で製品を製造中、同釜のジャケット部分からの出火を巡回中の作業員が発見し、直ちに消火器2本で消火した。	0	0
621	漏洩	平成27年8月4日	火	6時15分（発見）	千葉市	弁等機器の駆動用作用油のタンク液面低下の警報が鳴ったため、作業員が現場を確認したところ、調整器の駆動装置から作用油が約240リットル（推定）が漏洩していた。	0	0
622	漏洩	平成27年8月5日	水	6時42分	市原市	他事業所からナフサをタンクに受入後、待機状態にあった当該事業所内の受入配管で約73リットルのナフサが漏洩した。	0	0
623	火災	平成27年8月6日	木	11時13分頃	市原市	樹脂の押出機2台が突然停止し、火災報知器が作動した。火災報知器が作動した建屋内を作業員が確認したところ、異常が無く誤報と判断されたが、別の作業員が同建屋に隣接した電気室から黒煙が発生していることを発見したため、直ちに、プラントの停止作業を実施し、公設消防に通報した。	0	0
624	漏洩	平成27年8月12日	水	13時58分	市原市	製品を製造中、触媒を失活させるドラム上部のバッフルホルダー（ドラム内の内容物を攪拌時に効率よく混ぜ合わせるための邪魔板を固定している部分）から内容物のガスが漏洩した。	0	0
625	漏洩	平成27年8月14日	水	15時00分頃	市原市	巡回点検中の作業員が、廃油配管の液封防止用安全弁行き配管接合部の溶接線近傍から、廃油の漏洩を発見した。	0	0
626	火災	平成27年8月20日	木	8時45分頃	袖ヶ浦市	巡回点検中の作業員が、反応塔上部から火炎が上っているのを発見したため、直ちに当該装置を緊急停止し、漏洩・火災が発生している部分の配管をブロックして、窒素置換により消火した。	0	0

番号	種別	発生日時			発生場所	概 要	死者	負傷者
627	漏洩	平成27年8月22日	土	14時00分頃	市原市	協力会社の作業員が異音と異臭に気づき、付近を確認したところ、製品の出入荷用ガス配管からガスの漏洩を発見した。	0	0
628	火災	平成27年8月30日	日	20時50分	君津市	機械設備から発火し、同設備の一部及び周辺のケーブル類を焼損した。	0	0
629	漏洩	平成27年9月7日	月	17時00分頃	袖ヶ浦市	巡回点検中の運転員が、異臭及び異音に気づき周囲を確認したところ、熱交換器と配管接続部からガスの漏洩を確認した。直ちに、装置の緊急停止及び窒素置換を行い、漏洩を止めた。	0	0
630	爆発	平成27年9月10日	木	15時12分頃	千葉市	定期整備のため、装置の冷却用窒素ガスの循環ファンを停止し、窒素置換及び保圧用に窒素を別の投入口から投入したところ、異音が発生し設備を確認したところ、ガスの循環ダクトが破損していた。	0	0
631	火災	平成27年10月2日	金	6時00分頃	千葉市	建屋の雨漏りにより、自動搬送設備の台車の架線（トロリー線）がショートして、同線が約20cm焼損した。	0	0
632	火災	平成27年10月2日	金	10時45分頃	千葉市	炉の底部の損傷により内容物が漏洩し、冷却ホースと油圧パルプスタンド圧力ゲージカバーの一部、段ボールが焼損した。炉を傾けて内容物を他の釜に移すことにより漏洩を止めた。	0	0
633	火災	平成27年10月5日	月	10時22分頃	千葉市	反応装置入口付近から火炎が出ているのを隣接設備の作業員が発見し、当該装置の作業員に連絡した。直ちにガス遮断及び初期消火活動を実施して消火した。	0	0
634	火災	平成27年10月8日	木	14時00分頃	千葉市	蒸気配管の敷設工事において、溶接時の火の粉が落ちて配管下の枯れ草（約416㎡）を焼失した。	0	0
635	火災	平成27年10月27日	火	13時20分頃	千葉市	電気室の火災警報器の発報により、作業員が現場を確認したところ、AC200V電源盤からの発煙があったため、一次側電源の遮断及び消火器1本を用いて消火した。	0	0
636	漏洩	平成27年11月7日	土	10時00分頃	千葉市	オフガス移送配管の遮断弁用点検デッキが変形していることに、巡回中の作業員が気づき確認したところ、同部付近にある、窒素導入配管の付け根部からガスが漏洩していた。	0	0
637	漏洩	平成27年11月10日	火	3時30分頃	千葉市	巡回点検中の作業員が塩酸タンクの防液堤内に塩酸が漏洩していることに気づき確認したところ、塩酸タンクから計量槽へ塩酸を移送する配管に係る操作弁の本体から約9?の塩酸が漏洩した。	0	0
638	漏洩	平成27年11月25日	水	3時50分頃	袖ヶ浦市	警備室にて火災報知器が鳴ったため、現場を確認したところ、協力会社の仮設ハウス内にある冷蔵庫付近からの出火を確認し、直ちに、自衛消防隊が出動して消火した。	0	0
639	漏洩	平成27年11月26日	木	14時40分	袖ヶ浦市	ストレーナーのふたを開けた際に、内容物である毒性の危険物が飛散した。漏洩はすぐに止めたが、床に飛散した危険物を防毒マスクを付けずに雑巾で拭き取っていた作業員1名が、気化したガスを吸引して、気分が悪くなり救急搬送された。	0	1
640	火災	平成27年12月19日	土	0時12分（発見）	市原市	硫黄タンクを内部点検するため、当日予定していた底部に残った硫黄の除去作業が終了し、タンクを開放状態にしていたところ、夜間、別の作業から帰ってくる作業員がタンク内部での火災を発見した。	0	0
641	火災	平成28年1月3日	日	22時20分頃	市原市	道路沿いに敷設されている重油配管付近での火災を通りかかったタクシーの運転手が発見し事業所の守衛に通報した。通報を受けた従業員が現地に向かい、当該配管の電気加熱ケーブルジョイント部で小火を確認したが、自然に鎮火した。	0	0
642	火災	平成28年1月22日	金	14時00分頃	千葉市	材料試験を終えた試験片を装置から取り外すために溶断作業を行っていたところ、溶断火花が想定以上に飛び散り、6.7m先に放置されていたポリ容器の上に落下して、その一部を焼損した。	0	0
643	火災	平成28年2月2日	火	20時26分	市原市	通常運転中の水素圧縮機（ピストン型）の軸シール部において、リークした水素を窒素ガスで希釈して大気放散している放出口で、静電気が原因で水素ガスに着火したものの。希釈用の窒素ガスを最大量投入し、更に、大量の窒素ガスを放出口に吹きかけて消火した。	0	0
644	火災	平成28年2月14日	日	5時42分頃	千葉市	スポット溶接機の火花が、溶接機の下部にあったクラフトテープに引火し火災となった。作業員が消火器1本を用いて消火した。	0	0

番号	種別	発生日時			発生場所	概 要	死者	負傷者
645	火災	平成28年2月16日	火	18時20分頃	千葉市	工程中の火花が機械設備のグリス受けに飛散し着火したため、発見した作業員が消火器1本を用いて消火した。火災により近接するスイッチの配線2本が溶損した。	0	0
646	火災	平成28年2月25日	月	9時23分	市原市	誘導加熱装置の電源を切るべきところで操作できずに、製品の一部で異常加熱が起こり、製品の一部を焼損した。	0	0
647	火災	平成28年2月25日	月	9時50分頃	千葉市	機械設備のクランク軸下のピット内にベアリングの排グリスが堆積しており、ここに高温のスケールが落下して着火した。発見した作業員が設備を緊急停止して消火水を用いて消火した。	0	0
648	火災	平成28年2月25日	月	20時40分頃	千葉市	ショットブラスト集塵機で回収した集塵の排出口で煙と共に火炎が発生したため、自衛及び公設消防による消火活動並びに消火用シャワーを用いて消火した。	0	0
649	漏洩	平成28年3月9日	水	18時05分	市原市	通常運転中の製造施設において、ガス検知器が作動したため、作業員が現場を確認したところ、水素圧縮機に係るサイレンサー（脈動防止用タンク）のドレン配管からガスが漏洩していた。直ちに装置を緊急停止し系内を窒素置換して漏洩を止めた。	0	0
650	漏洩	平成28年3月14日	月	5時50分（発見）	市原市	圧縮機のシリンダー用注油配管の継ぎ手部が外れ、潤滑油が漏洩しているのを巡回点検中の作業員が発見し、圧縮機を停止して漏洩を止めた。継ぎ手ナットの締め付け不足によるもの。	0	0
651	火災	平成28年3月18日	金	5時35分頃	千葉市	鍋内に原料を投入したところ、先に投入していた原料内の不純物と反応して不純物が沸くように膨らみ鍋から溢れ出て、同設備の収納盤を焼損した。	0	0
652	火災	平成28年3月22日	火	2時35分頃	千葉市	赤熱した原料を容器に受けていたところ、原料の一部が跳ね落ち、使用していなかった搬送設備の上に落ちてゴム製のカバーを焼損した。	0	0
653	漏洩	平成28年3月22日	火	1時41分	市原市	樹脂製造施設の反応器の温度が設定値まで上昇したため、反応器出口の安全装置が作動し、ガスを大気放したところ、放出管内に付着していた樹脂が塊状になって飛散し、隣接事業所のスレート屋根を破損した。	0	0
654	火災	平成28年3月23日	水	14時25分頃	市原市	警備員が事業所内を巡回点検中に、未使用の空き地で枯れ草から炎が上がっているのを発見し、自衛消防車等で消火した。枯れ草約30.0㎡（3.0m×1.0m）を焼失した。	0	0
655	火災	平成28年3月24日	木	13時10分頃	千葉市	機器の油圧ホース付近に堆積していた、油が含有するダストに他の機器から発生した火花が接触して火災となった。初期消火にて消火したが、油圧の接続ホース等の一部を焼損した。	0	0
656	火災	平成28年4月10日	日	20時50分（発見）	市原市	計器の警報及び火災警報器が発報したため、現場を確認したところ電気室での火災を発見し、炭酸ガス消火器での消火及び関連施設の緊急停止を実施した。	0	0
657	火災	平成28年4月29日	金	9時55分	市原市	廃止した樹脂製造施設の一部を解体撤去中に、溶断の火花で設備内に残っていた樹脂粉末に着火して火災となり、自衛消防隊が消火した。	0	0
658	火災	平成28年5月6日	金	13時45分頃	千葉市	原料鍋の洗浄に酸素を用いて燃焼処理していたところ、火花が十数メートル離れた機器のケーブルまで飛散し火災となった。	0	0
659	漏洩	平成28年5月11日	水	3時40分頃	市原市	樹脂製造施設の定期整備に係る準備において、施設内に残った危険物を回収していたところ送り先のタンクが満タンになってオーバーフローした。	0	0
660	火災	平成28年5月14日	土	15時30分頃	千葉市	加熱した原料を鍋に移し終えたところ、鍋の側面に穴が開いて赤熱した原料が漏洩した。	0	0
661	火災	平成28年5月20日	金	2時41分頃	市原市	自家発電機用ボイラーのバーナー口で急激に未燃カーボンが生成・堆積し、逆火現象が発生・継続したことにより、空気取り込みダクトを内部から焼失させ開口、火炎が噴出した。直ちにボイラーを停止、関連する製造施設も緊急停止した。	0	0
662	火災	平成28年5月20日	金	9時25分頃	千葉市	赤熱した原料を装置に装入する際の火花が、原料の入った鍋を吊り上げているクレーンのワイヤー巻き取り機のブレーキ用油圧ホースに飛散し、油圧ホースの耐火養生シートが劣化していたために火災となった。作業員が初期消火により消火した。	0	0

番号	種別	発生日時			発生場所	概 要	死者	負傷者
663	火災	平成28年5月30日	月	11時15分頃	千葉市	ディーゼル機関車のエンジンルームから発煙が上がり、発見した運転手及び作業員の2名が消火器を用いて消火した。火災により、エンジンルーム内のケーブル2本、燃料ホース、オイルフィルターを焼損した。	0	0
664	火災	平成28年5月31日	火	8時30分頃	千葉市	設備点検中の作業員が、待機状態のクレーンからの火災に気づき、消火水を用いて消火した。火災によりケーブル配線5本等を焼損した。	0	0
665	火災	平成28年6月18日	土	3時30分頃	千葉市	自動で鋼板を溶接するために用いている鋼板の位置ずれセンサーの異常警報が鳴ったため、作業員が装置を停止し現場を確認したところ、センサー投光用の蛍光灯保護アクリル板より火があがっていることを確認し、消火器1本を用いて消火した。	0	0
666	漏洩	平成28年6月21日	火	7時58分	市原市	製品出荷ポンプを起動したところ、出荷バース付近のフレキシブル（6B）配管が破損し、製品が吹き出した。直ちにポンプを停止して漏洩箇所をブロックしたが、配管内の残液27トンが漏洩し、その一部が海上に流出した。	0	0
667	火災	平成28年6月22日	水	11時39分	袖ヶ浦市	圧縮機を運転中に、制御盤付近で大きな音を聞いた作業員が現場を確認したところ、制御盤から煙があがっていたが、すぐに収まったため消火活動は行わなかった。経年劣化により盤内の配線が短絡して焼損したものと推定。	0	0
668	火災	平成28年6月23日	木	12時35分頃	千葉市	赤熱した原料を鍋に移し替えた直後に、鍋の底が破損し、漏洩時を想定して設置していたピット内に原料が170トン漏洩した。漏洩箇所付近に存置してあった紙製のサンプル棒（約30本）が焼損した。	0	0
669	漏洩	平成28年8月1日	月	15時30分頃	市原市	ボイラー設備に係る使用していない重油燃料配管を廃止するため、当該配管を温水洗浄作業中にボイラー4階部分の配管から重油及び温水の混合物が約50リットル漏洩した。	0	0
670	破損	平成28年8月3日	水	13時20分	市原市	製造設備運転中の架構の塗装工事をしていた作業員が、付近にあったスチーム配管に触れ、熱さを感じとっさによけたところ、近くにあったPVC製の配管に当たり、同配管が折損し、塩素ガスが漏洩した。直ちに、周囲にいた作業員も含め避難したが、塩素ガスを吸った作業員3名が気分が悪くなり病院に搬送された。	0	3
671	漏洩	平成28年8月9日	火	4時47分頃	市原市	点検中の作業員が、出荷用ポンプ吐出配管のベント配管が折損してガソリンが漏洩しているのを発見し、直ちにローリー出荷を停止した。現場を詳細に確認したところ、ベント配管以外に、ポンプのドレン配管等2箇所が折損、ポンプ回転軸をシールする配管接続部が外れ、軸継手の損傷と軸受部の液面計が外れていた。	0	0
672	爆発	平成28年8月11日	木	10時52分頃	千葉市	加熱炉の周辺で異常音が生じたため、作業員が現場を確認したところ、加熱炉に供給する空気フレキシブル配管（布製）2箇所が破損していた。この空気配管には、製品を船積みする時に発生するガス（可燃性ガス）を同配管の空気に混ぜて加熱炉で燃焼させていた。	0	0
673	火災	平成28年8月17日	水	8時50分頃	市原市	回転式反応器の回転軸部の潤滑グリスで着火し、作業員が消火器で消火した。	0	0
674	火災	平成28年8月20日	土	0時06分	千葉市	運転待機中の天井クレーンの運転席背面ケーブルダクト付近で異音があり、直後に火花と発煙を確認した運転員は、直ちにクレーンの一次電源を遮断した。 また、地上で発見した作業員が応援に駆けつけ、消火器2本で消火した。	0	0
675	漏洩	平成28年8月24日	水	15時10分頃	市原市	巡回点検中の運転員がタンクヤード内のタンク付属配管におけるピンホール部から油が漏洩していることを確認し、直ちに、バンド巻き措置を実施して漏洩を止めた。	0	0
676	火災	平成28年8月25日	木	1時20分頃	千葉市	工場内で異臭がするため、運転員が確認したところ、工場側のコンプレッサー室から発煙が上がっているのを発見した。直ちに、自衛消防が出動して放水した。	0	0
677	火災	平成28年8月25日	木	13時40分頃	千葉市	内作場において、鋼板の洗浄作業を行っていた作業員が有機溶剤系の洗浄スプレーを使用したところ、加熱状態にあった鋼材が原因で引火し、付近でピット蓋の取っ手を製造していた作業員の作業服に燃え広がって1名が負傷した。	0	1
678	破損	平成28年9月11日	日	9時30分頃	市原市	ガスタービン発電所の自家燃料ガス配管に係る圧力計の取り出し配管ジョイント部付近で燃料ガス（ブタンガス）が漏えいした（漏えい量は微量）。燃料をA重油に切り替え、ブタンガスの利用を停止した。	0	0

番号	種別	発生日時			発生場所	概 要	死者	負傷者
679	火災	平成28年9月18日	日	12時45分頃	千葉市	コンベア下部に堆積した石炭等が、コンベアのローラーと接触して加熱され、ベルトが焼損した。自衛消防及び消防機関により消火した。	0	0
680	漏洩	平成28年9月20日	火	14時40分(発見)	市原市	浮き屋根式タンクにおいて、ヤード内及び側溝に油が漏洩した。 浮き屋根ドレン排出弁及びタンクヤード排水弁を閉止し、浮き屋根上及びタンクヤードの油回収作業を完了した。	0	0
681	火災	平成28年9月22日	木	10時35分	袖ヶ浦市	溶接機本体の電源を入れたところ、直ちに大きな音とともにスパークと煙が、溶接機分電盤から発生した。スパークは5秒程度の発生で、周囲に可燃物等がなかったため、火災には至らなかった。	0	0
682	破損	平成28年9月28日	水	17時50分頃	市原市	運転員が、パトロール中に水素製造装置の高圧ガス配管から水素が漏洩しているのを発見した(漏洩量は微量)。直ちに装置をシャットダウンし、脱圧及び窒素置換を実施するとともに、漏洩箇所へのバンド巻きを行い、漏洩を停止した。	0	0
683	漏洩	平成28年10月17日	月	10時35分	市原市	タンクローリーにサルファンを充填し、充填終了後に配管内のサルファンを貯槽に戻すためローリータンク内を加圧したところ、圧力計取付配管部分から白煙が発生したため、直ちに加圧を停止し、戻り配管のバルブを閉めた。	0	0
684	火災	平成28年10月19日	水	6時30分(発見)	千葉市	高所作業車のエンジンがかからなくなり、メーカーに搬出点検を行うため、別の車両のバッテリーを接続してエンジンを始動したところ、エンジンルームから白煙が発生した。消火器1本にて消火した。	0	0
685	火災	平成28年10月19日	水	15時57分(発見)	千葉市	休止ダクトを土台として、その上部に更新ダクトを設置するため、サポートの溶接を行っていたところ、休止ダクトの内部から発煙した。	0	0
686	漏洩	平成28年10月21日	金	10時42分(発見)	市原市	運転員が、パトロール中に硫化水素臭を覚知し、水添脱硫装置の配管からガスが漏洩していることを確認したため、装置の緊急シャットダウン及び脱圧等を実施した。	0	0
687	漏洩	平成28年10月27日	木	19時25分(発見)	袖ヶ浦市	運転員が、パトロール中に廃液処理装置塩酸タンクにて白煙及び刺激臭を確認し、同タンク下部から、塩酸がダクト内に漏洩しているのを発見した。	0	0
688	漏洩	平成28年10月30日	日	13時00分(発見)	袖ヶ浦市	交代勤務者が、点検パトロール中に屋外タンク付近で、希釈された苛性ソーダの漏えいを発見した。発見時には、既に漏えいが停止しており、また、外部への流出がないことを確認した。	0	0
689	漏洩	平成28年11月4日	金	11時35分(発見)	市原市	消火設備点検のためタンクに昇った協力会社社員から、油臭がするとの報告があり、浮き屋根を確認したところ、屋根板に穴が開いており、漏えいが認められた。(外部への流出なし)	0	0
690	火災	平成28年11月15日	火	4時30分(発見)	千葉市	コークス搬送ベルトコンベアにおいて、鉄鉱石を乾燥させるためのドライヤーの装入口から炎が立ち上がり、ドライヤーへ鉄鉱石を装入するためのベルトコンベアのベルトを一部焼損した。	0	0
691	爆発	平成28年11月20日	日	11時00分頃	袖ヶ浦市	ステンレス製高耐圧容器をトルエンで洗浄し、洗浄液を金属製フレキシブルホースでドラム缶に回収していたところ、ドラム缶内で爆発が生じてドラム缶が前方に転倒し、作業員が顔面の右側及び右首辺りにⅡ度の火傷を負った。	0	1
692	火災	平成28年11月21日	月	2時40分頃	千葉市	鉄鋼表面に出来た被膜を除去するための水を加圧するための設備において、ポンプ設備が不具合により加熱されケーシングが破損し、漏えいした潤滑油に着火した。	0	0
693	火災	平成28年12月9日	金	10時41分頃	千葉市	総合集塵機排風機入側ダクト補修のため、スタッドボルト(両側にねじ部を持つボルト)の切断等を行っていたところ、火気見張人と付近の施工者が、施工場所下部から黒煙と火を発見したため、消火器2本で消火した。	0	0
694	火災	平成28年12月9日	金	10時17分頃	市原市	偶然発災場所付近を歩いていた従業員が、敷地内の枯草から発煙を確認した。 付近にいた協力会社の作業員が、消火器2本により初期消火を行うとともに、従業員が進入路に設置されていたスプリングクレーを起動させ、消火を行った。	0	0
695	火災	平成28年12月12日	月	21時13分頃	市原市	工作場内の火災報知機が発報したため、自衛防災隊が現場に駆けつけたところ、ドラム缶(1本)から火炎を確認したため、直ちに消火器により消火した。ドラム缶の付近にあった木製清掃用具が一部焼損したが、それ以外に火災の影響はなかった。	0	0
696	火災	平成28年12月31日	土	2時03分頃	千葉市	圧延コイルの溶接作業の完了後、作業員が溶接設備から煙が発生しているのを発見したため、消火水により消火した。同設備のケーブル及び防火シートの一部を焼損した。	0	0

7 石油コンビナート等特別防災区域の特定事業所一覧

地区	種類	市	事業所名		所在地	郵便番号	対象 区分	担当部	電話平日	FAX平日	石 油	高圧ガス	事業概要
			合同事業所名(従たる事業所)								(貯蔵取扱) 千KL	(処理量) 万Nm3	
京葉臨海北部地区	1種事業所	市川	1	東洋合成工業(株)高浜油槽所	市川市高浜町7	272-0125	石油	物流業務グループ	047-395-2151	047-396-7049	55.3		ケミカルタンク
			2	JXTGエネルギー(株)市川油槽所	市川市本行徳2554-1	272-0103	石油	市川輸送所	047-396-3131	047-396-3138	150.5		油槽所
			3	(株)市川アストモスターミナル	市川市高谷新町6-2	272-0011	高圧ガス	保安部	047-328-1431	047-328-4538		632.2	ガスターミナル
			4	丸善(株)京葉油槽所	市川市二俣新町19	272-0002	石油	業務部	047-328-8845	047-328-1474	22.7		ケミカルタンク・倉庫
			5	日本サン石油(株)市川工場	市川市二俣新町20	272-0002	石油	市川工場 P.A.	047-328-1261	047-328-8863	14.8		潤滑油製造業
	2種	6	東洋合成工業(株)市川工場	市川市上妙典1603	272-0012		市川工場	047-327-2121	047-327-8067	5.6		脂肪族系中間物製造業	
京葉臨海中部地区	1種事業所	千葉	1	エヌアイケミカル(株)千葉事業所	千葉市美浜区新港231	261-0002	石油	千葉事業所	043-242-6471	043-246-9306	35.3		ケミカルタンク・倉庫
			2	丸紅エネックス(株)千葉ターミナル	千葉市美浜区新港235	261-0002	レイアウト	千葉ターミナル	043-246-7230	043-246-1827	439.3	807.2	石油卸売業・ガスターミナル
			3	JFEケミカル(株)東日本製造所千葉工場	千葉市中央区川崎町1	260-0835	石油	安全防災担当	043-262-2939	043-262-2077	36.8		コールタール製造業
			4	JFEスチール(株)東日本製鉄所(千葉地区)	千葉市中央区川崎町1	260-0835	レイアウト	環境・防災部	043-262-2345	043-262-2756	1.1	2,097.8	高炉による製鉄業
			5	JFEケミカル(株)東日本製造所千葉工場生浜分工場	千葉市中央区新浜町5	260-0826	レイアウト	安全防災担当	043-262-2939	043-262-2077	24.8	191.8	コールタール製造業
		市原	6	ティー・エム・ターミナル(株)市原事業所	市原市八幡海岸通74-1	290-0067	石油	技術課	0436-41-8730	0436-41-5724	22.3		油槽所
			7	DIC(株)千葉工場	市原市八幡海岸通12	290-8585	レイアウト	安全環境グループ	0436-41-4115	0436-43-1059	29.3	78.8	プラスチック製造業
				星光ピー・エム・シー(株)千葉工場									
				DICライフテック(株)千葉事業所									
				DICグラフィックス(株)千葉工場									
				日立物流ファインネクスト(株)千葉営業所									
			8	旭硝子(株)千葉工場	市原市五井海岸10	290-8566	レイアウト	保安管理グループ	0436-23-3150	0436-23-3187	7.3	868.2	ソーダ工業塩素フッ素樹脂等無製品製造
			9	(株)千葉サンソセンター五井工場	市原市五井海岸5-2	290-0058	レイアウト	製造課	0436-22-0165	0436-22-5784		551.7	圧縮ガス・液化ガス製造業
			10	JNC石油化学(株)市原製造所	市原市五井海岸5-1	290-8551	レイアウト	環境安全品質部	0436-23-1133	0436-23-9959	41.4	2,894.1	石油化学系基礎製品製造業
				日本ポリプロ(株)五井工場									
	五井コストエナジー(株)												

地区	種類	市	事業所名		所在地	郵便番号	対象 区分	担当部	電話平日	FAX平日	石 油 (貯蔵取扱) 千KL	高圧ガス (処理量) 万Nm3	事業概要
			合同事業所名(従たる事業所)										
京葉臨海中部地区	1種事業所	市原	11	コスモ石油(株)千葉製油所	市原市五井海岸2	290-8558	レイアウト	安全環境課	0436-23-4116	0436-22-2065	1,650.4	27,550.9	石油精製業
				丸善石油化学(株)千葉工場									
			12	デンカ(株)千葉工場	市原市五井南海岸6	290-8588	レイアウト	環境保安部	0436-26-3211	0436-26-3330	80.6	1,700.1	プラスチック製造業
				デンカポリマー(株)五井工場									
				デンカエンジニアリング(株)千葉事業所									
				東洋ステレン(株)五井工場									
				大洋塩ビ(株)千葉工場									
			13	丸善石油化学(株)千葉工場	市原市五井南海岸3	290-8503	レイアウト	安全課	0436-25-3161	0436-25-3129	3,008.6	36,979.3	石油化学系 基礎製品製造業
				コスモ石油(株)千葉製油所									
			14	日本曹達(株)千葉工場	市原市五井南海岸12-8	290-8530	レイアウト	RC・工務部 RC推進チーム	0436-23-2012	0436-23-2070	15.7	185.2	プラスチック製造業
				三和倉庫(株)千葉事業所									
				日本曹達(株)研究開発本部千葉研究所									
			15	KHネオケム(株)千葉工場	市原市五井南海岸11-1	290-8560	レイアウト	環境保安課	0436-23-9133	0436-23-9158	131.9	1,128.3	プラスチック製造業
				京葉モノマー(株)									
				丸善石油化学(株)千葉工場甲子地区									
				(株)ジェイ・プラス									
			16	宇部興産(株)千葉石油化学工場	市原市五井南海岸8-1	290-8550	レイアウト	環境安全・品質保証 グループ安全チーム	0436-23-5116	0436-22-5491	5.0	3,995.4	プラスチック製造業
				宇部丸善ポリエチレン(株)									
			17	JXTGエネルギー(株)千葉製油所	市原市千種海岸1	299-0108	レイアウト	環境安全部 環境保全課	0436-23-9424	0436-23-9440	3,047.8	23,059.0	製油所
エア・ウォーター炭酸(株)													
18	JSR(株)千葉工場	市原市千種海岸5	299-0108	レイアウト	環境保安課	0436-62-4163	0436-62-4441	9.7	2,180.5	合成ゴム製造業			
19	三井化学(株)市原工場	市原市千種海岸3	299-0108	レイアウト	安全・環境グループ	0436-62-3223	0436-62-6928	377.0	39,716.1	石油化学系 基礎製品製造業			
	三井・デュポンケミカル(株)千葉工場												
	三井・デュポンフロロケミカル(株)												
	日本エポキシ樹脂製造(株)												
	千葉フェノール(株)												
	日本エポリュー(株)												
	(株)プライムポリマー市原工場												
	日本ファシリティ・ソリューション(株)												

地区	種類	市		事業所名	所在地	郵便番号	対象 区分	担当部	電話平日	FAX平日	石 油	高圧ガス	事業概要
				合同事業所名(従たる事業所)							(貯蔵取扱) 千KL	(処理量) 万Nm3	
京葉臨海中部地区	1 種 事 業 所	市原	20	出光興産(株)千葉工場	市原市姉崎海岸1-1	299-0193	レイアウト	安全環境室	0436-60-1801	0436-60-1900	165.8	18,203.4	プラスチック製造業
				(株)プライムポリマー姉崎工場									
			21	出光興産(株)千葉製油所	市原市姉崎海岸2-1	299-0192	レイアウト	安全環境室	0436-60-1714	0436-60-1900	6,074.8	35,005.4	石油精製業
				出光興産(株)千葉工場エチレン製造装置 BASF出光(株)千葉工場									
		22	東京電力フェUEL&パワー(株) 姉崎火力発電所	市原市姉崎海岸3	299-0107	石油	発電運営グループ	0436-77-6648	0436-61-9612	274.9		発電所	
		23	住友化学(株)千葉工場姉崎地区	市原市姉崎海岸5-1	299-0195	レイアウト	環境・安全部	0436-61-1319	0436-61-2200	48.7	2,799.0	石油化学系 基礎製品製造業	
		袖ケ浦	24	住友化学(株)千葉工場袖ケ浦地区	袖ケ浦市北袖9-1	299-0295	レイアウト	環境・安全部	0438-63-1212	0438-62-4002	325.7	13,231.7	石油化学系 基礎製品製造業
				日本アンモニアターミナル(株)									
				日本オキシラン(株)千葉工場									
				日本エイアンドエル(株)									
			25	富士石油(株)袖ケ浦製油所	袖ケ浦市北袖1	299-0266	レイアウト	安全環境部	0438-63-7014	0438-63-0083	3,287.9	10,046.9	石油精製業
			26	JXTGエネルギー(株)袖ケ浦事業所	袖ケ浦市北袖1	299-0266	石油		0438-62-1191	0438-62-4854	21.3		潤滑油製造業
			27	(株)千葉サンソセンター袖ケ浦工場	袖ケ浦市北袖17	299-0266	レイアウト	製造課	0438-62-0161	0438-63-5807	0.1	818.9	圧縮ガス・ 液化ガス製造業
		28	富士石油(株)中袖基地	袖ケ浦市中袖19	299-0267	石油	安全環境部	0438-63-7014	0438-63-0083	729.5		石油備蓄タンク等	
		29	東京酸素窒素(株)	袖ケ浦市中袖1-1	299-0267	高圧ガス	管理部	0438-62-9362	0438-63-1623		587.5	圧縮ガス・ 液化ガス製造業	
		30	旭化成(株)川崎製造所千葉工場	袖ケ浦市中袖5-1	299-0297	レイアウト	環境安全課	0438-62-6125	0438-62-6205	24.3	1.7	プラスチック製造業	
			PSジャパン(株)千葉工場										
旭化成イーマテリアルズ(株)光ファイバ・光学製品 部製造・開発グループ													
(株)中袖クリーンパワー中袖クリーンパワー発電所 旭化成カラーテック(株)袖ケ浦工場													
2 種 事 業 所	千葉	31	(株)J-オイルミルズ千葉工場	千葉市美浜区新港230	261-0002		総務安全環境課	043-241-1251	043-248-0162	0.4		植物油製造業	
		32	東京電力フェUEL&パワー(株) 千葉火力発電所	千葉市中央区蘇我町2-1377	260-0822		発電運営グループ	043-370-4390	043-208-0914	1.4	5.6	発電所	
		33	JFEスチール(株)東日本製鉄所(千葉地区) 生浜工場	千葉市中央区川崎町1	260-0835	環境・防災部	043-262-2345	043-262-2756	0.9		冷間圧延業		
	市原	34	東京電力フェUEL&パワー(株) 東火力事業所五井火力発電所	市原市五井海岸1	290-0058		発電運営グループ	0436-77-6999	0436-24-4502	0.5		発電所	
		35	日本リファイン(株)千葉工場	市原市八幡海岸通74-18	290-0067		製造課	0436-41-9281	0436-43-6191	4.3		石油製品・ 石炭製品製造業	
		36	ライオン(株)千葉工場	市原市八幡海岸通74-13	290-0067		工場管理グループ	0436-43-8151	0436-41-7043	2.5		石鹼合成洗剤製造業	

地区	種類	市		事業所名	所在地	郵便番号	対象区分	担当部	電話平日	FAX平日	石 油 (貯蔵取扱) 千KL	高圧ガス (処理量) 万Nm3	事業概要
				合同事業所名(従たる事業所)									
京葉臨海中部地区	2種事業所	袖ケ浦	53	東京電力フュエル&パワー(株) 袖ケ浦火力発電所	袖ケ浦市中袖2-1	299-0267		発電運営グループ	070-4412-3827	0438-62-5879	0.7		発電所
			54	新日化エボキシ製造(株)千葉工場 ディー・アイ・シー・イー・ピー(株)袖ケ浦工場	袖ケ浦市北袖11-5	299-0266		技術グループ	0438-63-1171	0438-63-1185	2.2		石油化学系基礎製品製造業
			55	東邦化学工業(株)千葉工場	袖ケ浦市北袖10	299-0266		管理部 安全環境課	0438-62-3211	0438-62-3215	4.3	54.7	界面活性剤製造業
			56	日本磷酸(株)	袖ケ浦市北袖14	299-0266		RC・QM推進室	0438-64-1788	0438-62-0635	0.1		無機化学品製造業
			57	広栄化学工業(株)千葉工場	袖ケ浦市北袖25	299-0266		安全環境部	0438-63-5739	0438-63-6328	8.0	1.8	石油化学系基礎製品製造業
			58	(株)ADEKA千葉工場	袖ケ浦市北袖3-1	299-0266		環境保安課	0438-62-4390	0438-62-3569	8.3	22.0	石油化学系基礎製品製造業
			59	東京ガス(株)袖ケ浦LNG基地 東京ガスケミカル(株) (株)東京ガスベイパワー	袖ケ浦市中袖1-1	299-0267		安全環境管理室	0438-62-3672	0438-63-7380	11.1		ガス製造業
			60	日本アルコール産業(株)袖ケ浦作業所	袖ケ浦市長浦580-15	299-0265		関連事業本部	0438-62-3595	0438-62-3595	4.4		備蓄タンク等
			61	(株)荏原製作所袖ケ浦事業所 (株)荏原エリオット	袖ケ浦市中袖20-1	299-0296		総務室	050-3416-5838	0438-60-6070	0.1	52.8	一般産業用機械・装置製造業
			62	エコシステム千葉(株)	袖ケ浦市長浦拓1号1-51	299-0265		環境保安課	0438-62-4097	0438-62-4928	2.2		産業廃棄物の中間処理業
京葉臨海南部地区	1種	木更津 君津	1	新日鐵住金(株)君津製鐵所 (株)富士鉄鋼センター 日鐵住金建材(株)君津プレスコラム工場 NSMコイルセンター(株)有明事業所君津製造部	君津市君津1木更津市築地1	299-1141	レイアウト	安全環境防災部 環境防災室	0439-50-2042	0439-50-2715	37.1	2,255.7	製鋼圧延を行う高炉による製鉄業
	2種	君津 木更津	2	君津共同火力(株)君津共同発電所	君津市君津1	299-1141		環境・保安グループ	0439-20-7421	0439-20-8883	8.6		発電所
			3	東洋スチレン(株)君津工場	木更津市築地1	292-0835		管理課	0438-37-5710	0438-37-5704	4.0		プラスチック製造業